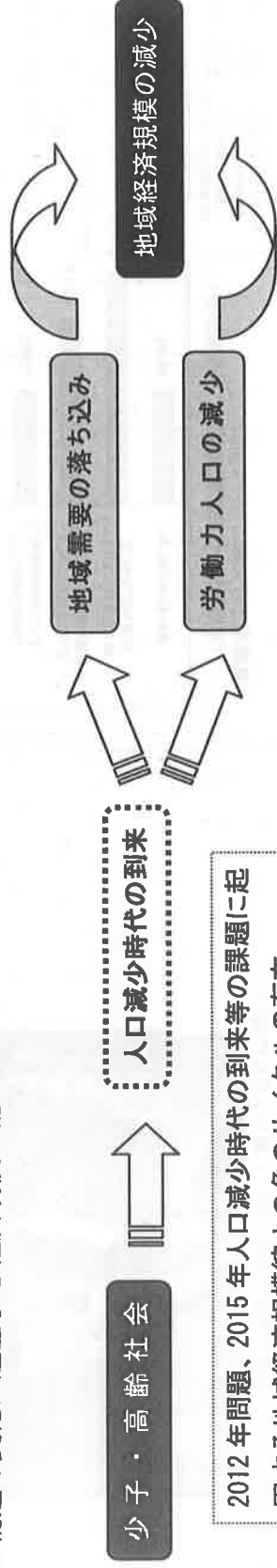


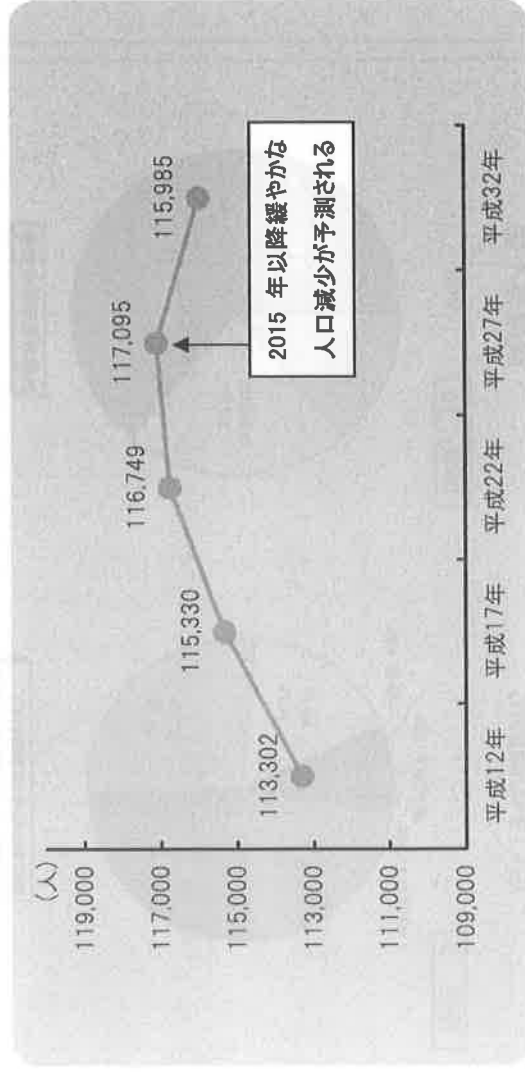
■ 東久留米市における地域産業の停滞化 1/2

主要因：人口構造の変化に起因する経済規模の縮小



2012年問題、2015年人口減少時代の到来等の課題に起因する地域経済規模縮小の負のサイクルの存在

市の人口推移（推計結果）



資料：『第4次長期総合計画基礎調査報告書』（平成20年）

東久留米市内の事業所数の推移

	事業所数			増減率 H17→ H20
	平成 17年	平成 20年		
東京都	21,296	19,287		-10.4%
区部	17,294	15,425		-12.1%
市部	3,544	3,442		-3.0%
東久留米市	62	59		-5.1%

資料：経済産業省『工業統計調査』（各年）

■ 東久留米市における地域産業の停滞化 2/2

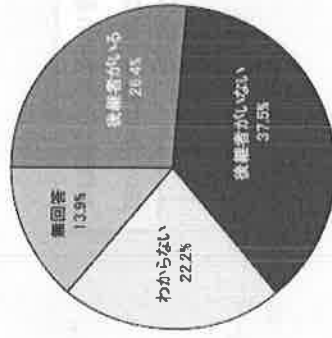
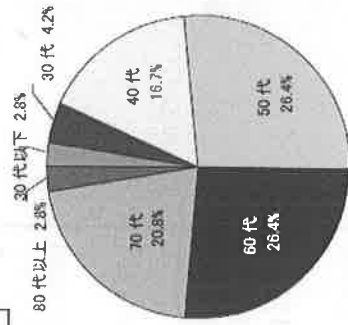
並行要因：①地域外インフラ整備の進展と人の流れの変化
衰退する商店街に代表される商業の停滞と背景の課題

- ・担い手の高齢化
- ・後継者不足

図表 3

図表 15

N=72



経営者の年代(性別問わず)

お店の後継者の有無

出典：商店街経営者実態調査 平成 23 年 3 月

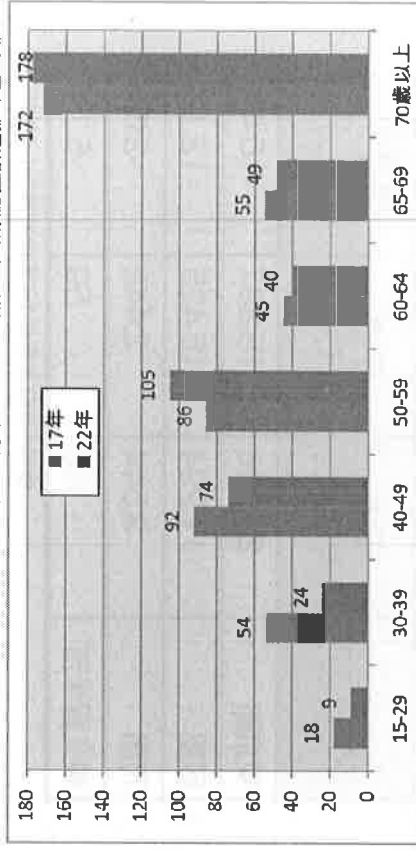
*空き店舗と住宅、店舗が混在する商店街に人通りは見られない。



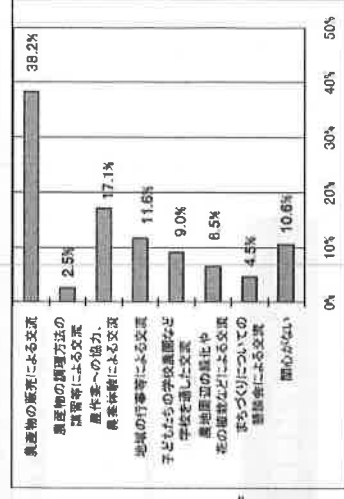
並行要因：②東久留米市の基盤産業である「農業」が抱える課題
・担い手の高齢化
・農家意識と市民意識のミスマッチ

農業就業人口

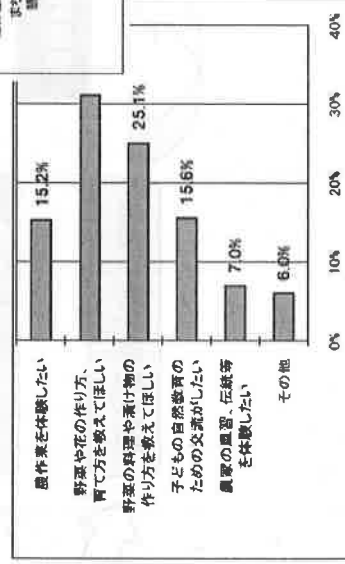
(資料：世界農業センサス 平成22年は東京府統計発表 単位：人)



(複数回答)



↓ 農家との交流について望むこと
(平成 22 年市民意識調査) (複数回答)



↑ 市民とのふれあいに望むこと
(平成 22 年農家意向調査)

東久留米市の「新しい公共」と団塊世代

【現状と課題】

平成22年国勢調査によると東久留米市の高齢者（65歳以上）は27,289人で、人口割合の23.5%を占めている。今後は団塊の世代約6千人が高齢者となり、困った時に相談したり助け合ったり出来る地域のコミュニティがより大切になってくる。

しかし「平成23年度東久留米市施策成果アンケート調査」（対象：無作為抽出市民1,000人）で「コミュニティ活動へ参加」について聞いたところ、団塊世代の参加率は約25%と4人に1人にとどまっている（※図1参照）。

さらに個別分野での団塊世代の参加率を見てみると、東久留米市の特徴である豊かな自然に関連して「緑の育成・保全活動の参加」では約80%が「参加していない」と回答（※図2参照）。

「水辺や湧水にふれあう活動」についてもほぼ同様の割合となっており、共に低い参加率となっている。（※図3参照）

図1 地域のコミュニティ活動への参加

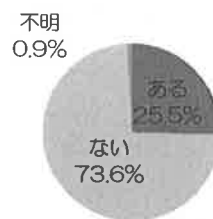
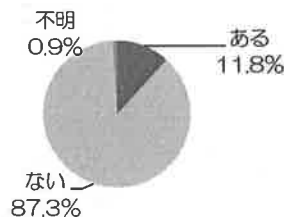


図2 緑の育成・保全活動への参加



図3 水辺や湧水にふれあう活動への参加

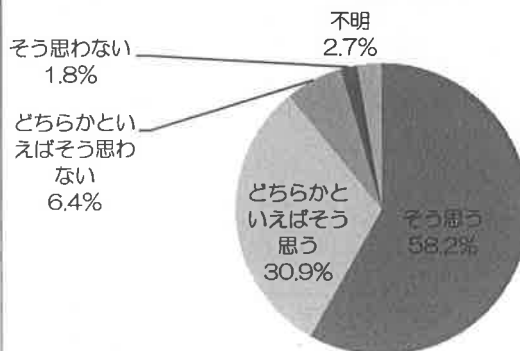


その一方、団塊世代が地域活動団体を必要としている意識傾向も見えてくる。

「地域の課題解決に対して、市民活動団体と市が協働する必要」との設問では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方が、合わせて89.1%と約9割を占めており（※図4参照）、コミュニティ活動や個別分野での低い参加率に反し、必要と思っている方が多く、実際の行動との大きなずれが存在する。

この市民活動団体に対する必要性の意識をいかに参加行動へ結びつけていくかが課題として浮かび上がる。

図4 地域の課題解決に対し、市民活動団体と市が協働する必要がある



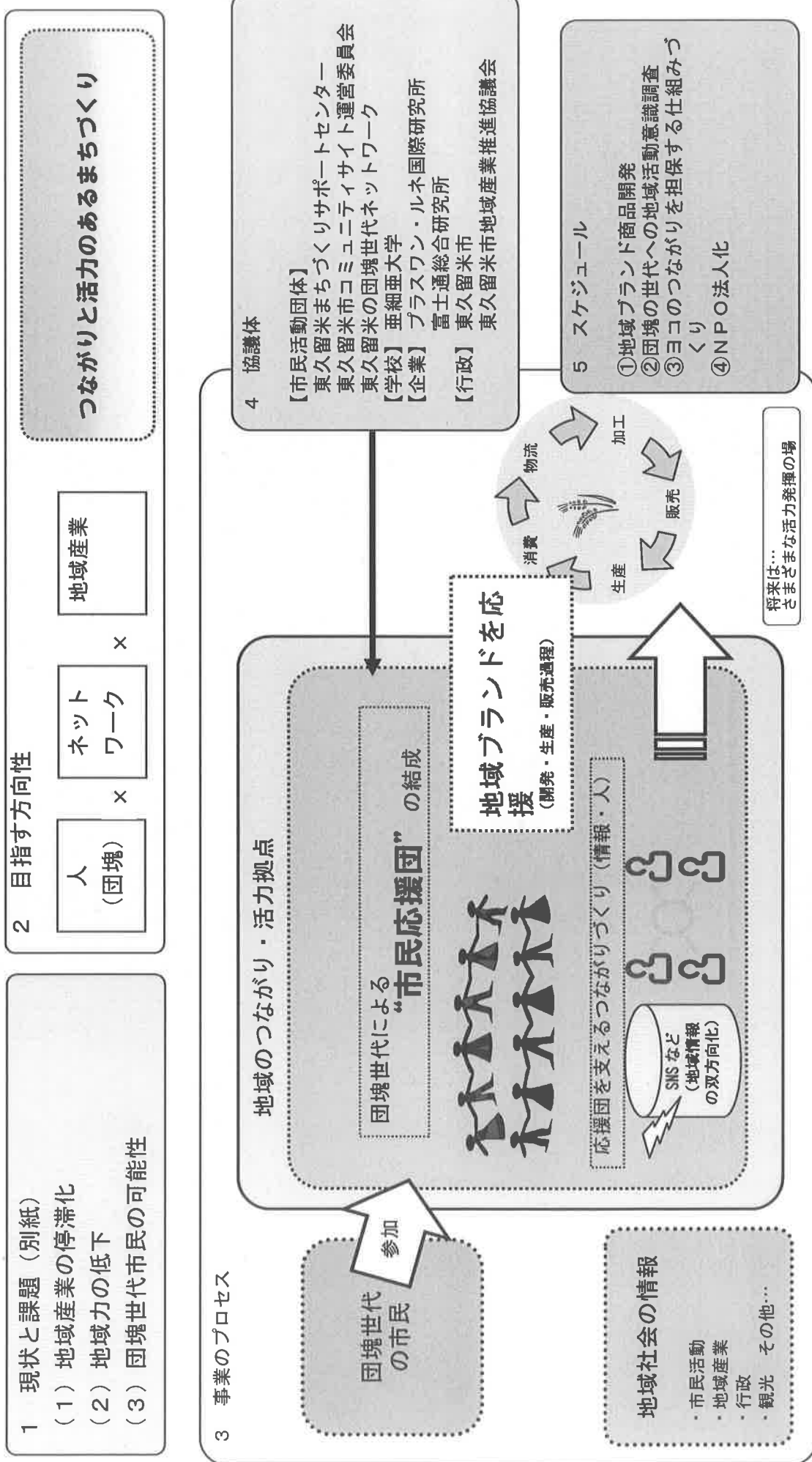
【今後、取り組む方向】

今、「新しい公共」の担い手として元気な中高齢者の活躍が期待されている。今後、団塊の世代の大量退職により元気な高齢者が増加するが、この世代が地域の担い手として存分に活躍できる環境をいかに作っていくかが求められている。

そのため、団塊の世代には気軽に地域活動に積極的に参加してもらい、新しい地域の繋がりや生きがいを見つけてもらう。そして地域の繋がりや生きがいを見つけた方が、さらに地域活動の範囲を広げて、新しい公共・地域づくりの担い手となってもらうよう、市としても様々な面から支援する必要がある。

東京都新しい公共支援事業 新しい公共の場づくりのためのモデル事業

東久留米つながり・活力まちづくり事業の概略



東久留米つながり・活力まちづくり協議会規約

(名 称)

第1条 本協議会は、東久留米つながり・活力まちづくり協議会（以下「協議会」という。）という。

(目 的)

第2条 協議会は、東久留米市の将来都市像“自然・つながり・活力あるまち”をめざし、いっそう住みやすく、いっそう魅力のあるまちにするために、東久留米市を愛する人々がつながり、話し合い、行動することを目的とする。

(活 動)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の活動を実施する。

- (1) つながり・活力まちづくりへの参画、協力、支援
- (2) つながり・活力まちづくりに関連する情報の調査、研究、提供
- (3) 市民への参画の場の提供
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な活動

(組 織)

第4条 協議会は次の団体から選出される役員をもって組織する。

- (1) 東久留米まちづくりサポートセンター（まちさぽ）
- (2) 東久留米市コミュニティサイト運営委員会（くるくる）
- (3) 東久留米団塊世代ネットワーク（団塊くるねっと）
- (4) 学校法人亜細亜大学
- (5) 株式会社プラスワン・ルネ国際研究所
- (6) 株式会社富士通総合研究所
- (7) 東久留米市
- (8) 東久留米市地域産業推進協議会
- (9) その他この目的に賛同する団体等

(役員及び職務)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 幹事 5名以内
- (4) 会計 1名

(5) 事務局 3名以内

- 2 会長及び副会長は協議会の役員の互選により選出する。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任 期)

第6条 役員の任期は2年とする。

- 2 役員は、再任を妨げない。
- 3 任期途中における役員交替に伴い、新たに選任する場合は、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(監 事)

第7条 協議会に監事を置く。

- 2 監事は2名以内とし、会長が委嘱する。
- 3 監事は、協議会の会計を監査する。

(専門部会)

第8条 協議会に専門部会（以下「部会」という。）を置くことができる。

- 2 部会に会長が指名する部会長を置き、相互の連絡調整のために、部会長会議を組織する。
- 3 部会は、特定のテーマの検討及び部会事業を行う。
- 4 部会は、部会長が招集し、随時開催する。
- 5 部会長会議は必要に応じて会長が招集し、随時開催する。

(協議会会議)

第9条 協議会会議は、委員をもって構成し、次の各号に掲げる事項を審議し、決定する。

- (1) 事業計画及び予算に関すること。
- (2) 事業報告及び決算に関すること。
- (3) 規約の改正に関すること。
- (4) その他、協議会の運営に関する重要な事項

(協議会の招集、運営)

第10条 協議会会議は会長が召集し、会長を議長とする。

- 2 協議会会議は、役員の過半数の出席をもって成立し、議決は、議長を除く

出席役員の過半数でこれを決する。

- 3 監事は、協議会会議に出席して意見を述べることができる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、会議に協議会構成員以外の関係者の出席を求め、説明を受け、または、意見を聴くことができる。

(記 録)

第 1 1 条 会議内容や成果の蓄積を図るため記録を取り、取りまとめの上、協議会構成団体に公表する。

(書面表決等)

- 第 1 2 条 やむを得ない理由のため協議会会議に出席できない役員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は代理人に表決を委任することができる。
- 2 前項により議決を行使する者は、出席者とみなす。
 - 3 会長は、緊急の場合においては、各役員に書面による賛否を求め、協議会会議の議決に代えることができる。

(経 費)

第 1 3 条 協議会の経費は、東京都新しい公共支援事業補助金、公的機関補助金、その他の収入をもってあてる。

(会計年度)

第 1 4 条 協議会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 3 1 日に終わる。

(報 告)

第 1 5 条 協議会の事業については、事業年度終了後、速やかにこれを東久留米市を経由して東京都に報告するものとする。

(協議会の解散)

第 1 6 条 協議会の解散は、出席役員の 4 分の 3 以上の議決を必要とする。

(地位の承継)

第 1 7 条 本協議会が解散した場合、地位の承継者は東久留米市とする。

(事務局)

第 18 条 協議会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に、事務局長及びその他の職員を置く。

(事務所)

第 19 条 協議会は、事務所を東久留米市内に置く。

(委 任)

第 20 条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成 24 年 7 月 26 日から施行する。

平成 24 年 1 月 19 日 制定

平成 24 年 7 月 26 日 改正

東久留米つながり・活力まちづくり協議会名簿

別紙3-2

H24.7.19 現在

団体名	氏名	役職	担当部会
東久留米まちづくりサポートセンター	桑原 芳夫	〇会 長	
東久留米市コミュニティサイト運営委員会	笹山 孝治	幹事・監事	情報システムづくり
東久留米団塊世代ネットワーク	石川 敬	会 計	市民への地域活動意識調査
学校法人 亜細亜大学	菊池 威	幹 事	
株式会社 プラスワン・ルネ国際研究所	渡邊 恭子	幹 事	
株式会社 富士通総研	大森 興治	幹 事	
東久留米市地域産業推進協議会	斎藤 正人	〇副会長	地域ブランド開発
東久留米市 行政管理担当部長	橋爪 和彦	幹 事	
東久留米市 市民部長	中島 哲	監 事	
東久留米まちづくりサポートセンター	田中 直子		参加の仕組み・組織づくり
東久留米市 企画経営室 企画調整課長	森山 義雄		
東久留米市 企画経営室 秘書広報担当課長	小林 尚生		
東久留米市 市民部 産業振興課長	道辻 正信		
東久留米市 市民部 生活文化課長	木暮 昭		

任期 平成25年3月31日まで

東久留米市訓令乙第 7 号

東久留米つながり・活力まちづくり事業推進プロジェクトチーム設置要綱を次のように定める。

平成 24 年 1 月 24 日

東久留米市長 馬 場 一 彦

東久留米つながり・活力まちづくり事業推進プロジェクトチーム設置要綱
(趣旨)

第 1 東京都新しい公共支援事業「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」に採択された東久留米つながり・活力まちづくり事業の推進のため、庁内にプロジェクトチームを設置する。

(名称)

第 2 プロジェクトチームの名称は、東久留米つながり・活力まちづくり事業推進プロジェクトチーム（以下「プロジェクトチーム」という。）とする。

(所掌事項)

第 3 プロジェクトチームは、次の業務を所掌する。

- (1) つながり・活力まちづくり協議会への参加
- (2) つながり・活力まちづくり事業への参画、協力、支援
- (3) つながり・活力まちづくり事業に関連する情報の調査、研究、提供
- (4) 市民への参画の場の提供
- (5) その他つながり・活力まちづくり事業のために必要な活動

(設置期間)

第 4 プロジェクトチームの設置期間は、平成 25 年 5 月 31 日までとする。

(組織)

第 5 プロジェクトチームは、別表に掲げる者（以下「構成員」という。）をもって組織する。

(リーダー及びサブリーダー)

第 6 プロジェクトチームにリーダー及びサブリーダーを置き、リーダーに企画経営室行政管理担当部長を充て、サブリーダーに市民部長を充てる。

- 2 リーダーは、プロジェクトチームを主宰する。
- 3 サブリーダーは、必要に応じてリーダーの職務を代理する。

(運営)

第 7 プロジェクトチームの会議は、リーダーが招集する。

2 リーダーは、必要に応じてプロジェクトチームの会議に構成員以外の者の出席を求め、意見及び説明を聴くことができる。

3 リーダーは、プロジェクトチームの下に個別事項の検討のためワーキンググループを設置することができる。

(庶務)

第8 プロジェクトチームの庶務は、企画経営室企画調整課において処理する。

(委任)

第9 この要綱に定めるもののほか、プロジェクトチームの運営に関し必要な事項はリーダーがプロジェクトチームに諮って別に定める。

付 則

この訓令は、平成24年1月24日から施行する。

別表（第5条係）

リ ー ダ ー	企画経営室行政管理担当部長
サブリーダー	市民部長
	企画調整課長 秘書広報担当課長 生活文化課長 産業振興課長
ワーキンググループ	企画調整課 生活文化課 産業振興課 各課長が指名する者 各1名

■協議会の開催状況について

協議会については平成 23 年度中に、全 9 回開催した。

回	日時	内容の概況
第 1 回	平成 24 年 1 月 19 日 (木) 16:00~17:45	・モデル事業の採択の経過 ・協議会の設立について ・事業及び専門部会について
第 2 回	1 月 24 日 (木) 17:00~19:00	・23 年度モデル事業の事業内容について ・セミナーの内容について ・NPO 法人化について
第 3 回	1 月 31 日 (火) 17:00~19:00	・ブランド開発事業について ・団塊世代の地域活動意向調査について ・セミナーの内容について
第 4 回	2 月 7 日 (火) 18:00~20:00	・セミナー案案について
第 5 回	2 月 17 日 (金) 18:00~20:00	・協議会の構成団体の活動、課題の提示 ・事務局について ・市民セミナーについて
第 6 回	2 月 27 日 (金) 18:00~20:00	・専門部会について ・事務局設置準備について ・市民セミナーについて
第 7 回	3 月 6 日 (火) 18:00~20:00	・市長への申し入れについて ・市民セミナーについて ・専門部会の企画案について
第 8 回	3 月 16 日 (金) 18:00~20:00	・市民セミナーの進行について ・専門部会の企画案について
第 9 回	3 月 22 日 (木) 18:00~20:00	・市民セミナーの準備・調整について ・平成 24 年度の活動方針について

■会議の内容については、会議録のとおり。

■協議会設置後、市では、プロジェクトチームの傘下に実質的な作業に従事するワーキンググループを設置した（市職員 3 名）。

■協議会の開催状況について

協議会については平成 24 年 4 月から 9 月までに、全 10 回開催した。

回	日時	内容の概況
第 10 回	平成 24 年 4 月 17 日 (火) 18:00~20:15	・協議会メンバーの一部変更について ・平成 23 年度事業活動報告書について ・平成 24 年度事業活動計画について
第 11 回	4 月 23 日 (月) 18:30~21:30	・東京都の事業計画届出状況 (締切) ・平成 24 年度事業内容について<予算協議>
第 12 回	4 月 27 日 (金) 18:30~21:00	・平成 24 年度事業内容について<予算協議の続き> ・今後の事業スケジュールについて
第 13 回	5 月 14 日 (月) 18:30~20:15	・平成 24 年度事業計画提出について ・部会・事務局・協議会の活動範囲の整理について
第 14 回	5 月 22 日 (火) 18:30~20:30	・部会の今年度事業・活動について ・旗揚げ式・わくわく講座について
第 15 回	5 月 31 日 (木) 18:30~21:00	・旗揚げ式・わくわく講座の直前調整 ・協議会・4 部会の活動 (各部からの当面の活動予定の報告)
第 16 回	6 月 7 日 (木) 18:30~20:00	・4 部会の活動 (スケジュールに基づいた直近 [6 月] の活動) について ・市民セミナーについて
第 17 回	6 月 15 日 (金) 18:30~20:40	・今後の協議会について ・市民つながり隊わくわく講座について ・市民つながり隊募集について
第 18 回	7 月 26 日 (木) 19:05~20:20	・部会長会議の設置について ・つながり戦略会議について ・25 年度以降の予算・場所について
第 19 回	9 月 11 日 (火) 19:00~21:05	・第 5 部会の発足について ・市民つながり隊の役割と整備について ・について

■会議の内容については、会議録のとおり。

[以下は下半期]

第 20 回	10 月 15 日 (月) 18:00~19:25	・平成 24 年度上半期の東京都への活動報告について ・25 年度以降の協議会の方向性について
第 21 回	11 月 12 日 (月) 18:30~20:40	・各部会活動状況 (イベント) について ・25 年度以降の協議会の方向性について ・各部会の予算修正・要求について
第 22 回	12 月 14 日 (金) 18:30~21:00	・25 年度以降の協議会について (第 5 部会からメンバーへの意見聴取) ・各部会活動状況 (イベント) について
第 23 回	1 月 15 日 (火) 17:00~19:15	・25 年度の協議会について (第 5 部会の素案[個人活動含め]提示) ・各部会活動状況 (イベント) について
第 24 回	2 月 13 日 (水) 19:00~21:15	・25 年度の協議会について (現メンバーによる当面の継続の可能性) ・事業完了に伴う評価を各部会に募集
第 25 回	3 月 12 日 (火) 19:00~21:30	・25 年度の協議会について (現メンバーの後見+つながり隊の自立) ・事業完了に伴う評価を整理
第 26 回	3 月 19 日 (火) 19:00~21:30	・協議会の解散について (現メンバーの意向による方針変更) ・30 日の協議会の課題整理

東久留米つながり・ 活力まちづくり協議会

会議録

東久留米つながり・活力まちづくり協議会（第1回）会議録

日 時：平成24年1月19日（木）16：00～17：40

場 所：東久留米市役所 4階 庁議室

出席者：協議会（委員）：桑原（まちづくりサポートセンター）、笹山（コミュニティサイト運営委員会）、石川（団塊世代ネットワーク）、菊池（亜細亜大学）、渡邊（プラスワン・ルネ国際研究所）、大森（富士通総研）

（行政）：馬場市長、吉川行政管理担当部長、鹿島市民部長、森田、中島、道辻、木暮

【市長挨拶】

このたび、おかげ様で東久留米つながり・活力まちづくり事業が新公共事業として採択され、23年度の助成金の交付が決定しました。これにより、資金を得ながら事業がスタートすることができ、ホッとしているところです。新しい取り組みですので、紆余曲折も、時には激論を交わすこともあると思います。また、行政と皆様の考えが初めから一致するとは考えておりませんが、そこを乗り越え市の活力のため、皆様と活動していきたいと考えております。

【議事に入る】

1. モデル事業の経過

11月の新しい公共モデル事業の第2回公募に当たり、皆様に協議体の在り方、新しい公共のあり方について検討していただいたことをまとめ、東京都に申請いたしました。12月の審査の結果、採択され、1月6日付けで助成金交付決定通知が届きました。（助成金23年度分、1,611,000円）

これを受け、13日説明会に出席し、27日までに助成金交付申請をする予定。・・・報告

2. 協議会の設立について

(1) 協議会の規約について

協議会の規約につきましては、（案）として、既に東京都に提出済み。

規約を説明した後、特段の意見は無く・・・承認

(2) 協議会名簿について

自己紹介後、・・・承認

(3) 市の協議体への参加について

市ではこの事業に即したプロジェクトチームを準備しており、それぞれの事業に参加する。・・・・・・承認

(4) 役員等の選出

会長には市民活動をしている人、副会長には産業振興に関わっている人という意見により互選を行った。

会長：桑原、副会長：斎藤、会計：石川、幹事：笹山、菊池、渡辺、大森、吉川、監事：笹山、鹿島を選出・・・・・・承認

3. 事業・専門部会について

(1) 東久留米つながり・活力まちづくり事業

① 4つの事業について

- ア) 地域ブランドの商品化
- イ) 団塊の世代への地域活動意識調査
- ウ) ヨコのつながりを担保する仕組みづくり
- エ) 協議会のNPO法人化

}・・・・・・承認

② 4つの事業のスケジュールについて

上記4つの事業を体系的に24年末までのスケジュール・・・・・・承認

③ 事業実施予算

上記の4つの事業に対する予算の内訳・・・・・・承認

(2) 専門部会について

協議会規約に専門部会を設置できることを明記・・・・・・承認

(3) 23年度事業予算について

23年度予算については、本日検討し、協議会として決定・承認し、27日までの交付申請時に提出する。

交付申請には23年度の執行計画書、収支予算書、協議体名義の口座等が必要。

特に、収支予算書には、商品開発と団塊世代の意識調査事業が予定され、その委託先に協議会のメンバーである㈱プラスワン・ルネ国際研究所と㈱富士通総研の2社に、調査設計や支援業務の事業委託を予定している。

このことについて、東京都の説明では、協議体から協議体に参加している団体への支出はしないことを原則にしている。ただし、特別な理由がある場合は協議会で検討し、決定しなければならないという条件が付されているので、委託先について、協議会としての考え方を協議していただきたい。

《協議体から協議体に参加している団体へ委託することについて》

この2社は余人をもって代え難し、このプロジェクトを進める上で、もっとも有効でパワフルなコンサルである。またこの2社は、このモデル事業の企画準備段階から参加しており、十分に話し合いも進めており、この事業を推進する上で必要不可欠なコンサルである、との意見で全員一致した。・・・・・・承認

最後に、今日の話し合いこそが新しい公共事業なのだから、そこで協議体での企業参加に縛りをかけられては事業が進まないことになる。積極的に民間企業のノウハウを取り入れながら取り組んでいくべき、という意見が出されたことを申し添える。

東久留米つながり・活力まちづくり協議会（第二回）会議録

日 時：平成 24 年 1 月 24 日（木）17：00～19：00

場 所：東久留米市役所 4 階 庁議室

出席者：協議会（委員）：桑原（まちづくりサポートセンター）、笹山（コミュニティサイト運営委員会）、石川（団塊世代ネットワーク）、菊池（亜細亜大学）、渡邊（プラスワン・ルネ国際研究所）、大森（富士通総研）

（行政）：吉川行政管理担当部長、鹿島市民部長、森田、中島、道辻、木暮

【報 告】

・本日の東京都面談で委託先の特命理由が必要なこと、NPO 設立にかかる法人化予算は認められないこと、都の運営委員会からは特段の意見が付されていないこと、セミナーは協議体内部向け限定の開催は不可、市民向けに開放すること等が報告された。

【主な意見】

- ・法人化予算は不可との考えに基づいて、予算の修正を行う。
- ・セミナーはひろく市民に開かれた開催の趣旨をPRしていく。3月下旬の開催に向けて準備を進めていく。
- ・市民目線で市民とともに歩む姿勢を協議会活動の方針としてつねに堅持したい。市民の目を向けさせる仕掛けの工夫が重要。レシピの公募、ワークショップでの開陳など。
- ・複数のNPOが組んでこそ、より多くの成果が上がることを実証したい。組織のネットワーク化をいかに実現していくかの議論を重ねていきたい。
- ・団体相互のヨコのつながりを作り、同時に市民への周知を行い、より多くの参画が得る視点でタテのつながりを豊かに作っていきたい。

* 都への修正案提出を経て、さらに議論を進めたい。次回は1月31日午後5時。

東久留米つながり・活力まちづくり協議会（第三回）会議録

日 時：平成24年1月31日（火）17:00～19:00

場 所：東久留米市役所 4階 庁議室

出席者：協議会（委員）：桑原（まちづくりサポートセンター）、笹山（コミュニティサイト運営委員会）、石川（団塊世代ネットワーク）、菊池（亜細亜大学）、渡邊（プラスワン・ルネ国際研究所）、大森（富士通総研）

（行政）：吉川行政管理担当部長、鹿島市民部長、森田、中島、道辻、木暮

【報 告】

- ・27日の東京都面談で4つのテーマごとに事業の成果を数量的に表すこと、評価システムをどう取り入れるかを明確にすることが求められた。

【主な意見】

- ・ブランド商品開発の過程で学生の参加を取り入れたい。
- ・ブランド商品開発では協議会参加団体からもプランを収集していきたい。鉄道事業者などいろいろな団体への呼びかけも行い、情報発信がひろく展開されるように工夫したい。
- ・ブランド商品開発の目的は事業の全体から見れば50%、ネットワーク化をいかに広げられるかが残り50%ではないか。
- ・4つのテーマを主に担う分担を取り決めていきたい。①ブランド商品開発を地域産業推進協議会とプラスワン・ルネ研究所、②団塊の世代への地域活動意識調査を団塊くるねっとと富士通総研、③ヨコのつながりを担保する仕組みづくりをくるくと・・・、④仕組みを支える組織づくりをまちさばと富士通総研に。
- ・3月下旬のセミナーは新しい公共の意義とは何か、協議会の意義や目的を発信すること、市民の目線を集め参画を得る仕掛けとして市民応援団を募っていくこと、これらを主要なテーマに開催したい。

* 次回は2月7日午後6時。

東久留米つなかり・活力まちづくり協議会（第四回）会議録

日 時：平成24年2月7日（火）18:00～20:00

場 所：東久留米市役所 4階 庁議室

出席者：協議会（委員） 桑原（まちづくりサポートセンター）、笹山（コミュニティサイト運営委員会）、石川（団塊世代ネットワーク）、菊池（亜細亜大学）、渡邊（プラスワン・ルネ国際研究所）、大森（富士通総研）

（行政）：吉川行政管理担当部長、鹿島市民部長、森田、中島、道辻、木暮

【主な意見】

- ・ 3月24日セミナーの素案を作成した。アイデアを出してほしい。
- ・ 市民のまちづくりを支援するのが協議会の目的。そのメッセージをチラシで発信し、ひろく参加を募っていく。
- ・ 協議会会長に「協議会とは」、菊池幹事に「新しい公共とは」、各参加団体に「協議会の計画している事業の紹介」をそれぞれ披歴してもらう。その後、参加市民からの意見や質問を受ける。最後に副会長から、協議会事業への参加をお願いして、2時間のプログラムとする。

* 次回は2月17日午後6時。

H24. 2. 17 第5回東久留米つながり・活力まちづくり協議会要録

日時 平成24年2月17日（金）午後6時～8時35分

場所 庁議室

出席者 [協議会（市以外）] 東久留米まちづくりサポートセンター 桑原氏（会長）、
東久留米市地域産業推進協議会 斎藤氏（副会長）、
東久留米市コミュニティサイト運営委員会 笹山氏（幹事・監事）、
東久留米の団塊世代ネットワーク 石川氏（会計）
学校法人亜細亜大学 菊池氏（幹事）
株式会社富士通総研 大森氏（幹事）
株式会社プラスワン・ルネ国際研究所 渡邊氏（幹事）
株式会社ヴァイスヴァーサ代表 平川氏（オブザーバー）

[協議会・PT（市側）] 行政管理担当部長（幹事、PTリーダー）、市民部長
（監事、PTサブリーダー 途中出席）、企画調整課長、秘書広報担当課長、
産業振興課長、生活文化課長

[WG] 廣瀬係長、井上係長、瀬口主事、太田

1 協議会の各構成団体について

（各団体の紹介。詳細は会議後渡邊氏より提供、協議会メンバーにより校正された
『各団体の活動内容』、『各団体のご紹介文』参照）

- ① (株)ヴァイスヴァーサ代表 平川氏 ※今回はオブザーバーとしての参加
- ・「HPのプロ」プロ野球チームや商店街のHP・フライヤー・名刺等を作成
 - ・東久留米市のITの遅れに対し協力できないかと考え、市内に移転した。
 - ・商工会や環境広報部会に所属。ブログ・twitter・facebook等の導入を推進中。
 - ・協議会とは「くるくる」笹山氏を通じて内容を知り、今回オブザーバーとして参加。
 - ・もとは編集の仕事をしており、趣味のペンギンの本も執筆。

② 東久留米まちづくりサポートセンター（通称：まちさぼ）代表 桑原氏

・「まちさぼ」には4つ＋1の機能がある

→Ⅰ 情報部門 on「くるくる」……他の機能を生かす

Ⅱ サロン部門……市民の皆さんが普段どんなことを考えていて、どんな課題があつて、今後この街をどうしていきたいかを吸い上げる。

Ⅲ Ⅱの課題を解決する部門

Ⅳ ブランド品の計画・作成部門

【その他もあるのではないか？→Ⅴ】

[失敗談] ex. まち歩きイベント……フリーテーマで東久留米に興味がある人たちに歩いてもらい、新たな「思いつき」、「発見」を得る。→最初はよかったが次第に参加者が減ってしまった。

協議会における個人的な目的＝「まちさぼ」の肉付け

③東久留米市コミュニティサイト運営委員会（くるくる） 笹山委員長

- ・ 5年前サイト（くるくる）を作ることの打診があり、現在西部地域センターに事務局を置き活動をしている。
- ・ 登録団体は350～360団体、アクセス数は2月3日時点で通算20万アクセス。
- ・ 祭りなどの市民イベントをPRし、そのイベント内でもPRを行う。
- ・ サイト上で市内風景のフォトコンテスト等も行う。
- ・ 「サイト上だけではなく、団体同士をつなぎ、街の情報を発信する」のが趣旨。

④東久留米の団塊世代ネットワーク（通称：団塊くるねっと） 石川氏

- ・ 現状5年目。年20回程度のサロン・講座・シンポジウムといった企画に加えて月2回の定例会を行っている。もうすぐ通算100回。
- ・ コンセプトは「団塊世代が退職し、地域に帰ってきたときにスムーズに地域に参加できるお手伝いをする」こと。
- ・ メンバーは約40名、男女比は6：4。メンバーをより増やしたい。
- ・ 近隣市（東村山、清瀬、西東京。小平は対応団体なし）の団塊世代の組織と交流がある（たま団塊交流会）

⑤東久留米市地域産業推進協議会 斉藤氏

- ・ 元々はJA・市民・市の3者の調整のため生まれた組織。現在は農業・商業・観光の各事業部で活動を行っている。
- ・ 例としては去年の「東久留米うどん」、現在検討している柳久保小麦での乾麺の開発、野菜の販売、3月4日にお披露目になるキャラクターなど。七福神めぐりでは約3600人を集めた。ただし実務に置いては課題も感じている。
- ・ 今後、市から独立した組織となることも視野に入れ活動する。

⑥株式会社 富士通総研 大森氏

- ・ リーダーとのつながりが参加のきっかけの一つ。
- ・ 個人的に考える「新しいまちづくり」の農業についての市の課題は、
→緑（畑）の減少による、食と農のマッチング。
農業自体を学べる学校が必要と考えている。
- ・ 「東久留米市民がまちづくりに入っていくか？」現状ある課題は子育て、福祉といった個別事項ではなく、様々な課題の連関であり、様々な方向からよい街づくりに取り組むことが重要である。

⑦株式会社 プラスワン・ルネ国際研究所 渡邊氏

- ・地域産業推進協議会を通じて、柳久保小麦に関わったが、結果とともに課題もあった。
- ・「子供たちに何が残せるのか」が課題。一度広がった輪を無駄にしたくない。
- ・事例として、七福神めぐりには100人のボランティアが参加している。近隣市でなかなかこういった事例はない。(続)
- ・ルートとなったかるがも商店街OBから「昔のにぎわいが戻ってきた」と言われたのは感無量だった。
- ・同じ七福神めぐりのとき、不機嫌そうに何をやっているのか聞いてきた老夫婦が居た。おそるおそる説明したところ、かえってきたのは「にぎわいがあってうれしい」という言葉であった。
- ・「東くるめからの梅だより 梅うふふ」の子供版のようなことがやりたい。
- ・実は今回の事業と似たNPOを立ち上げる寸前であったが、10日前に本事業を知り申請を取り下げた。それだけ思いがこもっている。

⑧学校法人 亜細亜大学 菊池教授

- ・外からの視点、という方向性で役に立ちたい。
- ・元市民+第4次長期総合計画の審議会に参加したことが直接のきっかけ。
- ・大学の地域貢献の一環として、学生とフィールドワークを行うこと、また地域貢献等をテーマとする先生との横のつながりがある。
- ・三鷹市では市民が自主的に「市民大学」を開いており、こういった取り組みはよいと考える。

【以上を受けPTリーダー（行政管理担当部長）より】

- ・各委員がまちについての熱い思いを持っていることはすばらしい。一方でこれらを踏まえて相談の場としたい。早いところでは平成15年頃から活動をしているが課題も見受けられる。例えばその一つにそれは「活動を外に広げていくこと」がある。解消のためには大きなエネルギーが要る。
- ・今回の事業で諸々の課題が解決するのではなく、『前に進むエネルギーを生み出すその仕組みづくり』が目標である。キーワードとして「プライドを持てる街づくり」という言葉があったが、これも一案である。
- ・とはいえ、具体的事業がないと、25年4月以降の継続性について不安定になる。

3 東久留米つながり・活力まちづくり市民セミナーについて

以下、討議（発言者はわかる限りで）

委員→清酒「ひがしくるめ」のラベルの七福神は、当社イラストレーターがデザインした。また自分は経済産業省の「個人店のアドバイザー」としても登録しており、そういう部分（セールス+IT+デザイン）でも役に立てると思う。

会長→まず「1 目標」について『多くの市民を巻き込む仕組みづくり』ということであるが。

委員→「食と農のマッチング」といったシンボルマーク野用なものがあつた方がよい。

会長→「多くの課題を解決する仕組みづくり」という内容について、3月24日のセミナーを考えると、もっと具体性がほしい。

委員→仕組みづくりに今までになかった、というようにすぐにわかる、この協議会を表すような言葉がほしい。25年4月に仕組みを作る、では弱い。

委員→例えば「何人の市民を巻き込んだのか」といった、マイルストーンと言えるようなゴールと目標への途中経過を設定してはどうか

委員→数量の設定は協議会の基準でしかないため、個人個人がどう参加しやすくなるか、を考えるのがよりよいのでは。

委員→確かにそうだが、一方でメインテーマは見える化したい。

委員→最初に参加しに来る人は、街づくりについて意識の高い人が多い。来た人が「なるほど、こんなものを待っていた!」と言えるような何かがほしい。

委員→長期総合計画に携わって、市民の最大公約数的課題は現状2点、上の原地区に象徴されるような団地立て替えと、用地・従業者の減少が続く都市農業対策であるとする。

委員→事業の仕組み、アッパーな部分はあまり専門ではないのであえて言うが、仕組みより中身が大事ではないか。やはり人が行動しなければ物事は前に進まない、その動機付けをいかに行うか。どうすれば人が動くのか、仕組みづくりや資金作りに加えて、「こんな居場所がほしかった」と言えるようなものが必要では。

委員→実際の状況が今のままだとわからない。普通の人には余程でないとわざわざ参加しにこない。

委員→補助金が交付される、だけではない何かがほしい。

会長→共通の土台があるのかも知れない。どう解決するか。

委員→風呂敷を広げるのではなく、クローズアップする方法もある。例えば地域産業推進協議会との兼ね合いをどうするかなど。あまり間口を広げすぎるのもよくない。

会長→ただ、24日のチラシが夢のないものとなるのもどうか。

委員→例えばベルリンフィルならば何をするのか明確だが、今回の場合はそうではない。難しいが、夢はあつたほうがよい。そのためには皆さんの思いをつめていくのがよいだろう。

委員→そうすると8団体のゴール、「夢」の中心をどうするか。

委員→市民つながり隊の「つながり」や、「みんな、つながろう!」というフレーズはよいと考える。

委員→ただ、3月24日の時点でそこまで方向性を引き出す必要があるか。例えばベン図が重なった、ほんの一部分を示すのが現実的と考えるが。

委員→参加団体による最大公約数的な何かは示したい。

会長→ちなみにチラシの期限はいつか。

委員→3月15日(月)である。

WG→チラシについてヒラカワ氏にも依頼しては。

渡→こちらでも複数社よりサンプル案を取り寄せる予定である。

4 事業目的と部会活動について

委員→チラシについて、案では中央に1事業、その周囲に今回実施予定の4事業が書かれているがどこに焦点を当てるのか。認識にぶれがあってはいけない。

委員→中央部分ではつながり隊に触れるのか。

委員→「～体」、「～隊」という表現自体には好感を持てる。

委員→MLは情報共有しやすいが、意思決定は難しいツール。決められることは決定した方がよい。

会長→チラシにある4項目についてはおおよその主管を確認する。

地域ブランド商品開発事業市民応援団→東久留米市地域産業推進協議会

ヨコのつながりを担保する仕組みづくり→東久留米まちづくりサポートセンター

東久留米市コミュニティサイト運営委員会

団塊世代の地域活動意向調査→東久留米の団塊世代ネットワーク

仕組みを支える組織構築→東久留米まちづくりサポートセンター

東久留米市コミュニティサイト運営委員会

2 協議会事務局について（報告と協議）

委員→事務局の場所についてだが、公共団体という位置づけではないこと、予算面での準備がないことから、庁内のスペース提供が難しい状況である。方法があれば伺いたい。

委員→空き事務所は市内にあるが、すぐには決めようがない。

委員→実体上難しいということであれば、「くるくる」の一部を提供することを検討してもよい。ただ、距離的に駅投資の中央部は遠くなるが。

会長→事務局と協議会が遠くなることをどう考えるか。市役所内にスペースを作る線はないと考えてよいのか。

委員→そう考えてほしい。

会長→ならば「くるくる」を間借りする形を含め、今後検討していく。各委員からもアイデアがあれば提案をお願いします。

——その後、MLにて各団体の活動内容をまとめること、その上で3月24日に行うセミナーの内容を詰めていく。その上で渡邊氏サイドよりチラシをデザインする方向となった。次回第6回の協議会は2/27（月）18時より市役所庁議室で行う。

H24. 2. 27 新しい公共「つながりまちづくり」第6回協議会

日時 平成24年2月27日（月）午後6時10分～8時35分

場所 庁議室

出席者 【協議会（市以外）】 東久留米まちづくりサポートセンター 桑原氏（会長）、
東久留米市地域産業推進協議会 齋藤氏（副会長）、
東久留米市コミュニティサイト運営委員会 笹山氏（幹事・監事）、
東久留米の団塊世代ネットワーク 石川氏（会計）
学校法人亜細亜大学 菊池氏（幹事）
株式会社富士通総研 大森氏（幹事）
株式会社プラスワン・ルネ国際研究所 渡邊氏（幹事）
東久留米まちづくりサポートセンター クボタ氏（オブザーバー）

【協議会・PT（市側）】 行政管理担当部長（幹事、PTリーダー）、市民部長
（監事、PTサブリーダー）、秘書広報担当課長、産業振興課長

【WG】 廣瀬係長、井上係長、瀬口主事、太田

1 今回の概要

- ・ 3月24日のセミナーを前に、各団体より提出があった活動概要を渡邊氏に取りまとめた。この内容についての確認。
- ・ 地域産業推進協議会が抱える課題（柳久保小麦について、特に製粉における人手不足）を切り口とした今後の活動における方向性の確認。
【「地域の課題を解決できるようなつながり」の仕組み・場づくりを『目的』として、農業を中心としたブランド作りという『活動』を行っていくこと。この取り組みを一つのモデルとして、地域の課題解決のきっかけとして今後につなげていく】
- ・ 農業は都に提出しているモデルでも明記されており、大きな事業ではあるが、他の3事業と比べてこれだけが主となるのではない。
- ・ 4専門部会に関しては、次回までに所管となった団体がおおよその骨子を考え、これを協議会で検討する。
- ・ 補助金は2／29に交付予定。事務局の事務用品等ツールは23年度予算の活用もあり、年度内に会長とWG協議の上、順次購入していく。
- ・ 事務局局員については経験・実績のある人物から会長・副会長が決定していく。現状は未確定のため、適任の人物がいれば推薦を依頼（なお、会長より打診したい人物が居るとの話あり。ただし、別ルートでももちろん可能）。

次回第7回の協議会は3／6（火）18時より市役所庁議室で行う。

【討議要録】

《前回予定していた内容の確認》

- ・各団体が提出した団体の活動内容・紹介文をもとにセミナー時のプログラムを作成、チラシを修正した。プログラムについては直前まで修正がきくので意見があればお願いする。
- ・セミナー当日話す内容は4事業（地域ブランド商品開発事業、ヨコのつながりを担保する仕組みづくり、団塊世代の地域活動意向調査、仕組みを支える組織構築）。まず会長がこの事業全体についての趣旨について話してもらい、その後協議会メンバーがそれぞれ話す。肉声で話すことが大切。

《4事業の位置づけについて》

- ・4事業のうち、メインとなるものは全体が参加する形での【地域ブランド】でいいか。→それぞれのテーマごとに乗り入れる形でよいのでは、どの意見あり。

《地域産業推進協議会の実情》

- ・【地域ブランド】について、主管の意見を聞いてみたい。
→現在柳久保小麦の乾麺を6月、昨年好評だった東久留米うどんを11月に作る予定だが、特に製粉等が困難。この「新しい公共」で支援してくれる組織があれば。
- ・新しい公共では、例えば【地域ブランド】なら、参加する市民はこれを作る夢を語ることを望むだろう。そこに「手伝って」、と言われると一般市民は尻込みする。市民の意見も取り上げてほしい。ただの「お手伝い隊」ならば、その意義は疑問。
- ・3月24日のセミナーでは、各事業の課題は触れないことを確認する。
- ・今回の事業を行うにあたって、地域産業推進協議会の立ち位置に課題がある。重複するのは好ましくない。意見を聞くのはいいが、地域産業推進協議会としては、課題に対して「手伝ってほしい」という思いもあるだろう。
- ・市民意見による活動が将来像だが、現状はスケジュールの縛りもあり対応は厳しい。

《オブザーバーからの課題提起》

- ・「新しい公共」とうたった以上、「手伝ってくれ」とただ募るよりは、自発的に「助けようよ」という気になれる方がよいのでは。せっかく集まった市民が「これをやろうよ!」という意見を出せないのはどうなのか……。
→そういった意見を聞くのがこの協議会の本来の形。このテーマに事業活動がそぐわないならば、事業をかえる必要もあると考える。
- ・市民の「活動の場」「つながりの場」といった活動は具体化しづらく、農・工・商の事業はイメージしやすい。といっても最初からその事業だけではどうか。「新しい公共」に【農産物を生かした地域ブランドの創造】がどう関係するのかが見えない。
- ・都への申請に【農産物を生かした地域ブランドの創造】はモデル事業の一つとして明記している。

《本協議会の原点について》

- ・元々この協議会の設置に向け話していたのは、地域の課題解決のきっかけになるような、仕組みづくりであった。もう少し広い視点から議論してもよいのでは。

- ・ 1年間という区切りの中での農産物によるブランド作りには、困難が伴う。
- ・ 地域ブランド作りと先ほどの「手が足りないから手伝ってほしい」というこの課題は別の話であって、課題はつながりができたあと、次の次元の話では。
- ・ 個人的には、地域産業推進協議会とこの協議会の活動の違いについて、説明しようはあると考える。ただ1年という期間で焦りがあることも事実である。

《つながりを主軸とした場合の【農業】の位置づけについて》

- ・ 意見を出せる場所、声を寄せられる場所づくりをすることがこの事業の本旨と理解している。課題の解決はその先の話ではないか。
- ・ ただ、具体的な事業についてもそう遠い話ではなく、準備を進める必要がある。
- ・ とすると、「地域ブランド作り」において、【農業】に限定する必要があるのか。
- ・ 現状は方法論 [How] の議論が多かったが、今後は「なぜ【農業】なのか」について考えていくと新たな視点となるのでは。
- ・ 第4次長期総合計画では農産物・地産地消といったテーマは重要視している。
- ・ 都への申請は【農業】が明記されており、これを完全に外すわけにはいかない。ただしこれがすべてでもない。広い視野で取り組んだ方がよい。
- ・ つながりが目的である一方で、4つの事業のうち【農業】に具体性があるのも事実で、この部分が見えると他の3事業も決まってくるのではないか。

《市民意見の聴取について》

- ・ 以前ドイツに居た人に『まろにえ富士見通り』の話をしたところ、「ドイツにはない」とよい意味で驚かれた。市民それぞれの意見も組み入れてほしい。→こういった意見の先に新たな活動の可能性があり、積極的に聞きたい。
- ・ 団塊向けのアンケートは始動できるか→可能だが、どこにテーマを置くかは明確にしたい。

《専門部会について》

- ・ 次の議会で話題になるのか。→過去の議会でも『新しい公共』は質問され答弁を行っている。今回仮に質問されたとしても、今まで同様「つながり、活力」のおおよそに触れるのみである。
- ・ 4つの専門部会について、割り振りのみで各団体に任せる形でよいのか。
→ある程度骨組みはあった方がよいのでは。
→主管団体がそれぞれ考え、次回の協議会ですり合わせることにする。

《事務局作りについて》

- ・ WGより、2月29日に都の交付金の入金がある。23年度中の予算執行のため、PCや電話など、必要なものは会長と協議の上、買いそろえていくこととする。
- ・ 事務局員の雇用についてどうするか。全員で面接する訳にもいかない。
- ・ これまでに実績がある方が望ましい。協議会各位に対象者のあてがあれば紹介してもらいたい。人事については会長・副会長で決めていってもよい→異議無し。

- ・ 次回第7回の協議会の日程確認 【3/6（火）18時より市役所庁議室】

H24. 3. 6 新しい公共「つながり・活力・まちづくり」第7回協議会

日時 平成24年3月6日（火）午後6時20分～8時30分

場所 庁議室

出席者 [協議会（市以外）] 東久留米まちづくりサポートセンター 桑原氏（会長）、
東久留米市地域産業推進協議会 齋藤氏（副会長）、
東久留米市コミュニティサイト運営委員会 笹山氏（幹事・監事）、
東久留米の団塊世代ネットワーク 石川氏（会計）
学校法人亜細亜大学 菊池氏（幹事）
株式会社富士通総研 大森氏（幹事）
株式会社プラスワン・ルネ国際研究所 渡邊氏（幹事）
東久留米まちづくりサポートセンター 久保田氏・山本氏（オブザーバー）
東久留米市地域産業推進協議会 篠宮氏（オブザーバー）
[協議会・PT（市側）] 行政管理担当部長（幹事、PTリーダー）、市民部長
（監事、PTサブリーダー）、企画調整課長、秘書広報担当課長、産業振興課長、
生活文化課長
[WG] 廣瀬係長、井上係長、瀬口主事、太田

1 今回の概要

- ・会長より、事務局スペースについて、2月28日に協議会より市長へ提供のお願いを行ったこと、PTリーダーより7階旧食堂スペース一部、約30㎡が確保される見通しとの報告があった。なお、光熱水費は別途負担を要するという課題があり、これを会長預かりとする旨了承あり。
- ・WGより、事務局の電話契約を行ったこと、事務局が立ち上がるまで（4月1日以前）、当面WGで電話対応をすることの報告。
- ・WGより、市報・HPに3月24日のセミナーを掲載する旨報告・内容確認依頼。活動概要の修正・当日プログラム追加等の対応をすることとした。
- ・前回協議会での協議を基として、活動の基本構想・ドメインについての会長案（渡邊氏取りまとめ）の検討（「地域ブランド開発」事業で本協議会と地域産業推進協議会との活動の違いを鮮明にするという背景あり）。24日のセミナーを前にコンセプトとして共有した。外部への公表については今後検討する。
- ・WGより、予算の大枠の提示があった。これを基に4専門部会の事業内容の説明依頼→未だ各主管で内容調整が要る状況であったため、次回までに主管団体がおおよその骨子を考えることとした。
- ・笹山氏より、「ヨコのつながりを担保する仕組みづくり」についての考えの朗読。
『「より充実したサイトとする」のみならず、多くの人の夢をつなげていきたい』
- ・渡邊氏から、「地域ブランド商品開発事業については既に事業内容をまとめている」とのこと。
- ・23年度内の予算執行の必要性から、既にアクションがおこせる事業については、順次個別調整等を進めていくことを確認。
- ・セミナーの事業説明について、各事業毎に担当が説明するか、1名が代表して説明するかは次回に検討することとした。

次回第7回の協議会は3/16（金）18時より市役所4階庁議室で行う。

【協議要録】

《事務局に関する準備について》

- ・ 2月28日に、市長へ文書にて事務局スペースの提供を依頼した。
- ・ これを受けて市では、市役所7階の旧食堂スペースの一部、正面エレベータを下りて手前にある1／3、約30mの提供を検討している。利用時間は平日9時から17時まで。使用料は免除申請をするが、光熱水費は庁舎の規定から負担せざるを得ない。→会長が預かることに。
- ・ 3／24セミナーの市報・市HPの掲載現行の確認→見出し・小見出しが主なテーマに即していない、菊池先生の講演を含む全体プログラムを記載するなどの指摘あり。修正を行うこととした。

《全体の新コンセプト（基本構想・ドメイン）について検討》

- ・ 「水と緑」を守ることや地域課題の解決が主眼となっているが、つながりを広げることがメインテーマである。「水と緑」は守るだけではなく資源を生かす視点で考えるべきでは
 - ・ そもそも「水と緑」の事業経費がないが具体的にどのような事業が行えるのか。
 - ・ 物事は「なぜ、何のために(why)」の視点があって初めて解決を行える。課題をコンセプトのように「水と緑」とするか、それとも食と農にクローズアップするか。
 - ・ 次につながるための組織作りが第一であって、その先にいろいろな課題があるはず。
 - ・ 「何のために」ということならば、都に提出したコンセプトの後段であると考えてる。
- 【持続的発展的な組織運営が可能な社会的仕組みづくりのモデルを構築する】

《新コンセプトの背景について》

- ・ 今回のこのコンセプトを作った理由の一つとして、前回の議論で地域産業推進協議会と、この新公共の活動を明確に分ける必要があったことがある。
- ・ 平成25年3月までに目指すのは持続的なモデル作りであり、先の広がりはそれ以降でもよい。
- ・ それならば「強靱な組織作り」は「持続可能な～」とした方がよい。
- ・ 都に申請したときのコンセプトと、新コンセプト（基本構想・ドメイン）を比べると、前者は事業として行うことを表している。新コンセプトは協議会で議論した、共通理解のベースのようなものと考えていい。
- ・ この新コンセプトは内部資料となっているが、ベースにするなら公表することも視野に入れた方がいい。

《4専門部会の具体事業について、現時点での考え》

- ・ 「ヨコのつながりを担保する仕組みづくり」について。3.11の震災以降、従来の「公助」「自助」に加えて『共助』の重要性が高まっている。災害時のみならず、日頃から活動に参加する人とのつながり、仲間作りを通じて「その実現は誰かと一緒にやって行こう!」と言えるような仕組みづくりがしたい。くるくるではその一助として、単にサイト作りのみならず、街づくりを行っている。こうした活動、たとえば

「地域ブランド商品開発事業」によって多くの方々の夢をつなげていきたい。

- ・ よいと思うが、地域ブランド事業が軌道に乗るためには、活動の「実験場」が要ると考える。

《3. 24セミナーでの4事業の話し方》

- ・ 4事業についてはある程度具体的なものが要ると考える。たたき台程度の内容を詰めた上で、内容を協議会で共有し、決めていく形がよい。
- ・ 事業ごとに話すと、聞く側が混乱するので一人が話し手になった方がよいのでは。
- ・ 目的はあくまでも多くの人たちに協力してもらえるか、である。事業を伝えることは重要だが、第一の目的ではない。例えば当日、来場者と今後の夢を含め、話してみるという方法もある。
- ・ その場合でもたたき台は要る。また、行動が早い人は3/24時点でまず何をすればいいかを聞いてくるだろう。

《活動のたたき台作りに際して》

- ・ 活動に際しては各事業ごとに予算が決まっている。厳密な区切りではないが、総額は限りがあるので範囲内での計画を立ててほしい。
- ・ 「団塊世代の地域活動意向調査」については基礎となるコンセプトが決まっていないと行動が難しい。例えば何を目的にして、何について聞くのか、といった点など。
→ 23年度中に予算執行することが決まっている。方向性や提案と言った点からでも主管・担当間で調整し、動いていく時期である。
- ・ 「地域ブランド商品開発事業」については、この事業をメインとした前提ではあるが、おおよその事業の形はできている。
- ・ 事業の具体化に関連して、SNSについて、コンサルタントの皆さんの協力は得られるか→○の回答。
- ・ 次回の協議会では、4事業すべてのたたき台を持ち寄り、検討する場とする。
- ・ 次回第8回の協議会の日程確認 【3/16（金）18時より市役所庁議室】

... ..

... ..

... ..

H24. 3. 16 新しい公共「つながりまちづくり」第8回協議会

日時 平成24年3月16日（金）午後6時15分～8時30分

場所 庁議室

出席者 [協議会（市以外）] 東久留米まちづくりサポートセンター 桑原氏（会長）、
東久留米市地域産業推進協議会 齋藤氏（副会長）、
東久留米市コミュニティサイト運営委員会 笹山氏（幹事・監事）、
東久留米の団塊世代ネットワーク 石川氏（会計）
学校法人亜細亜大学 菊池氏（幹事）
株式会社富士通総研 大森氏（幹事）
株式会社プラスワン・ルネ国際研究所 渡邊氏（幹事）
東久留米まちづくりサポートセンター 久保田氏・山本氏（オブザーバー）

[協議会・PT（市側）] 行政管理担当部長（幹事、PTリーダー）、市民部長
（監事、PTサブリーダー）、企画調整課長、産業振興課長、生活文化課長
[WG] 廣瀬係長、井上係長、瀬口主事、太田

【協議会概要】

- 1 第7回協議会以降の「市民セミナー」に関する活動の確認
 - ・「市民セミナー」チラシ・ポスターの正式版が14日に納品され、関係施設の設置、団体への提供、東久留米駅での配布を行ったこと等の報告があった。
 - ・対外的なPR活動（報道関係へのリリース等）について、14日に渡邊氏より協議会MLで提案あり。
 - ・参加申し込み状況について、WGより報告があった。
- 2 事務局の準備状況について
 - ・職員の採用については、会長より1名の紹介があった→協議会で了承あり。セミナー当日に参加できるかを打診中。
 - ・前回同様事務用品について、WGで3月中に購入を勧めることを確認。活動スペースについて申請中であり、市で検討中であることを報告。
 - ・事務局の活動開始について、セミナー当日の開設は難しいが24年度当初には活動できる状況にする方向性を確認。
 - ・サロン・事務局運営費（光熱水費）については協議会事業の一部をまちさぼで受けることを前提で、負担の申し出あり→協議会で了承。
- 3 3/24「市民セミナー」の全体内容について
 - ・『つながり・活力まちづくり』4事業（「地域ブランド商品開発事業」、団塊世代の地域活動意向調査、「ヨコのつながりを担保する仕組みづくり」、「仕組みを支える組織構築」）の企画案の検討の前提として、セミナー当日は、概要についての話とし、個別事業の話は部会ごとに行う方向性とした。
 - ・今後の活動において、大学生を活用できないか、菊池氏に打診あり→了承あり。
 - ・当日は渡邊氏が全体内容をコーディネートしつつ、各担当より内容を話すスタイルに決定。また、以前第6回協議会会議で検討したプログラムは当日配布することとした。

次回第9回の協議会の前に3月22日（木）18時より3/24セミナーのチラシ配布を東久留米駅西口で行い、会議は19時より市役所7階701会議室（セミナー会場）で行うこととした。

H24. 3. 22 新しい公共「つながりまちづくり」第9回協議会

日時 平成24年3月22日(木) 午後7時10分～8時30分

場所 庁議室

出席者 [協議会(市以外)] 東久留米まちづくりサポートセンター 桑原氏(会長)、
東久留米市地域産業推進協議会 齋藤氏(副会長)、
東久留米市コミュニティサイト運営委員会 笹山氏(幹事・監事)、
東久留米の団塊世代ネットワーク 石川氏(会計)
学校法人亜細亜大学 菊池氏(幹事)
株式会社プラスワン・ルネ国際研究所 渡邊氏(幹事)
東久留米まちづくりサポートセンター 久保田氏・山本氏(オブザーバー)

[協議会・PT(市側)] 行政管理担当部長(幹事、PTリーダー)、市民部長
(監事、PTサブリーダー)、企画調整課長、秘書広報担当課長、産業振興課
長、生活文化課長

[WG] 廣瀬係長、井上係長、瀬口主事、太田

【協議会概要】

1 3/24「市民セミナー」直前の全体確認

・「市民セミナー」直前のため、当日の準備について、『セミナー準備に関するおぼえがき』をもとに検討した。

(参考資料『セミナー準備に関するおぼえがき』を参照。決定した内容・割り振りは以下の通り)

1. 受付簿作成 笹山氏
2. 文房具等準備(筆記用具、コピー用紙、A4茶封筒等) 石川氏
3. 受付 瀬口主事、西田氏
4. 配布資料説明及び司会 渡邊氏
5. カメラ撮影 廣瀬係長
6. システム関係 (PC・パワーポイント) 井上係長
(マイク・ICレコーダー) 太田
7. 配布資料
 - ①東久留米市長期計画概要版資料 WG
 - ②菊池教授のパワーポイント 菊池氏
 - ③つながり隊登録用紙 データ: 渡邊氏 印刷: 齋藤氏
 - ④プログラム 渡邊氏
 - ⑤アンケート 生活文化課長
 - ⑥協議会の概要資料 渡邊氏
8. マスメディア関係 対応=秘書広報担当課長
9. 集合時間 12時30分
 - ①会場設営=椅子・机・マイクテスト・プロジェクタテスト・レコーダーテスト
 - ②印刷物用意
 - ③会場案内マーク貼り
 - ④各担当準備
 - ⑤受付手順確認

- | | |
|---------------------|--------------|
| 10. 会場開場時間 | 設営準備が出来次第ご案内 |
| 11. レコーダー | 渡邊氏・WGで2台準備 |
| 12. 正面玄関からのエレベーター稼働 | WG（申請済） |
| 13. 暖房依頼 | WG（申請済） |
| 14. 会場案内用矢印等 | WG |

・つながり隊の募集方法について、参加用紙を資料と同時に配布、終了後回収する方法とした。渡邊氏が以前作成した「隊員カード」は、後日事務局から配送することとした。

・当日の準備に関連して、文房具等は石川氏が23日に購入する旨、了承あり。

・アンケートの質問項目について調整。主な設問は以下の6項目とした。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ①セミナーの感想 | ②協議会の活動へ関心を持てたか |
| ③市民つながり隊について理解できたか | ④4部会のどれに興味をもったか |
| ⑤現在、他に地域活動をしているか | ⑥東久留米の地域資源とは何か |

・今後の方向性について、2点の意見あり。

①協議会は24年度以降は各専門部会の意見を集約する場とする。

②モデル事業終了後はつながり隊に一定の対価を配分することも想定する。
→次回以降の検討課題とした。

・駐車場代は自立性の視点から、協議会・市ともに負担しないことへの了承あり。

次回市民セミナーの集合時間は12時30分に市役所7階701会議室（セミナー会場）とし、順次事前準備を行うこととした。

第10回 協議会議事録（案）

- ・ 日時：平成24年4月17日（火）、18:00～20:15
- ・ 場所：東久留米市役所庁議室
- ・ 出席者（あいうえお順、敬称略）：石川、大森、菊池、桑原、木暮、小林、
笹山、斎藤、田中、中島、橋爪、道辻、森山
- ・ 委任欠席（敬称略）：渡邊
- ・ 傍聴者： 久保田さん、山本さん、平川さん

I. 審議事項

1. 協議会メンバーの一部変更の件

(1) 吉川光彦氏（元企画経営室行政管理担当部長）より、庁内人事異動の結果、当協議会に関わる市関係者が次のように変更になることが報告され、承認された。

- ・ 吉川光彦氏 ⇒ 橋爪和彦氏（企画経営室行政管理担当部長）へ
吉川氏は企画部特命担当として継続参加
- ・ 森田好保氏 ⇒ 森山義雄氏（企画経営室企画調整課長）へ
- ・ 鹿島宗男氏 ⇒ 中島哲氏（市民部長）へ
- ・ 中島 哲氏 ⇒ 小林尚生氏（企画経営室秘書広報担当課長）へ

(2) 会長より、「まちさぼ」の代表が会長職にあるので、協議に専念できる新公共担当として田中直子氏をメンバーに加えたいとの提案がなされ承認された。

2. 平成23年度事業活動報告書について

事務局から、23年度の事業活動報告書（別紙）を都に提出した旨、報告が行われ、審議の結果、事後承認された。なお、これに関して

富士通総研に委託する予定であった団塊世代対象の意識調査が23年度中に委託契約に至らなかったことについて、富士通総研の代表者でもある大森氏から、当協議会で委託業務の詳細が決まらなかったためであるとの説明がなされ、24年度予算でこれを実施する場合には意識調査の枠組みをどうするかで金額も変わってくるので枠組みを早く決める必要があるとの発言があった。

3. 平成24年度事業活動計画について

桑原会長から、当該計画書の都へ提出する期限が4月27日（あるいは連休明け）となっているので、各部会から提出されている事業計画案（A3

判別紙)を早急に最終案にまとめあげて欲しいとの依頼がなされた。審議の結果、4月23日午前中までに各部会で事業計画および予算額を策定しメールで事務局に知らせることが決定された。

なお、事業予算は、当初策定された予算を一応の目安にして、相見積もりおよび仕様書にもとづいて策定することを確認した。また、「つながり隊」の事業内容については、「まちさぼ」で試案を出して貰うことになった。

4. 議事録の作成について

当協議会の議事録の作成（これまではワーキンググループの善意に依存）について、今後どうする検討して欲しいと要請がなされた。

審議の結果、事務局の職員の2人態勢が整うまで、作成者、署名委員を幹事が輪番で行うこととなり、今回の作成者を菊池とした。

II. 報告事項

1. 事務局設置の件：

事務局から、協議会事務局の開設場所、開設曜日・時間、および購入済み備品等の説明が行われた。

- ・ 開設場所：庁舎7階（旧食堂、約30平米）
- ・ 開設曜日、時間：月～水、9:00～17:00
- ・ 備品：PC、プリンター、電話、各種文具、

2. 事務局職員（西田さん）の勤務体系の件：

会長より、水曜日～金曜日までの9時～16時とすること、および、常時2名体制をとれるよう、もう1名を早急に採用予定である旨、報告がなされた。

3. 市民の参加状況について：

事務局より、応募者が15名である旨報告された（4月17日現在）。

III. その他（意見等）

- (1) 事業を具体化する際、関係団体（ライオンズクラブ、JA、など）へ協力要請をするべきであるとの意見が出された。

(以上)

署名委員：_____

「東久留米つながり・活力まちづくり事業」協議会 第11回会議 会議録(案)

- ・ 日時：平成24年4月23日(月) 18:30～21:30
- ・ 場所：東久留米市役所庁議室
- ・ 出席者(あいいうえお順、敬称略)：石川、大森、菊池、桑原、笹山、齋藤、渡邊、田中、市(橋爪、小林、木暮、吉川、井上、廣瀬、太田、瀬口)
- ・ 傍聴者：まちさぽ久保田
- ・ 配布資料：(1)次第
 - (2)新しい公共支援事業・H24事業計画検討(案)
 - (3)市民つながり隊コンセプト
 - (4)まちさぽとしての提案及び㈱計画技術研究所見積書
 - (5)団塊世代の地域活動意識調査及びCAT見積書
 - (6)物品利用の承認書(携帯電話)
 - (7)物品利用の承認書(モバイルwifiルータ)
 - (8)㈱プラスワン・ルネ国際研究所提案書及び見積書

【協議事項】

1. 平成24年度の4部会の事業・活動について

(1) 東京都の事業計画届出状況(締切)について

- ・ 東京都より：H23年度の処理が遅れているので、H24年度の提出期限については指示はないが、すぐにでも出してもらいたいと言われている。協議会としても、事業計画を早くスタートさせることから、至急予算を確定し、都に提出する必要がある。

(2) 事業計画・見積・スケジュールに基づいた具体的な事業内容について

<説明・報告>

○地域ブランド商品開発部会：齋藤副会長報告

- ・ 齋藤副会長が活動計画及び事業者費用について説明・報告がなされた。
- ・ ㈱プラスワン・ルネ国際研究所より、「地域ブランドづくりの総合プロデュース」に関する提案及び見積もりの説明があった。

○団塊世代の地域活動部会

- ・ 団塊くるねっとの石川氏より意識調査の計画(案)及び事業者費用について説明・報告がなされた。

○ヨコのつながりを担保する仕組みづくり部会

- ・くるくるの笹山氏より、ヨコつながりを目的とした「地域 SNS 等の構築」について説明・報告がなされた。
- ・援農システムの費用は、内容の調整が必要であり、現在積算できていない。至急調整し、予算計上が必要である。
- ・桑原会長より、協議会が発展的に法人化した場合、現在のくるくるはどうなるのかとの質問があり、笹山氏より「新たな組織の一局といった活動になるだろうと想定している」との回答があった。

○仕組みを支える組織部会

- ・まちさば田中氏より、活動計画及び事業者費用について説明・報告がなされた。
- ・憐プラスワン・ルネ国際研究所より提案のあった「新しい公共に係る組織形成のための市民セミナー事業総合プロデュース」(市民セミナー)について、実施するのか、どのように位置付けるかの議論があり、一応見積もり費用 40 万円を計上することとなった。
- ・「企業・市民つながり隊運営コーディネート (48 万円)」について、どのような内容なのかがよくわからないとの意見がでたため、まちさばで改めて検討してくることとなった。

＜予算協議＞

- 各部会からの提案では、予算が約 76 万円のオーバーとなる。どのようにして調整するかを協議した。
- ・各部会で一律減額するのがよいとの意見がだされた。
- ・各部会で提示された予算で重複しているものがあり、その精査が必要との意見がだされた。
- ・まちさばの 98 万円の費用についてまちさばに戻して再検討することになり、市民セミナー 40 万円の費用も含めて再検討する。
- ・前出の「援農システム」の内容を調整し、予算にあげる。

※上記の 4 つの課題を精査してから、次回の協議会で予算を確定することとした。

2. 協議会・事務局の承認・了承事項の確認等

○第 10 回協議会会議録について

- ・内容について確認したが、何か間違い等の指摘事項があれば事務局に連絡することとした。

○事務局電話・通信契約について

- ・全員の承認を得た(記名・捺印を行った)。

3. その他

○次回会議の日程調整

- ・次回会議は、4月27日（金）18時30分～となった。

（以上）

署名委員： _____

「東久留米つながり・活力まちづくり事業」協議会 第12回会議 会議録（案）

- ・ 日時：平成24年4月27日（金） 18:30～21:00
- ・ 場所：東久留米市役所庁議室
- ・ 出席者（あいうえお順、敬称略）：石川、大森、桑原、笹山、齋藤、渡邊、市（橋爪、森山、吉川、井上、廣瀬、太田）
- ・ 欠席者（敬称略） 菊池（委任状あり）
- ・ 傍聴者（敬称略）：久保田（まちさぼ）
- ・ 配布資料：(1)次第
 - (2)新しい公共支援事業 H24 事業計画検討（案）
 - (3)仕組みをささえる組織作り部会の見積書（見直し）
 - (5)団塊世代の地域活動部会の見積書（見直し）
 - (6)ヨコのつながりづくり部会の見積書（見直し）
 - (7)亜細亜大学が参加可能な部会別事業
 - (8)第11回会議録

【協議事項】

1. 予算ほか

- (1) 幹事の変更
 - ・ 市代表の幹事：吉川氏から橋爪氏への変更が承認された
- (2) 24年度予算額
 - ・ 前回各部会から出された合計要求金額が全体予算額を80万円程度オーバーしたことによる、各部会の見積見直しの説明があった
 - 地域ブランド商品開発部会：渡邊氏
 - 団塊世代の地域活動部会：石川氏
 - ヨコのつながりを担保する仕組みづくり部会：笹山氏
 - 仕組みを支える組織部会：桑原氏
 - ・ 「援農テストの実施を通じて、全市的なモデルの構築」は、主に予算上の制約から、今年度での実施は見送ることとした
 - ・ この結果、依然として若干の（20万円弱）オーバー状態であり、引き続き、一部見積金額の内容確認・再検討/報告書等の印刷を事務局で作成するなどでの対応することで再度見直しを行う
 - ・ この結果は、MLで各幹事に示し、了解を得ることとした
 - ・ 各部会の最終見積書及び相見積書は、5月2日中に提出する（PDFファイル可）
 - ・ 東京都には、以後速やかに提出される

2. 今後に向けて

- ・ 新システム案のスコープにある「商店サイト」の議論では「公共性」の観点からのについての考慮も必要であ

る

- ・事務局の早期本格的立ち上げは極めて重要であり、つぎのような提案があった

- 1) 仕組み部会のまちさぼの活動の一部として、事務局でのまちさぼのメンバーによる「つながり隊」対応をする（各部会への紹介など）
- 2) 補完として、当番制での幹事の事務局アテンド
- 3) 上記のコーディネーションはまちさぼが行う

この場合、事務局での情報入手は、協議会全体に確実に伝えるなど「情報の共有化」が大切である

- ・団塊くるねっとのアンケートは、契約コンサル社に一括委託するのではなく、できるだけ関係市民団体の協力も得て行う（協働を心がける）

・地域ブランド部会は、2013/2/17に東久留米で近隣5市と共同で第一回「地域産業推進イベント」を行うが、一部ブランドを紹介できるよう開発の目標としたい

- ・期中において、25年度以降の具体的組織のプラン担当する「5つ目の部会」が必要となる

ここでは、自立できる経済的基盤作りの議論が大切なテーマの一つとなるが、協議体メンバー以外の外部専門家などの参加も必要である

- ・つながり隊など個人情報の取り扱い：事務局管理とするので、幹事等が必要な時は事務局で確認する
- ・市民が協働しての、新しい東久留米構想の中では、行政の役割・努力も明確にする必要がある
- ・以上の事は、今後の各部会・協議会での詳細な議論の対象となるが、各部会の議論が協議会全体の共通理解とすることが重要である。

3. 今後のスケジュール

- ・3/24セミナーで応募した市民対象に5月末には全体セミナーの実施を考えるが、

この時に、前回セミナーでの菊池先生の講演内容の披露も考慮する

- ・「くるくる」上で「つながり隊募集」を継続的に発信するが、第一信はMLで発信案確認後、事務局が「くるくる」記事登録を行う
- ・5月末をめどに今後のスケジュールをまとめ上げる、そのために各部会は、5月14日までにそれぞれの部会のスケジュール（行程表）を作成する
- ・以後どこかの時点で「23年度事業実績」の総括の機会が必要である

4. その他

○次回会議の日程調整

- ・次回会議は、5月14日（月）18時30分～とする

（以上）

署名委員： _____

「東久留米つながり・活力まちづくり事業」協議会 第13回会議 会議録(案)

- ・日時：平成24年5月14日(月) 18:30~20:15
- ・場所：東久留米市役所庁議室
- ・出席者：(あいうえお順、敬称略)：石川、菊池、桑原、笹山、齋藤、田中、渡邊、
市(橋爪、中島、森田、小林、木暮、道辻、吉川、井上、太田、瀬口)
- ・傍聴者：久保田(まちさぼ)、山本(まちさぼ)、三宅(まちさぼ)、半谷(つながり隊)
- ・配布資料：(1)次第
(2)東京都への書類一式
(3)新しい公共支援事業 H24 事業計画・予算配分
(4)地域ブランド商品開発部会より「ブランド商品開発スケジュール(案)」
(5)団塊世代の地域活動部会より「地域活動意識調査実施スケジュール(案)」
(6)仕組みを支える組織づくり部会より「東久留米つながり・活力まちづくり事業」活動推進企画(骨子案)
(7)市民つながり隊募集チラシおよび入会用紙
(8)事務局の運営状況

・前回議事録の確認

【協議事項】

1. 協議会・事務局にかかる報告について

○東京都への平成24年度事業計画提出(5月8日)について

→ 井上氏より説明、各自確認

○事務局の運営状況について(事務対応、アドレス・スペース・チラシ(フライヤー)活用による対外的な告知等)

→ 各自内容確認のうえ、後ほど協議

2. 協議会および4部会の今年度事業・活動について

○年間のスケジュールについて、事業計画をもとに整理し、「見える」化する

団塊世代の地域活動意向調査

石川氏よりスケジュール説明・報告

・アンケート調査内容、調査対象については協議会で決定する

・次回協議会までに各自がアンケート内容について考えてくる

地域ブランド商品開発事業

齋藤氏よりスケジュール説明・報告、憐プラスワン・ルネ国際研究所より補足説明

・地域ブランドについては「もの」にこだわらず、サービスを含め、レストラン、カ

フェのメニュー等、大きな意味でのブランドとしてとらえていくようにする

ヨコのつながりを担保する仕組みづくり

笹山氏よりスケジュールおよび「くるくる」と「協議会」の役割について報告・説明

- ・6月中にHP立ち上げ予定、本体システムについては12月までに工事完了予定
- ・今年度（H25.3まで）中に「くるくる」と併用する
- ・地域ブランドについてもHPを主に取り組んでいく
- ・協議会の議事録をオープンにする等事務局の体制、対応についても検討していく

仕組みを支える組織構築

田中氏よりスケジュールおよび「東久留米つながり・活力まちづくり事業」活動推進企画（骨子案）について報告・説明

- ・時間的な関係もあり、スケジュール（案）どおり第1回WSと市民つながり隊の旗揚げ式（キックオフ）を一緒に行う
- ・WSでの「地域ブランド」について「地域ブランド商品開発部会」との明確な違いは？

→ 「地域ブランド商品開発部会」では本年度中に、具体的に商品開発を行い販売まで手掛ける実戦部隊である。一方「仕組みを支える組織づくり部会」でのWSでは、「地域ブランド」とは何か？から勉強する教育の場である。本年度中に企画段階までを目標とし、次年度以降の商品開発を目指す

○「つながり隊」の通常募集について

- ・今後も随時募集をかけていく、
- ・「つながり隊」募集チラシについては旗揚げ式の日程を入れる。
- ・「くるくる」掲載の「つながり隊」募集については旗揚げ式の日程を入れない

○旗揚げ式について

→ 平成24年6月3日（日）13：30～ 成美会館 ※予定

○部会・事務局・協議会の活動範囲の整理について

- ・協議会自体の宣伝チラシおよび協議会イメージ画像等の必要性について

→ 必要である、次回協議会までに各自が検討

- ・事務局判断発信の範囲について

→ 事務局にお任せではなく、協議会で対応を検討すべき

仕組みを支える組織づくり部会から提案をする

コンサル契約について各専門部会を統一した書式で対応した方が良いので事務局にて統一書類を作成してもらう

・事務局の補充について

- 平日 9時から16時の間で週1.5日～2日間できる方 早急に探したい
各々心がけて頂くようにする

3. その他

・第12回協議会会議録の承認について

- 承認

4. 次回の協議会（第14回）について

- 次回協議会日時：平成24年5月22日（火）18：30～20：30予定
場所：東久留米市役所庁議室

（以上）

署名委員： _____

第14回 東久留米つながり・活力まちづくり協議会 議事録

- ・日時 : 平成24年5月22日(火) 18:30~20:30
- ・場所 : 東久留米市役所 庁議室
- ・出席者:(あいいうえお順、敬称略):大森、菊池、桑原、斎藤、笹山(途中他会議のため退席)田中、渡邊 市- 橋爪、森田、小林、木暮、吉川、井上、太田、廣瀬、瀬口)
- ・傍聴者:篠原(東久留米市地域産業推進協議会 以下地産協という)、野村(地産協)、篠宮(地産協)、山本(まちさぼ)、久保田(まちさぼ)
- ・配布資料:(1) 第13回 会議録
(2) 第14回 協議会 議事次第

【協議事項】

1. 協議会および4部会の今年度事業・活動について

◎年間スケジュールに基づく、各部会の進捗状況の報告・確認

→地域ブランド商品開発事業

- ・前回の会議より進行はなし。

→ヨコのつながりを担保する仕組みづくり

- ・明日(5月23日)にシステム関係でHPの立ち上げ打ち合わせ
- ・本体のシステムで年間スケジュール
- ・ユーザーサイドのスペック確認
- ・上記打ち合わせは、間違いがないように委託事業者も参加

→団塊世代の地域活動意向調査

- ・事業者CATと契約締結のため29日に再度事業者側と打ち合わせ

→仕組みを支える組織構築

- ・コンサルタント事業者KGKとWS開催について、具体的に7月22日までのスケジュールおよび内容の打ち合わせを継続して行っている。

◎各専門部会のスケジュールおよび内容について他の専門部会とのからみなどの質問等 →特に質問等がなく後に持ち越し

2. 市民つながり隊「旗揚げ式」・わくわく講座について

◎日時・場所確認：平成24年6月3日(日)13:30～開催 成美会館(決定)

◎承認依頼事項：

①「市民つながり隊」募集のチラシ確認：配布資料参照

- ・既に3月24日セミナー時につながり隊にご登録頂いた15名へ
通知：5月18日(金)に通知済み
- ・市民活動団体系については、PDFにしたものを既に送付済み
→各団体からのフォローを頂き、チラシ配布
- ・つながり隊に登録はしなかったが、お名前を書いていた方へ
通知：6月22日(月)に通知済み

②「旗揚げ式・わくわく講座」開催のチラシについて：配布資料参照

- ・協議体の趣旨とつながり隊の趣旨等を明示した内容文章が必要
- ・内容はメーリングリストで合議検討

③チラシを裏表活用について

- ・「市民つながり隊」募集チラシと「旗揚げ式・わくわく講座」開催チラシを裏表に印刷し配布する。
- ・デザイン・表現等は明日(5/24 9:30～)事務局で最終打ち合わせ
- ・各団体のリストを作成し、配布役割分担をお願いする

④質問等

- ・「わくわく講座」のチラシ内に「6つの質問」とあるが、見た人は意味が不明になるのではないかと
→なぞ掛けのようにワザと提示したが、皆からの意見を頂きたい
→逆に6つの内容を明示したほうが興味をもつ
- ・WSの趣旨表示と協議会の位置関係を明示する必要は？
→含めて明日事務局で相談
- ・菊池先生のセミナー時の資料も配布資料として欲しい

◎6月3日(日)の役割分担について

- ・会場準備：12:30以降から(他団体に使用のため終了後に設営)
 - ・会場開場：13:00～
■受付：協力＝亜細亜大学学生、補佐＝大森・渡邊
 - ・WS：■司会：田中
 - ・オープニングタイム：13:30～
-

■ 協議体の説明＝桑原

→事業趣旨等配布資料用意

- ・各グループの中に幹事が入るかどうかを事業者 KGK と検討

○開催までの準備について

- ・参加者動員：各団体から参加要請
- ・亜細亜大学協力学生数：およそ 5～6 名
- ・事業者 KGK との検討事項

① WG は幾つ作るのか（島テーブル）

② 1G は何名か

③ アンケートをとるのかどうか

- ・会場(成美会館)との検討事項

① 壁を使用できるのか

- ・受付の参加者名簿
- ・つながり隊登録用紙

○当日の記録について

- ・WS の後半で各 WG から発表があるので、テーブルごとの記録ではなく、全体記録をする
- ・写真：三宅（くるくる・まちさぼ）
- ・市民リポーター：笹山（くるくる）兼務

○看板について

- ・市に土台になる板があるので活用をする

○運営について

- ・事業者 KGK よりファシリテーター 2 名

○飲み物等について

- ・小山茶園に依頼

○事前参加申し込みについて

- ・事前参加者人数を把握し、不足の場合、個々に参加依頼
- ・チラシは事前申し込みを入れるが、当日参加も OK
- ・他市の方も OK

○その他気がついたことは、メーリングリストで合議検討

3. その他

◎会場・広報に関する協議会と市の関わりについて

○会場について：市職員も幹事であり、他会場に移動を考えると、これまで通りに市庁舎内での会議等が好ましい

○ 広報について：これまで通りでよいと考えるが、次回会議に方向性を市として示す

◎事業者との契約について

- ・ 随時契約締結に向けて動いている
- ・ 契約書と仕様書及びそれに似合う額面を判断することが重要
- ・ 成果物を評価する仕組みが必要
- ・ 事業視点を持つ必要がある

◎第 13 回協議会会議録の承認について

- ・ 全員異議なしで承認

4. 次回の第 15 回協議会開催日程について

- ・ 日時：平成 24 年 5 月 31 日(木)18:30～
- ・ 会場：市・庁議室（市の予定により変更あり）

以上

文責：渡邊

署名委員： _____

「東久留米つながり・活力まちづくり事業」協議会 第15回会議 会議録(案)

- ・日時:平成24年5月31日(木) 18:30~21:00
- ・場所:東久留米市庁舎庁議室
- ・出席者(あいさつお順、敬称略):石川、大森、桑原、笹山、齋藤、田中、市(井上、太田、木暮、小林、瀬口、中島、橋爪、廣瀬、道辻、森山、吉川)
- ・欠席者(敬称略):菊池、渡邊
- ・傍聴者(敬称略):久保田(まちさぼ)、山本(まちさぼ)、三宅(くるくる)
- ・業務委託先(敬称略):岡村(KGK)
- ・配布資料:(1)次第
 - (2)市民つながり隊 わくわく講座について
 - (3)4部会の今年度事業・活動について
 - ・地域ブランド商品開発事業
 - ・ヨコのつながりを担保する仕組みづくり
 - ・団塊世代の地域活動意識調査
 - (4)第14回協議会会議録(案)

【協議事項】

1. 旗揚げ式・市民つながり隊 わくわく講座についての直前調整

(1) 今までの準備状況の報告

参加状況 22名 + 学生15名 + 市及び協議会 16名 計 53名の見込み

- ・チラシの配布状況
- ・当日の割り振り再確認

会場設営 全員

受付 渡邊、大森、学生2名

司会 田中

撮影 WG

※ 亜細亜大学より取材あり

(2) 当日の進行

- ・参加者数 マックス60名 (オーバーの場合は、市、協議会メンバーで調整する)
- ・1テーブル5名 全体で12テーブル設営
- ・KGKからは、2名来て指導に当たる
- ・つながり隊へ入るか否かの確認 最後の主催者挨拶(斉藤副会長)で、話す

(3) 配布資料

- ・「市民つながり隊 わくわく講座」について
- ・東久留米つながり・活力まちづくり協議会について
- ・「市民つながり隊 わくわく講座」スケジュール
- ・3/24セミナーにおける菊池講師の講演要旨
- ・地域ブランド商品開発部会 第1回専門部会 案内チラシ

- ・ 振り返りアンケート

(4) 第2回以降の開催場所 ⇒ 第2・3回 ～ 市庁舎701会議室 第4回 ～ 市庁舎703会議室

2. 協議会及び4部会の今年度事業・活動について

(1) 地域ブランド商品開発部会

- ・ 6/18(月) 第1回専門部会会議開催

(2) 団塊世代の地域活動部会

- ・ 地域活動意識調査実施要綱の説明

⇒ 調査票の名称は、団塊世代の～と限定せず、市民の～とする

⇒ 謝礼金の支払は、個人宛とする

⇒ 質問内容について、追加、修正等ある場合は、6/10迄に石川宛メール

⇒ アンケート調査票サンプルを、実際の形態にして協議会会議に提示すること

- ・ 実施スケジュールについて

⇒ 調査員への説明及び研修 6/29(金) 午前10:30～11:30 午後13:30～14:30

場所 市庁舎601会議室

- ・ 仕様書(案)について

(3) ヨコのつながりづくり部会

- ・ 東久留米つながり・活力まちづくり協議会のHP作成について

⇒ コンテンツ構成・名称提出 6/5

⇒ 各部会ごとの記事等の提出 6/15 事務局宛

⇒ ドメイン ① kurumachi.com ② hk_tsunagari.com の2案を候補とするが今後更に検討する

⇒ 愛称ロゴ くるくる事務局に作成を委託 (有料)

3. その他

- ・ 全体スケジュールを整理し、共通理解を図る ～ WGで一表化
- ・ 協議会・部会の情報発信について～ 笹山委員より提案する
- ・ 協議体参加団体メンバーとつながり隊の関係について ～ 次回会議でクリアにしておく
- ・ 第14回協議会会議録の承認について ～ 全員異議なしで承認

4. 次回の協議会(第16回)について

- ・ 日時 平成24年6月7日(木) 18:30 ～

- ・ 会場 市庁舎庁議室

以上

署名委員: _____

- ・ 日時：平成24年6月7日(木) 18:30~20:40
- ・ 場所：東久留米市役所庁議室
- ・ 出席者(あいうえお順、敬称略)：石川、大森、桑原、笹山、齋藤、渡邊、市(橋爪、森山、吉川、小林、道辻、井上、廣瀬、太田、瀬口)
- ・ 欠席者(敬称略) 菊池
- ・ 傍聴者(敬称略)：山本・久保田(まちさぼ) 三宅(くるくる) 平川・井上(ヴァイスヴァーサ)
- ・ 配布資料：(1)次第
- ・ (2)全体年間スケジュール検討(案)
- ・ (3)第一回市民つながり隊「わくわく講座」記録メモ
- ・ (5)第一回市民つながり隊「わくわく講座」進行(案)
- ・ (6)つながり隊ニュース
- ・ (7)地域ブランド商品開発事業第一回専門部会(案)
- ・ (8)第二部会「市民の手による市民意向調査」アンケートなどの案
- ・ (9)第15回会議録

【協議事項】

1. HP

○前回でた質問につき、ヴァイスヴァーサ(KVV)平川さんから説明・返答あり、HPトップページへの新着情報記載などはすべて可能

○コンテンツ構成・名称は前回提案通り決定

○ドメイン名は、higashikurume_tsunagari.comで決定

○コンテンツの文章・写真はコンテンツ別に担当する部会が、6月15日AM中に事務局に提出、事務局は同日中にKVVに提出することが確認された

2. 各部会の年間スケジュール・全体スケジュール化

○各部会より説明あり

- ・ 各部会にわたり内容がオーバーラップする場合は、特につながり隊への説明を十分におこなう(特に第一部会・第四部会)
- ・ 第二部会はアンケート調査を行うに当たり6/29に調査員への説明会を行う(市庁舎ない)
アンケート内容などについての質問は6月10日中に事務局に提出する
- ・ アンケート票にはHPアドレスを記入し、協議会の活動内容などの理解をしてもらう
- ・ HPからも、アンケート提出を期待する→KVVよりHPにアンケート票を加えることは、予算内で可能との確認があり、要請した
- ・ アンケートの提出期限を明記が必要とされた
- ・ 第三部会のスケジュールに、報告書でのまとめを追加する
- ・ 第三部会は、システムの設計・開発のみならず、つながり隊など人とのかかわりが作業期間を通じて重要である。スケジュールのなかでこの「努力」も含める

第四部会

- ・つながり隊の「基本的役割」などを概念的に統一化し、協議会内で共有化し、つながり隊にも機会あるごとに示す
- ・つながり隊の事務局への訪問・直接的間接的な関与を期待している、第四部会はこのコーディネーションをしたい
- ・今後のある時期以降、来年度の組織の構想を検討を本格的にする必要がある、この場合「経済的自立」の観点も重要である

3. その他

- 6月17日の第二回講座用に各部会の活動等を示す「資料」（1枚程度）を6/15AM中に事務局に提出の事
- 都よりの入金は、6/9にある予定、来週以降各部会の契約書、請求書をMLで提出すること
- 今後のつながり隊への連絡用にWGは、全体/部会ごとのMLを作成し、部会代表にしめす。以後部会ごとの発信は、部会より行う、つながり隊へタイムリーに発信し「待たせ過ぎ」ないように注意する
- フェイスブック・ツイッターへの発信は、事務局・WGより随時行うが、目に触れた人は、極力「何らかの関心」を返信してほしい
- 今後各部会・個人でつながり隊を発掘した場合は、情報管理一元化のため事務局に通知してほしい
- 協議会閉会后、KVVによりプロジェクターで、HPのサンプルの説明があった
- 次回会議で、外部への情報発信ルール再提案をしたい旨、笹山よりあり

（記事：笹山）

4. 次回会議

- ・6月15日（金）18時30分～20時30分

（以上）

署名委員：_____

「東久留米つながり・活力まちづくり事業」協議会 第17回会議録(案)

- ・ 日時：平成24年6月15日(金) 18:30~20:30
- ・ 場所：東久留米市役所 702 会議室
- ・ 出席者(あいうえお順、敬称略)：石川、大森、菊池、桑原、斉藤、笹山、田中、市(井上、廣瀬、吉川、瀬口)
- ・ 欠席者(敬称略) 渡邊、橋爪、中島、小林、道辻、木暮、太田 ※委任状提出により、協議会要件は成立
- ・ 傍聴者(敬称略)：山本・久保田(まちさぼ)

【協議事項】

1. 協議会および4部会の事業・活動についての報告など

①東京都からの入金~予定通り

②各部会の契約について(承認)

- ・ KGK 用は事後に提出
- ・ 市民セミナーの委託契約については今後調査して作成
- ・ CAT 調査協力費は別枠にて記入

③協議会 HP の作成の続報

- ・ 第1部会以外は15日締切のコンテンツをメールにて受信。
- ・ 第1部会は画像が重くて届かなかったので、本日夜に渡邊氏から笹山氏に送信することになっている。

④情報発信の方法

- ・ つながり隊 ML は様子見、反応みてから。しかし、ML がないと、郵送・手紙作成と手間がかかりすぎる。
- ・ 情報告知のためには、専門部会ごとにつくらないと情報が錯綜し、混乱するので、専門部会ごとに ML をつくる。

⑤今後の協議会のあり方について(開催の間隔、部会の決定事項の範囲について)

- ・ 各部会に決定権の権限移譲し、協議会は情報交換の場とする。(決定は協議会となっています。)
- ・ これまでは立ち上げ時の性格上、細かい事業内容についても個々に検討しているが、今後は日程と議題を精査していくことが肝要。
- ・ 開催日程は、各活動のスケジュール上、問題ないように調整・設定。
- ・ 協議会の役員は5名以内(部会長+会長) その他 WS。部会内の運営は部会内で適宜決定し、役員と連絡調整。

◎プラスワン、富士通、亜細亜大は、各専門部会に、必要に応じ、また各人の意思に応じて適宜参加していく。

- ・ 協議会開催：部会長会議にて、次回協議会日程を決定していく。

(笹山) 隔月で設定しておいて、増減に関しては部会長会議で決定することを提案。

⑥つながり隊と協議会の関係

(協議会召集は会長となっています。)

- ・ つながり隊に参加する市民は協議体の一員としての所属感を求めている。居場所がどのようにできるか楽しみでもあり不安もある状態。⇒つながり隊は第4部会が全体を統率・コーディネート。専門部会につなげ、受け渡していく。
- ・ つながり隊全体で懇親会・つながり隊通信の発行、などつながり隊同市をつなげる手段はいろいろある。

⑦第2部会、石川氏から（調査に際しての注意事項）

- ・アンケートを渡してから返却の日時を明記のこと。2週間以内の投函。
- ・個人情報への配慮から目的以外には使用しないことを確認。
- ・協議会活動への理解を促す。協議会、つながり隊の説明チラシを同封。
- ・料金受取人払いの封書にて投函してもらう。私書箱設定。

2. わくわく講座について

- ・第2回わくわく講座～前回提案の内容の変更点

わくわく講座の趣旨とつながり隊の解説を導入部分に挿入（田中）

部会長もエントリーシートに企画案を書き、PRする。

- ・ペアとなる学生・スタッフは2回目限りの組み。
- ・備品、準備確認。写真係：太田氏
- ・当日欠席の第3部会長のエントリーシートは予め会長宅にファックスする。
- ・つながり隊加入手続きについて

経過報告：現状34人登録

部会活動促進のため、外部に向けてつながり隊募集チラシを作製・配布。

チラシ表裏に「つながり隊に参加して あなたも地域で活躍の場を見つけてみませんか？」を入れ、市民側のメリットをアピール。

3. その他

新公共のロゴのデザイン くるくるの富田さんデザイン

すべてのチラシ等に使用していく。

（記録：田中）

4. 次回会議

- ・未定

（以上）

署名委員：_____

「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」 第18回会議

◇日時：平成24年7月26日（木）

◇場所：東久留米市役所4階庁議室

◇出席者：8団体（大森、菊池、桑原、斉藤、田中、中島、橋爪、道辻、森山）、市（井上、太田、瀬口、廣瀬）

◇欠席者：8団体（石川、笹山、渡邊）、市（木暮、小林、吉川）

◇傍聴者：まちさぼ（久保田、山本）

※50音順（敬称略）

【協議事項】

■部会活動報告

○第1部会「地域ブランド開発」

- ・6月24日の第1回部会では、3つのグループにわかれ、食、商品、観光それぞれに関して、広くブランドについて話し合いを行った。
- ・今後、第2回部会を開催予定している。第1回に引き続き、今度は「東久留米市の地域ブランドには何があるのか」を3つのグループにわかれて検討を行う。
- ・第3回は8月下旬を予定している。それを経てブランドを決定する。

○第4部会「参加の仕組み・組織づくり」

- ・わくわく講座全4回が終了した。成果は市民プラザまつりで公開した。コミュニケーション場となったとともに、多くの市民に関心を持ってもらうことができた。
- ・今後の予定：「わくわく戦略会議」を8月24日（金）18時30分～701会議室で開催する。

○第2部会と第3部会については事務局より報告

①第2部会

- ・意識調査説明会を6月下旬に実施した。調査票はすでに1,000部中980程度出ている（ただし対象者の手にどの程度渡っているかはわからない）。また、回答は回収されはじめている（130サンプル程度）。
- ・7月22日の市民プラザまつりで100部程度配布した。

②第3部会

- ・7月18日、24日に打合せを行った。24日は第1部会の「地域ブランド」と合同会議。
- ・ネットショッピングは次年度とする。
- ・4つのうち3つは7月中に完成予定。フェイスブック、ツイッター、仮ホームページ。
- ◆質問：市民意識調査（アンケート）をホームページでできるようにすると決定していたが、どうなっているのか。
- ◆回答：決定していたのはそのとおりなので、確認する。

■部会長会議の設置について

- ・部会長会議の設置の提案。ワーキングGより資料をもとに説明。
- ・規約の改正が必要であるとの説明があった。
- ◆質問：資料の「部会長会議のメンバーと進め方」だが、4部会長の他になぜ行政から1名なのか。
- ◆意見：全メンバーの数からすると行政が多く、行政から1名出すことがよいのではないか。
- ◆意見：幹事以外の行政メンバーすべてを数に含めて考えることはどうかと思うし、説得力は弱い。
- ◆意見：幹事の富士通総研やプラス・ワン、亜細亜大学が入るべきではないか。
- ◆意見：そうすると協議会本体とメンバーが変わらないのではないか。
- ◆意見：部会長会議ができて資料にあるような問題点を解決することにはならないのではないか。
- ◆意見：そうは思わない。部会長会議は資料にある問題点の解決になるはずだ。
- ◆意見：協議会と部会長会議の2層構造になる（権限がわからない）。
- ◆意見：協議会は事後承認の機関となるのではないか。
- ◆意見：部会長会議が決定機関になるのではないか。協議会が形骸化するのではないか。
- ◆意見：なぜ行政が入っているかについて、行政が入っていると運営上機能的で、サポートが必要な際も対応できると考えた。
- ◆意見：部会で決められることは部会で決めることでよいと思う。
- ◆意見：協議会で決めた範囲（範囲は明確になっているのか？）の中であれば部会で決めてよいと思う。
- ◆意見：部会長会議で決定できない件（部会長は部会長会議に出し、対応を相談するという仕組みが大切）が多く発生すれば、結局協議会の回数は減らない。
- ◆意見：そもそも部会長会議は部会の調整会議であり、協議会が最終決定することはかわらない。
- ・部会の調整会議として部会長会議の設置は承認された。

■わくわく講座と地域ブランドづくりについて

- ◆質問：第4回わくわく講座で話があったが、戦略会議は具体的には何をするのか
- ◆回答：わくわく講座で出たプランについて、今後の方向性について検討する機会とする。
- ◆質問：第1部会で受け取っている案といない案がある。いない案をどうするか。
- ◆回答：わくわく講座と第1部会の検討がごちゃごちゃになっている。わくわく講座の提案をどうするか。意見を確認する（実現に向けてどうするか、また部会でやるかどうか）
- ◆意見：第1部会としてはブランドの検討としては当初（前半）は食に決めていた。後半に入って3つにわかれて実施したときから、食、商品、観光の3つで検討している。わくわく講座のグループがこちらでも検討しており、関係を整理する必要がある。

■平成 25 年度以降の協議会運営について

- ・組織づくりは第 4 部会の担当だったが、第 4 部会の業務が膨らみ、組織づくりの業務を担当するのは無理である。そこで、組織づくりの検討に関しては新たに部会（第 5 部会）を設置して検討することを提案した。
- ・第 5 部会は素案を作成し、協議会に提案することとする。メンバー構成の案として、菊池、大森、渡邊及び市から 1 名としたい。その他ワーキング G から 2 名程度参加する。桑原会長も加わる。
- ・今後の協議会のあり方（組織づくり、資金について等）について、第 5 部会を設置し、検討・素案づくりを行う提案に関して承認された。

■事務局について

- ・事務局の対応ができていない。そこで、各部会から人手を出していただいた場合は、事務局員と同じ費用（時給）を支払うこととし、協力をお願いする。

■つながり隊に入ってくれた方々への対応

- ・つながり隊にどのように声をかけていくか。わくわく講座に集まっていた方で 10 人程度入りたい人がきている。
- ・特に、どの部会にも入っていない方の対応が大事。つながり隊全体をどうするかを含め、第 4 部会で検討する。

■メーリングリストについて

- ・協議会メンバーにはすべての部会の内容をメールする（メーリングリストに登録する）。

■第 17 回協議会議事録の承認について

- ・「⑤今後の協議会のあり方について」は、あくまで確認であって、決定ではない。

■その他

- ・アンケートのホームページ掲載については笹山幹事に確認する。
- ・わくわく講座の録画をどうするか。編集して 8 月 24 日に見せるか。編集は誰ができるか。各部会で活用するかどうか。今日は判断できないので、今後協議する。第 4 部会で検討する。

■次回協議会の日程

- ・次回の日程は様子を見て開催する。

（記録：大森）

署名： _____
： _____

第19回「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」議事録（案）

◇日時：平成24年9月11日（火） 19:00～21:05

◇場所：東久留米市役所4階庁議室

◇出席者：8団体（大森、菊池、桑原、斉藤、田中、中島、橋爪、道辻、森山）、市（井上、太田、瀬口）

◇欠席者：8団体（渡邊）、市（?）

◇傍聴者：（?）

※50音順（敬称略）

I. 報告事項

1. 各部会活動報告

桑原会長より、平成24年度事業計画が半年を経過したことに伴い、これまでの事業の進捗状況等について各部会に対し中間報告が求められ、各部会から以下のような報告が行われた。

○ 第1部会（地域ブランド開発部会）：斎藤氏より、3チーム（商品、食、観光）に分かれて活動していること、今年度は食チームのラーメン開発を最優先課題として取り組んでいることが報告された。また、今年度後半にイベント、市民まつり、マルシェなどへの参加ないし開催を予定していることについて報告が行われた。

○ 第2部会（地域活動意識調査部会）：石川氏より、実施中のアンケート（9月末締切り）について、別添資料により回収の状況および既回収分の回答内容、および今後の作業予定について概要報告が行われた（回答内容の整理分析は10月実施予定）。

○ 第3部会（情報システムづくり部会）：笹山氏より、新システムの開発は“vice-versa”社を通じて12月までに完成し、新システムによる「くるくるネット」の開設は平成25年3月1日に仮オープン（正式オープンは4月1日）の予定であること、登録団体（約）370団体の新システムへの移行は平成25年2月～4月の説明を経て行う予定であるとの報告がなされた。

○ 第4部会（参加の仕組み・組織づくり部会）：田中さんより、これまでの活動として「わくわく講座」（全4回、6月）、展示発表および市民との交流（於：市民プラザ夏祭り）（7月）、「わくわく戦略会議」（8月）、つながり隊サロン開催（毎週水曜、13:00～16:00、協議会事務局）、つながり隊希望者の登録・募集チラシ・HPコンテンツ作成等を実施してきたとの報告が行われた。また、10月に開催予定の「つながり隊ネットワーク会議」について案内がなされた。

II. 今後の課題について（審議事項）

桑原会長より、中間報告を終えた今の時点で、今後の各部会の課題、来期の協議会について、仕組みのあり方や組織への提案・意見などがあれば審議いたしたいとの提案がなされ、以下のことが話し合われた。

1. 第5部会（組織づくり部会）の発足の報告：菊池氏より、第18回協議会で新設が決まった第5部会の初会合が8月29日に開催されたこと、平成25年度以降の協議会のあり方について、「新しい公共の理念をうまく取り込むことができ、かつ協議会の後継にふさわしい新組織案」としてNPOを念頭に置いて今後数回の部会会議を通して素案を創り、協議会に諮る予定であるとの報告がなされ大筋で了承された。ただし、NPOに限らず社団法人など他の組織の可能性もあるのではないかとの意見が出されたことを踏まえ、より広い選択肢の中からふさわしいものに絞り込んで行くこととした。

2. 市民つながり隊の役割と協議会との関係について：第4部会代表の田中さんより、つながり隊の役割に関して、部会活動とつながり隊の動きとの間に微妙なズレが見られる、協議会の主旨がつながり隊のメンバーに十分伝わっていない恐れあり、協議会の将来とつながり隊をどのように結びつけるのか今の時点では曖昧、つながり隊メンバーの旺盛な貢献意欲を無にしないためにも来年度以降の組織づくりが大切との現状認識・課題が述べられ、つながり隊の活動範囲を、当面は別添資料「市民つながり隊の組織化・整備について」に整理・記載されている通りといたしたいとの提案がなされた。話し合いの結果、協議会として基本的にこれを了承した。

3. 財務状況の公表について（執行状況の確認と外部公表）：桑原会長から、協議会の財務状況の公表を望む一部市民の声にどのように応えるべきかとの具申があり、審議の結果、開示報告の義務のないことを確認する一方、予算の執行状況（中間報告）を次回協議会で内部開示することで合意した。

4. 事務局職員の新規雇用について：桑原会長より、懸案であった事務局職員の増員について、石川睦美さんを採用し週4日2人体制としたいとの提案があり、了承された。

5. 広報について：桑原会長より、HPを通じた市民への告知をどうするか、facebook、twitterの利用をどうするか、一定の指針を決めておきたいとの提案があり、審議の結果、HPについては情報部会が管轄し、各部会は掲載事項を情報部会へ伝達することとした。facebook、twitterについては、各部会が必要に応じて利用することは自由であるが、内容に関して協議会は関与しないものとする事で一致した。また、セキュリティの保持について今後検討して行くこととした。

5. 共有カレンダーの設置・利用について：田中さんより、各部会の直近の予定・情報

を共有するために共有カレンダーを創りたいとの提案があり、了承された。

6. 各種イベントへの参加について：今後予定されている各種イベントについて情報を共有しできるかぎり参加協力することを申し合わせた。（消費生活展、開運七福神めぐり、たまろくにご当地グルメフェスティバル・イン・くるめ、など）

III. その他：

- ・ 第18回協議会議事録（案）の承認について：修正すべき箇所があればメールで事務局あて通知することとした。

IV. 次回協議会（第20回）の日時：

- ・ 日時：平成24年10月15日（月）18:00～
- ・ 場所：未定（確定後周知）
- * なお、会議終了後、懇親会を予定（場所は別途周知）

（記録：菊池 威）

署名： _____

第20回「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」議事録（案）

日 時 平成24年10月15日（月） 18:00～19:30

場 所 東久留米市市役所4階 庁議室

出席者 菊池、大森、斎藤、石川、笹山、田中、橋爪、森山、中島、道辻、小林

WG：吉川、井上、廣瀬、太田、瀬口

（説明者）CAT大原

欠席者 桑原

傍聴者 久保田様、山本、小林

（*順不同・敬称略）

資 料 議事次第

各部会進行状況報告資料

東京都新しい公共支援事業自己評価資料

【報告及び協議事項】

- ・本日は桑原会長が緊急の用件にて欠席のため、副会長が議長代行をし、議事進行を行う。
- ・第二部会の事業活動報告に関し、ご協力企業CATの大原様をご説明のためご参加。

I 協議会、4部会及び事務局の事業・活動についての報告等

1 第一部会「地域ブランド開発部会」（斎藤部会長より報告）

（1）食チーム

①現時点スケジュール確認

②ブランド部会で商品のネーミングを募集し5つの応募があった。

③つながり隊全員で5つのネーミング案から1つに決定するための投票依頼。

④投票のお願いをするために19日に開催される「市民つながり隊ネットワーク会議」でお時間を頂戴し説明予定。投票を頂いた結果をもって決定します。

⑤商品storyを作成する動きをしている

【スケジュール】

・10月19日～25日まで投票募集

・10月30日：第一部会食チームで集計し、公表

・商品ストーリー作成中

（2）観光チーム

12月1日、2日に開催される「くらしフェスタくるめ」に参加予定。

水巡りイベントを実施をする予定で企画計画中。

（3）商品チーム

「くらしフェスタくるめ」でマルシェ等を企画検討中。

2 第二部会「市民への地域活動意識調査部会」（石川部会長、CAT大原様）

（石川部会長）

①9月一杯の期間でアンケート調査を実施

②1,000通配布し、322通回収。

③手渡し配布で郵送回収が功を奏した。

④打合会議を2回開催し、本日は調査を受託したCAT大原からご説明

（CAT大原様より）

①当初200通回収できれば目標達成と考えていた。

②1.5倍以上の好手応えがあった。

③年齢性別等がブレイクダウンできる形で分析ができた。

- ④調査員も結果を知りたいと思うので、ネット及び紙資料として公表を考えている。
- ⑤厚い枚数の資料は自由回答も含めて資料化し、薄い枚数の資料はその概要等。
- ⑥住所への未回答もあるため、地域的分析はできていない。
- ⑦ネット以外の紙公表資料は、概要版を各機関におかせて頂く形で考えている。

(石川部会長)

- ①スケジュール：10月21日までに、ご意見等がありましたら、部会長にメール等でお知らせ下さい。ただし、ダイナミックな修正は不可能ですので、部分的修正意見を。
- ②今月末もしくは来月始めにCATさんと再集計し、来月中旬までに完成をさせたい。
- ③アンケートを頂き、住所氏名がわかっている方には、概要版を送りフィードバックをしたい。
- ④その他の方々や市民への公表は、ネット公表と市民プラザや地区センター等に概要版をおかせて頂き、事務局にはフルセットを置くようにします。

【スケジュール】 10月21日までに協議会からの意見収集
 10月末～11月初にCATと再打合せで再集計
 11月中旬までに調査分析報告書を完成

3 第三部会「情報システムづくり部会」（笹山部会長）

- (1) 本日ご提示した資料は、10月19日の「つながり隊」の会合のために作成した資料ですので、我々のポジショニングが説明できると思います。
- (2) 現在10月中旬になりましたが、来年の春オープンの予定で急ぎ開発中です。
- (3) 開発中の製品は12月には作るべし！としています。
- (4) 我々がやらなければならない事は
 - ①今あるシステムと新しいシステムにすべて切り替えます。
 - ②切り替え時に1日でも空白状況にならないようにコミュニティ情報を新システムに載せるようにしています。
- (5) 新システムは旭化成のシステムではないので、ユーザーがインプットする方法が変更となるので、その説明等に傾注、又注意をする必要があると考える。
- (6) 新システムの特色としては、情報収集能力向上とデーター入力量向上と考えています。各部会の皆さまにはご協力をお願い致します。
- (7) 先ほど12月には作るべしと申しましたが、少なくとも1月中には入れこみ、最終確認等も含めて2月エンド、これがレッドラインです。
- (8) 新システムセッティングは3月仮オープン
 - ①あまり欲張らず、骨組みをしっかりとさせた確実なシステムを作る。
 - ②来年度以降は、内容が楽しめるような新しい展開ができるようにしたい。
- (9) この部会に関してのつながり隊の方々のご協力としては、現在、実務的な根本を作り上げているので、プロ技術で行っているが、来年度以降について、情報部門に新しい方々が入って頂けたら嬉しいと思っています。

【スケジュール】

- 12月下旬1月中を目標に新システム開発中（遅くとも2月レッドライン）
- 2013年3月1日・・・仮オープン
- 2013年4月1日・・・正式オープン

4 第四部会「参加の仕組み・組織づくり部会」・・・田中部会長から報告

- (1) 13回市民つながり隊オリエンテーションが開催されました。
 新規つながり隊の方が3名で、1名は非公式開催時、2名の方が団体からご参加頂きました。
- (2) プロジェクト活動状況
 - ①ご勝手広場：盛り上がりました。それぞれの方々が、開発できるものなどを議論。
 - ②コミュニティカフェ・プロジェクト
 ・菊池先生をお招きしてのカフェを開催

・事務局石川さんからのアイデアで、お茶等事務局でお願いを致しました。

③19日に開催される市民つながり隊ネットワーク会議は市役所701会議室で午後6時30分から開催。

●趣旨：市民つながり隊が一同に会して発展的な活動への契機をはかる場をつくる。

ア 部会・チーム・プロジェクトの活動PR

イ 意見・情報交換

ウ 交流を行い、連携や相互乗り入れなど話し合い

①第一部会 食チーム…半谷 観光チーム…森戸 商品チーム…関根

②第二部会 小林

③第三部会 三宅（→笹山に変更）

（3）協議会へ協議事項依頼

①事務局でつながり隊サロンを開催しているが、一般の方々が7階まで気楽にあがってくるためにも、市役所前に「立て看」などが設置できないか。

②市民活動への支援として会議の場所や費用の支援ができないでしょうか？

オリエンテーション等の会議室が取れない状況であり、各チームやプロジェクトの会議はまろにえホールで開催しているが、無料で利用できるのが、1つの団体で4回までとなっており、それ以上になると有料になっています。会議日程が集中してしまうと、事務局等での日程調整をすることも含めて、活動支援をお願いしたい。カフェ・プロジェクトも予算がかかることであり、事務局7階開催はハードルが高いので、屋内ひろばで開催することも一考。

③他の部会からの予算融通が可能かどうか？

ブランドクイズやカルタ等のイベントで地域商品の周知イベント・ワークショップの企画があるので、ブランド部会へ予算を融通してもらって第4部会の予定を第1部会で展開ができないでしょうか？

④（つながり隊の受付について）第一部会には、外部の方々も参加されたおられたり、初めて参加される方もおられ、つながり隊に入ってもらくためにも、受付管理をして頂き、お名前、ご連絡先、PCアドレス等をお聞きして頂き事務局に連絡をして頂きたい。

議長：提案については以下のように整理をします。

①予算の融通

②会議場所の確保と予算支援：事務局が取りまとめをして頂くのであれば、部会長からの連絡というよりも、各チームが事務局に連絡をして確保可能か。

③受付作業について

WG（事務局）

・モデル事業の中で会議室使用料の予算はあります。

・会議室の使用について、庁内の会議室をどこまで利用するのか、協議会の予算でどこまで対応するのかと言う議論は未だ行われていないので、決める必要がある。

・各部会で事業内容の変更があるため、協議会で必要となる予算と会場使用料の予算の配分について、調整が必要。

議長：各部会はどこで会議を開催されていますか？

○第一部会（斎藤）食チームは現在は外部会議室のまろにえホール等利用、商品チームは庁内等、観光チームは日程も既に決まっていますので、まろにえホールを予定。

○第二部会（石川）庁内で行っています。

○第三部会（笹山）自前の事務所、または7階事務局等です。

○第四部会（田中）7階事務局で実施。ワークショップ等のイベントの時の会議室が取れない状況。

WG（事務局）：基本的には必要な費用を積算し、第一部会と第四部会の部会間調整が必要。

議長：では、今後どのくらいの予算が必要なのかを積算して調整の方向で検討します

次に受付作業について各部会のご意見を頂きます。

各部会長：（各部会で了解。受付作業を進めることになった）

議長：では次に予算の融通について。田中部会長に詳細説明を求めます。

委員：ブランドカルタについては、実際の商品への検討ができたので、来年5月の段階で作り上げたい。今年度以降、予算が無くても動き出したので、支援として資金が欲しい。今年度に連動させていきたい。

具体的には、①すごろくを作るので、第一部会の観光チームとともに活動をしたい。②制作に5万円、消耗品等も含めての予算を第一部会として制作して使いたい。③コミュニティ・カフェにも第一部会の予算を融通して欲しい。

議長：新しい公共として、予算を作る事から考えてからの作業と言う事も考えて欲しい。この件につきましては、桑原会長が不在ですので検討事項とさせていただきます。

5 第五部会「持続的な協議会の形検討部会」・菊池部会長より報告

(1) 第五部会は3回部会を開催しました。

(2) NPO 立ち上げに向けてと言うテーマで議論していますが、ここでその前に整理点があります。

①現在事業展開を推進している8団体の中に、行政主導の団体があります。第一部会の東久留米市地域産業推進協議会は市長マターであるために今後の NPO の中にはいるのだろうか、ということです。

②市職員の協力がなければ、現状はNPO活動ができ得ていない、ということです。

(3) 市民と行政が WIN⇔WIN の関係に無ければならず、新組織のために市民と行政サイドが仕組みを車の両輪のように一緒に考えなければならないと思います。

(4) 第三部会のくるくるさんも補助金ということがありますので、今後の立ち位置が問題になります。

(5) 協議内容

①第一部会と第三部会の今後の立ち位置

②行政サイドでの理念定着のための窓口はどうなるのか

③協議会全体としてどのように捉えるのか

(6) 設立趣意書の作成のためにも、新組織の目標・目的を各部会で考える必要。

委員…この問題は、行政に対して「どうするのか？」と言う事だと思います。第五部会側で、現在のくるくるをどのように取り入れるのか、を行政と共に考えるべきで、こちら側が考える問題ではないと思います。

委員…今のご質問は当然だと思います

①補助金300万円を頂きながら今後も進行するのかどうか。

②地域産業推進協議会はどうするのか。

委員：行政には事業予算があります。例えばくるくるに関しても、移行するについて、行政サイドとしては、来年度以降の協議会の組織のありようが明確でなければご返答ができません。

議長：ではNPOの型が見えると明確になると言う事ですね。

委員：行政職員と皆様との間には温度差があります。一番の議論は一千万近いの都の助成金が出ておりますが、市からは出ておりませんので、第三者的に見ている職員が多いのです。実際、市議会でも議論もあり、特に7階の使用に関しては、行政財産の費用負担があるのか、という質問等も出ています。その対応等も現在進行形で行っています。この協議会に対しての他の方々の理解がそういうところにもある事を知って頂きたい。

議長：我々はまちのため、市民のために活動をしているつもりであり、これは皆同じ思いであるとは思いますが、桑原会長が不在ですので、このような大切な議論は再度近いうちに会議を設けたいと考えますがよろしいでしょうか。では、これまでの報告のご意見とご質問を頂きたいと思っております。

委員：議会ではどのような事が質問であがっているのですか？

委員 返答…議会議事録をご覧になって頂いた方が良いと思います。

6 WGから

(1) 資料説明「東京都新しい公共支援事業「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」自己評価について」

(2) 10月11日に監査を実施しようとおもいましたが、半期の会計報告作業が終了していません。月末に都に事業報告をするので、それに間に合うように準備をしている状況。

(3) 事務局体制 西田さん、石川さん、坂根さんの3名になった

II. その他

○第19回協議会会議録の承認について

出席者に笹山、石川追加して作成

議長：本日オブザーバーの方一言ずつご感想を頂きます。

- ・山本様＝スムーズに来年NPO法人に流れ、行政との両輪で進める事ができる事を期待します。
- ・久保田様＝これからどのような方向へ流れるのかが課題です。
- ・小林様＝今年度で終わる事なく、今後も協力をしていきたいと思います。

III. 次回協議会（第21回）について

未定（桑原会長と日程調整をした上でメーリングリスト通知する）

会場は7階会議室を予定

以上
記録：渡邊恭子

署名 _____

「東久留米つながり・活力まちづくり事業」協議会 第21回会議 会議録(案)

- ・日時：平成24年11月12日(月) 18:30～20:40
- ・場所：東久留米市役所702号室
- ・出席者：(あいうえお順、敬称略)：石川、大森、菊池、桑原、齋藤、笹山、田中、渡邊
市(橋爪、中島、道辻)、WG(井上、廣瀬、太田、瀬口)
- ・欠席者：市(森山、木暮、小林)、WG(吉川)
- ・傍聴者：関根(地域ブランド開発部会 商品チーム長)
- ・配布資料：(1) 次第
 - (2) 第1部会 地域ブランド開発(報告書類一式)
 - (3) 第2部会 市民への地域活動意識調査(地域活動アンケート報告書2部)
 - (4) 第4部会 参加の仕組み・組織づくり(報告書類一式)
 - (5) 第5部会 持続的な協議会のかたち検討(第3回審議経過概要一式)
 - (6) 上半期会計報告書一式
 - (7) 第20回 協議会会議録
 - (8) その他(①第5回団塊シンポジウムのご案内 ②広報ひがしくるめ)

<議事>

会長挨拶：前回欠席して申し訳ない。本日の会議について、第5部会からの報告についての協議がメインとなる。

会議録作成人：齋藤部会長。

【報告及び協議事項】

1. 協議会、5部会及び事務局の事業・活動についての報告など

- ・前回協議会会議(10月15日)以降の各部会の活動を共有

第1部会 地域ブランド開発

齋藤部会長より報告

㈱プラスワン・ルネ国際研究所より補足説明

(食チーム) ラーメン(つけ麺)の名称決定「TOKYO ひがしくる麺」

(商品チーム) 12月2日(日)「くらしフェスタくるめ」にて「プチマルシェ de くるめチャリティマーケット」開催

(観光チーム) 12月1日(土)・2日(日)「くらしフェスタくるめ」にて行う「クイズラリー in 落合川・南沢湧水」のクイズ内容

第2部会 市民への地域活動意識調査

石川部会長より報告

- ・アンケート調査が無事に終了した。「地域活動アンケート報告書」および「地域活動アンケート報告書・概要版」の確認。調査協力者には報告書、回答者には概要版、を渡す。事務局には報告書及び概要版を置く

第3部会 情報システムづくり

笹山部会長より報告

- ・システムの開発中。ヴァイスヴァーサとの打ち合わせで11月6日現在30%弱の進捗状況を確認。標準進捗率をアンダーしているが、納期までのこれから2か月間で取り返すことの確認をした。

第4部会 参加の仕組み・組織づくり

田中部会長より報告

- ・第1回ネットワーク会議報告、次回ネットワーク会議は1月26日（土）午前10時より行う
- ・つながりサロンについて現在の毎週水曜日から第1、第3金曜日に変更
- ・プロジェクト活動状況

（市民活動寄り合い場）さまざまな方に参加をしていただき、意見を頂く
（コミュニティー・カフェプロジェクト）

12月2日（日）「くらしフェスタくるめ」にて珈琲サービス

12月22日（土）午前 屋内ひろばにて実験的にコミュニティー・サロン開催

※つながり隊のメンバーが仕上がりを考えている、今後も継続していく

次回は1月20日（日）午後予定

- ・市民参加&ブランディングのための「地域ブランドゲーム大会」について
今までのつながり協議会の集大成として、3月上旬に行う。当初の計画はカルタであったが、それに固執せずに地域ブランドゲームにする。この事業は第4部会だけではなく協議会全体で取り組みたい。

（意見および意見に対しての意見）

- ・第1部会の観光チームのスタンプラリーと一緒にやるのはどうか
- ・第2部会のアンケート調査で上がっているものも検討したい
- ・第3部会もその機会に新システムのPRができる
- ・飲食（ラーメン等）について出来るかどうか確認をお願いする
- ・ポスターセッション、展示等の予算をみた方がよい

●決定事項

つながり協議会の集大成として3月上旬に「地域ブランドゲーム大会」を協議会

全体で行う。実行委員会に各部会、チームより最低1名以上のスタッフを出す。

第5部会 持続的な協議会のかたち検討

菊池先生より報告及び提案

○第5部会第3回審議経過概要の説明

＜新たに分かったことおよび確認しあったこと＞

- ・第1部会の新商品の開発、販売計画は協議会に一定の収益を上げる仕組みを前提として進められていることはすばらしい
- ・指定管理者制度及び業務委託には今後入り込む余地はなく、またさらに推進すべきという声は市の内部からは聞こえてこない
- ・活動の成果が市民に良くわかるものが重要
- ・目標・活動を明確にし、共有する場合、広く市民に支持されるものかどうかを冷静に判断することが必要
- ・新しい公共の理念を確認

＜以上を受けての報告・提案＞

- ・大きな目標は比較的容易である
- ・新組織が目指すべき具体的な中間の目標、目的が重要である。そのためには汗をかけるメンバー、人材が集められるかが課題である

＜新しい公共の仕組みづくりの説明＞

- ・協働のまちづくり事業制度
- ・地域住民自治型まちづくり制度
- ・市民ファンド制度：企業による市民活動助成（例）マッチングギフト
→ 活用できるかもしれない
- ・東久留米市が目指す新組織は？

目標(例)①市民と行政間の協力・連携の仕組み（協働機能）

②市民と市民をつなぐ（中間支援機能）

③農商工関係者と消費者をつなぐ仕組み（第6次産業化、商品開発等）

④市民、事業者、行政をつなぐ仕組み（情報公開、地域防災システム）

⑤市民による共学の仕組み（講座・生涯学習機能）

以上「菊池先生より報告及び提案」を受けて協議・検討したい。大きな目標についての議論は必要ない。次年度以降の中間目標について協議したい。

(意見)新しい公共の手法を整理する必要がある、何のために集まっているのかの確認

構成団体の考えの違いがあれば調整するべきである。

(質問)協議会としての目的の再確認および行政とのかかわり、事務局の有無について議論するべきであると考えるがいかがか？

(議長)次年度のテーマが決まれば、目標・目的が決まってくる。この協議会はお互いに歩み寄れることを話し合う場として考える。

(意見)現在やっていることを集約して、自主的に立ち上がることが望ましい。現在取り組んでいるラーメン（つけ麺）はアイテムであり、多少の収益性は期待できるが、協議会の今までの意見、取組みを考えると「環境と観光」に向かっているのではないかと思われる。「環境と観光」を対立させるのではなく、調和することにより両立を目指すべきである。ほかに新しい事業は考えられない。

(意見)環境教育等、新しいモデルケースの可能性がある。

(意見)次年度に向けてテーマを絞って実践していくためには財源が必要である。

(意見)農地保全、グリーンツーリズム等も検討

(議長)●決定事項

以上の意見を踏まえ、8団体として次年度以降も継続して行うことの意識が一致したことを確認

(意見)自然を生かすことは賛成であるが、既存の環境保護団体との一緒に取り組むのは難しさもある。

(意見)次年度以降の新組織の財源について、NPO立ち上げを含め、検討するべきである。

(意見)今から次年度以降の事務局の場所（空き店舗）について、協議会メンバーが全員で探していった方が良い。

(議長)次回協議会にて具体的に次年度以降の財源、事務局等について協議する

事務局

・平成24年上半期の事業・会計報告

→ 石川監査役より報告

・東京都からのアンケート調査回答について

→ 皆様から頂いた回答をそのまま反映する。まとめたものを後日事務局よりメール配信、何かあればメールにて意見。

・下半期の予算の変更・追加

→ 第4部会のみ予算(案)提出、他部会も含め次回までに整理し提出

2. その他

- ・部会、部会内チーム・個別プロジェクト等の会議開催についての整理

(WGより) 各部会、チーム、プロジェクト会議の会議場の予算については、事務局費より多少の調整はできるが、基本的にはNGである。

→ 次回までに各部会より予算並びに執行状況を勘案して調整。また、会議における会場予約については各部会長および部会長が指名する者(チーム長、プロジェクト責任者等)のみ事務局に依頼する。各部会長は会議予約担当者のリストを提出する。

- ・㈱プラスワン・ルネ国際研究所より報告・確認

今後地域ブランド開発部会 食チームの事業「ラーメン(つけ麺)」の製作等にあたり、各事業者(企業等)と契約を締結する。各事業者(企業等)との契約はすべてつながり協議会の名称で契約することを了承していただきたい。

→ 全員了承

- ・その他WGより

先ほど「ラーメン(つけ麺)」事業で多少の収入を見込んでいるということであったが、原則として収入があった場合は、精算の上、東京都に返還を要すると思われる。

→ WGの方で確認し、メールにて報告する

- ・第20回協議会会議録の承認について確認

→ 協議の結果、内容を整理した上で全員承認

- ・その他報告

○くるくる親睦会 12月16日(日) 13:30~16:00

○第5回団塊シンポジウム 11月17日(土) 13:30~18:00

○くらしフェスタくるめ 12月1日(土) 10:00~16:00

12月2日(日) 10:00~15:00

○乾麺「東久留米うどん」 11月15日(木)より販売開始

3. 次回の協議会(第22回)について

→ 次回協議会日時:平成24年12月14日(金) 18:30 ~ 20:30 予定
場所:東久留米市役所内

(以上)

記録:齋藤正人

署名委員: _____

第22回「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」会議録（案）

◇日時：平成24年12月14日（金） 18:30～21:00

◇場所：東久留米市役所7階701会議室

◇出席者：桑原、齋藤、石川、笹山、田中、菊池、渡邊、大森、橋爪、中島、道辻、森山

WG：吉川、井上、廣瀬、太田、瀬口

◇欠席者：木暮、小林

（※順不同・敬称略）

【報告及び協議事項】

■部会活動報告

○第1部会「地域ブランド開発」（齋藤部会長より報告、予算に関しては渡邊氏より報告）

- ・12月2日（日）に開催された消費生活展に、商品・観光チーム合同で「プチマルシェ de くるめ」としてチャリティマーケットを開催。27,258円を東久留米市社会福祉協議会に寄付。又、1日（土）・2日（日）の両日「クイズラリー」を実施。2日間で194名の登録。
- ・観光チームは、3月に「東久留米めぐり」を実施する方向で検討中。
- ・食チーム ⇒ 予算に関しての説明～配布資料あり。
- 特に、中華麺については2月17日（日）にターゲットを合わせ諸々の作業進行中。

○第2部会「市民への地域活動意識調査」（石川部会長より報告）

- ・調査報告書は、11月中に市民プラザなど30ヶ所以上設置したが、再度概要版を刷り増して、特に消化の良い東久留米駅や市民プラザなどに再設置する。

○第3部会「情報システムづくり」（笹山部会長より報告）

- ・新システムの進捗状況について ⇒ 1月中旬に概ねの骨格がアップしてくる。
- ・くるくるの親睦会が終わったら事務局を中心に体制をつくる。又、協議会事務局の坂根氏のアドバイス・協力も事務局の業務に支障のない範囲で仰ぐ。
- ・ユーザーに対するアプローチ ⇒ 業務委託先ヴァイスヴァーサによる説明会を1月末～2月に実施する。
- ・つながり隊には、新規に立ち上げる時に力を借りたい。

○第4部会「参加の仕組み・組織づくり」（田中部会長より報告）

- ・「地域ブランドゲーム大会」に関して、現状までの経緯及び内容と今後のスケジュールの説明～配布資料あり。

名称：第1回地域ブランドゲーム大会＜かるた de くるめ＞

日程：3月10日（日）午後1時30分～4時 成美教育文化会館で開催

対象：親子からお年寄りまでの多世代の市民 50名程度

内容：カルタ制作&ゲーム大会を通じた東久留米のお宝自慢、魅力、資源の再発見

役割：企画班（第4部会主導）⇒ 具体的なゲーム内容、募集、進行の企画

PR班（各部会）⇒ これまでの協議会活動の発表、PR

・プロジェクト活動

12月22日(土) 午前10時～12時「コミュニティカフェ」開催

○第5部会「持続的な協議会のかたち検討」(菊池部会長より報告)

・11月29日(木)の打合せに関し、概要の説明～資料あり。

・今回は吉川委員と桑原会長の意見を拝聴し、審議を行った。

・吉川委員より「特定非営利法人東久留米つながり・活力まちづくり協議会設立趣意書」(案)が提示された。

非営利活動の種類(公益目的23事業)に適合させた形での6つの目標は以下の通り。

- ① 高齢になっても志さえあれば出番と居場所がある地域社会の創出
- ② 次代を担う子供たちが活発に遊び、学べる場が用意された地域社会の創出
- ③ 他地域から訪れて来られる方々を歓迎する観光を実践し、賑わいと活力あるまちの創出
- ④ 受け継がれてきた都市農業を大事にし、生産された農産物を使った地域逸品を提供し、地域経済の振興に寄与
- ⑤ 東久留米の活動情報発信源として、団体間の交流や連携にも寄与する情報サイトの運営
- ⑥ 本法人の設立趣旨に賛同いただける諸団体、個人、企業、大学を横断的に結び、行政の諸活動とも連携しながら魅力ある「東久留米づくり」の結節点の役割を果たす。

以上の6つを柱に据えて、東久留米全体の利益の増進に寄与することを目的にNPO法人を設立し、活動して行く。本法人の特定非営利活動の種類は以下の通り。

- ① まちづくりの推進を図る活動
- ② 観光の振興を図る活動
- ③ 子どもの健全育成を図る活動
- ④ 情報化社会の発展を図る活動
- ⑤ 経済活動の活性化を図る活動
- ⑥ 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

具体的に取り組む5つの事業は以下の通り。

- ① あらゆる世代を念頭においた地域コミュニティの結びつきの強化、農商工の連携を基本とした地域産業の振興及び地域商店街の再生を図るための支援事業
- ② 交流人口の増加を図る観光事業
- ③ 地域住民・市民団体相互のつながりを深め、地域に活力を生み出す情報化事業
- ④ 地域特産品の開発・普及に関する支援事業
- ⑤ その他目的を達成するために必要な事業

・桑原会長より「現在までの第5部会での整理と今後の課題」が提示された。

協議会設立の目的として、「東久留米を一層住みやすく魅力あるまちにするため」、新しい公共という仕組みでこれを実現することとし、この目的達成のための具体的事業とし

て挙げられたのは以下の4つ。

- ① 環境に配慮した観光
- ② 活力あるまち
- ③ つながりのあるまち
- ④ 新しい課題の抽出・市民つながり隊の組織維持

又、目的を達成させるための組織としてどうあるべきかの具体案として

- ① 現行の8団体を維持する
- ② 別の組み合わせを考慮する
- ③ 市民つながり隊の役割をどうするかを考える

・行政事業として活動している第1部会について、行政が現行のまま新組織に残留出来るような手立てはあるかとの質問に対し、その可能性はないだろうとの見解であった。

・それぞれの案について、質疑応答の結論

現行8団体それぞれの次年度以降の活動に対する考え・姿勢について協議会その他を通じて確認した上で、新組織の設立に向けて具体的に話を進めることが妥当であろう。

■協議会の現状及びこれからに関して

・議長より協議会の現状及びこれからに関して、意向を確認したい旨の発言あり。
出席者の意見要旨は以下の通り。

◆委員：くるくるは約380もの市民団体のコミュニテイサイトとしての機能を担っているという使命感がある。補助金を得ている理由でもあるし、事務局員も雇っている。中断や失敗は許されない。従って、4月以降の絵が具体的に見えない協議会に即参加と言いきれないのが、くるくるの現在の有り様である。

次年度からの協議会は、環境が整ってからスタートするというのではなくある一定の条件が整えばスタートすべきと思う。くるくるも加われる状況になれば一緒にやることはやぶさかではない。

◆委員：行政が次年度係わって行くということはさまざまな課題がある。

8団体で目的が共有されていない。何を目的にやって行くのか希薄ではないのか。助成金の使い勝手をよく議論していなかったのではないのか。今日の議論と今やっていることとのギャップを感じる。

◆委員：目的を明確にしなければいけない。なぜ協議会をやるのか。東久留米の課題と必要性があるからやるのだと思う。そして到達点は何なのかも整理する必要がある。

それぞれの団体の性格、立ち位置を確認した上で、共有する部分は何かの認識が重

要。

亜細亜大学とのコラボを東久留米で形にしたかった。

◆委員：次年度も継続して行くと捉えているが今の状態でやって行くというのは辛い。

①行政が設置している部会であるということ。② リーダー的立場が重複していて負担が多すぎる。物理的に時間が割かれ過ぎる。

◆委員：市民がつながり・活力に魅力を感じ入って来た人が多かったのはびっくりしたし市民力があることを発見した。東久留米の魅力を浸透させ更に市民力をアップさせて行くことが課題。一方でそれを組織化する大変さも実感した。

◆委員：次年度どのような方がやってくれるのか、どのようにやって行くのかを打ち出せないのが現状と認識している。それが極めて残念である。もっと早くこのような議論をするべきであった。助成金が終わった時に財源はどうするのかは当初からの課題でもあった。

会長が次年度も引っ張ってくれるのか。私は、継続してやりたいと宣言してくれれば、「この指とまれ」で団結出来るのではないかな。

中華麺を外部に販売出来ることを見届けるまではやりたい。

◆委員：あまり難しく考えず決めたことはやるということだと思う。あれもこれもは中途半端になってしまう。目標を決めとにかくみんなでやる。間違っていたら修正すれば良い。どうこうしているうちに半年、一年はすぐに過ぎ去ってしまう。

◆委員：求心力が大事。「やるぞ！俺について来い！」

◆委員：それぞれの団体が参加する意義～費用対効果が重要な決め手だと思う。

この協議会についてのサクセスストーリーを書きたい。

行政の置かれた立場は理解出来る。こういう場では言いたいことも言えないのではないかな。そこで提案したい。庁内委員会的な組織をつくり、市が抱えている課題に対し行政マンとして何が出来るのかを討議し、外部委員も含め提言をまとめる。要は行政が係わりやすい状況をつくるということである。

◆委員：3月のセミナーでイメージは出来たし、それぞれの部会は活動しているものの、庁舎内では中々評価されていないのが現実である。

◆ 委員: 第 5 部会の目標は良いと思うが手段はどうするのか。負担部分の議論がない。助成金が無くなる。拠点はどうする。参加団体が持ち出しをして、そこまでしてもやりたい人がいるのか確認すべきではないか。

◆ 委員: モデル事業としてスタートし、いろいろ問題もあるがこれはこれで実績であるし、この体験を生かすことが良い。結果を出すことにあまりこだわると進めなくなってしまう。又、いろんな場面でつながりを維持することが大事。

◆ 委員: 協議会が、市民にとって必要だと思われる活動が大事。

◆ 委員: あくまでもモデル事業なので、成功・失敗だけにとらわれずにいろいろテストすれば良い。

何をやるのか目的をはっきりさせないと集まれない。形式だけで集まったとしても成果は望めないのではないのか。

・ 議長より、第 5 部会はこれらの意見を踏まえ、今後討議して欲しいとの要望があった。

■その他

- ・ くるくる親睦会への参加 ⇒ 大森氏、渡邊氏
- ・ 下半期予算について ⇒ 第 1 部会、第 4 部会より提出あり。第 2 部会、第 3 部会は要請なし。
- ・ 会議等の会場手配について ⇒ 事務局への要請はそれぞれの部会で専任者を決めること。
- ・ 渡邊氏より中華麺の販売は、25 年度以降の協議会の財源になるとの発言あり。
- ・ 第 21 回協議会会議録の承認について ⇒ 確認の上、修正等があればWGに速やかに連絡すること。

■次回協議会（第 23 回）について

- ・ 次回日程はWGで調整の上、決定する。

以 上

(記録：石川 敬)

署名： _____
: _____

第23回「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」会議録（案）

◇日時：平成25年1月15日（火） 17:00～19:30

◇場所：東久留米市役所7階701会議室

◇出席者：桑原、斉藤、石川、笹山、田中、菊池、渡邊、大森、橋爪、中島、森山、小林

WG：吉川、井上、太田、瀬口

順不同・敬称略 以下同様

【報告及び協議事項】

■部会活動報告

○第1部会（渡邊・斉藤）

前回以降、特段の報告事項なし

2月17日たま6都ご当地グルメフェスティバルINくるめ@まろにえ準備中

○第2部会（石川）

前回以降、特段の報告事項なし

○第3部会（笹山）

引き続き新システム開発中

ヴァイスヴァーサより全体像提示以降は、詳細の確認のやりとり作業が中心となり、並行的にデータ移管作業と登録団体へのPR、説明が必要

○第4部会（田中）

「地域ブランドゲーム大会」の市報掲示手続き済

第1回（12月）コミュニティカフェは、15人程度の参加者あり、東久留米在住子育て中のママ2名の参加あり

次回は、1月27日@プラザ 10:00～

○事務局

予算執行状況

2・3部会は金額確定

1・4部会は取りまとめ中、次回協議会で報告予定

東京都主催のモデル事業中間報告会（新宿・国分寺）

出席した、笹山・井上より簡単な報告あり

■25年度の協議会について

第5部会での議論の説明（菊池）

NPOを想定している、「設立趣意書（案）」の説明（吉川）

・ここまでの議論で行政自体、および行政との関係で4月からの参加が難しい団体もあることから、たとえば次のメンバーでの構成はどうか

- 1) メイン部分を「つながり隊」中心で
- 2) つながり隊 + 個人の資格で（協議会団体のなかで）
- 3) 名乗り上げたその他団体を中心に
- 4) 上記1)～4)のミックス

・今後の活動には、次がポイント

1) 場所

2) 資金 →市の事業の受託は困難のため

補助金探し

これまでの活動成果（中華めん）の売上収入

会費制 などの議論はした

以上の説明のあと、全員でのフリーディスカッション（概要下記）

- ・行政の直接参加以外に関係はどこまで期待できるのか？
- ・現在の7Fが今後使用予定がないのなら、借り続けられないのか？
- ・具体的に行政の協議会に対するニーズを知ることが必要なのでは？
- ・行政は、協議会の組織や活動内容がどのようなものであれば、参加しやすくなるのかのサジェッションはないか？
- ・無理して4月から継続・・・ではなく、継続の方向で、時間をかけてのアクションでいいのでは？
- ・説明を受けた「設立趣意書（案）」だけでは、総花的、抽象的であり、たとえば「つながり隊」の参加を求めようにも、「説得力」に欠ける、時間軸も含めての具体的な目標を持ちたい
- ・具体的には、防災、高齢者対応、観光的なもの・・・
- ・活動の中には、財源獲得の要素は絶対に必要である
- ・東久留米では農業の位置づけが大きく大切であることが、実施済の「意識調査」からも明らかであるので、農中心での商品開発、観光は重要な要素である、またこれらは多くの人を結ぶ関係性が多い
- ・市のスタンスを定めるには、市長のリーダーシップは欠かせない、今後更に市長に確認をとり、次回協議会で報告できるようにしたい
- ・また次回協議会では、個人としての「参加へのスタンス」を求めたい

■その他

「2月17日たま6都ご当地グルメフェスティバル IN くるめ@まろにえ」への協力の確認あり、そのために第一部会は、詳細の案内を行う

■次回協議会（第24回）について

次回日程は、WGで調整の上、決定する。

以 上

（記録：笹山）

署名： _____

： _____

「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」 第24回会議録（案）

◇日時：平成25年2月13日（木） 19:00～21:15

◇場所：東久留米市役所702会議室

◇出席者：8団体（石川、大森、菊池、桑原、斉藤、笹山、田中、渡邊、小林、中島、橋爪、道辻、森山）、市WG（井上、太田、瀬口、廣瀬、吉川）

◇欠席者：市（木暮）

※50音順（敬称略）

【報告及び協議事項】

1. 協議会、部会及び事務局の事業・活動についての報告など

○Ⅰ部会「地域ブランド開発」

- ・昨日麺の麺やとの契約が完了報告（麺やと桑原協議会会長）。
- ・「たまるくとグルメフェスタ in 東久留米」の説明。
- ・地域ブランド商品化プロジェクトの進捗状況の説明。

○Ⅱ部会「市民への地域活動意識調査」

- ・特になし

○Ⅲ部会「情報システムづくり」

- ・くるくるチャンネルの説明。

◆質問：トップ画面の左側に協議会の項目がない。入る予定はないか。

■回答：当サイトからのお知らせの中にくるくと協議会の関係が出ている。最終的な画面構成で検討する。

◆質問：市民サポーターとは何か。

■回答：まちがいで市民レポーターが正しい。

◆質問：記事を書くとワンコイン・ポイントといったことはないのか。

■回答：今のところない。

○Ⅳ部会「参加の仕組み・組織づくり」

- ・「かるた de くるめ」の説明。実際のカルタの紹介。

◆質問：これは協議会の総決算のイベントとだったと思うが、それでよいか。

■回答：そのとおり。

◆質問：参加状況はどうなっているか。

■回答：現在のところ応募はない。30人程度くればよいが、お声かけをお願いする。

■回答：市民つながり隊には参加してもらう。

◆意見：協議会全体でやっているの、17日のイベントの際にチラシを配布してはどうか。

■回答：子育ての方々に配布予定。

■回答：ゆるゆるの会に話した際、保育園は役所からの紹介がないと子どもたちに話せないことになっている。

■回答：できるところには配布する。

○事務局

・特になし

・2. 平成25年度の協議会のあり方について（第5部会からの提案）

○持続的な協議会のかたちについて、第5部会での検討経緯と結果を説明。主なポイントは次のとおり。

① つながり隊のメンバーに中核をなしてほしい

② しかし、つながり隊の数が思ったより少ない

以上から、つながり隊にお願いするのは無理があると判断した。それを踏まえ、現メンバーにもうひと踏ん張りしていただけないか。

また、今後の活動に関しては、今年度のブランド開発は継続。その他の活動や事業についても芽が出てきていて、それらを育てる必要がある。

では平成25年度の組織はどうするか。これまでNPO法人を前提に話してきたが、会費制の場合では協働労働による協同組合の方法もある。これは参加者が出資者であり経営者にもなる方法で、資金が集めやすいのが利点である。

・設立趣意書の説明

◆質問：団体で参加なのか、個人で参加なのか。

■回答：どちらも拒む必要はない。

◆質問：まず現団体はどうするのか。新たに団体を加えるのか。

■回答：これからの検討事項である。

◆質問：第23回の議事録にある1)～4)のパターンに、現在のメンバーに頑張ってもらうパターンを加えるということか。

■回答：現団体に頑張ってもらっても、組織は新しく変わる。

◆意見：地域産業推進協議会としては、委員としては入ることはない。私個人としても無理である。

◆意見：くるくるとしては参加できない。ただし、個人としては現在参加している活動には引き続き参加する。協議会メンバーとしては無理である。

◆意見：団塊くるネットとしてはすでに個人参加になると説明している。私個人としても協議会メンバーとしては無理である。

◆意見：協議会がどうやって運営していくのかをはっきりさせないとダメである。ビジネスプランの作成が必要ではないか。

◆意見：当社としては大きなところを担っているのに、ひくことは難しい。しかもまだブランドにはなっていない。引き続き関わっていく。

◆意見：私の場合は団体としても個人としてもかわらないので、今後も同じようにと思う。

◆意見：大学としても私としてもできるかぎり支援を続けようと思う。

◆意見：今回の協議会はまちさぼとして申請したが、主体的にやらせてもらうということで会長を引き受けた。しかし主体的な運営はできなかった。個人としても自分の仕事があり大変だった。個人の仕事で忙しい私のような人が会長を担う立場にない。24時間 365 日協議会に携わることができる人がよい。つながり隊の皆さんの意見を聞いてもらいたいのので、その機会を設けてほしい。

※来年度に向けた市長からの回答

○来年度の事務局についての確認で、市長より 7 階の利用は無理だとの回答。市の関わりについては、市長の協議会への思いは中間支援組織の団体として期待していたとのことであった。今回は都の助成ということで、法的位置づけ、制度の中で参加してきた。今後は市内にある市民団体の 1 団体として、他の団体と同じように、支援などの関わりをもっていくことを想定している。最後の会議の際には市長と話す機会を設けたいと思う。

◆質問：市長が来て皆で何を話すのか。

■回答：一応、市が関わる協議会が終了するのでそのけじめとして考えている。

■意見：では日程調整をする。次回の会議との一体で実施。

◆質問：つながり隊への説明はどうするのか。

■回答：検討する。

3. 事業完了に伴う評価について

- ・各部会の活動評価が必要
- ・各事業の数値目標についての確認が必要

4. その他

○年度末に向けた対応

- ・次年度以降の協議会のあり方については再度第 5 部会で検討する。
- ・協議会全体としての年度末に向けた活動（費用）の確認が必要。

○次回協議会の日程

- ・市長との話し合いの関係で 3 月 12 日 19 時からとする。

(記録：大森)

署名： _____
: _____

「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」 第 25 回会議録 (案)

- ◇ 日時：平成 25 年 3 月 12 日(火) 19:00～21:30
- ◇ 場所：東久留米市役所 703 会議室
- ◇ 出席者：桑原・斉藤・石川・笹山・田中・菊池・大森・橋爪・中島・道辻・
小林・森山 WG：井上・太田・瀬口・吉川・廣瀬
- ◇ 欠席者：木暮
- ◇ 配布資料：協議次第・部会活動報告書・東京都実績報告書通知文等

【報告及び協議事項】

1. 平成 25 年度の協議会について (第 5 部会からの報告)

V 部会 持続的な協議会のかたち検討

- ・ 前回協議会までの検討経過を再度確認
- ・ 2 月 28 日第 5 部会での協議内容を報告

会長：“協議会の総括と次年度の向けてどのようにするのか” 第 5 部会から検討報告をお願いいたします。

第 5 部会報告

●議事内容

- 2 月 28 日に部会開催
- どういう組織にするのか

今後も「新しい公共」と言う理念と主旨を継続して運営をしていただくためには、理解をし得ていないつながり隊のメンバーの方々の方に担って頂くのは尻込みをされてしまい、難しいのではないかと。そこで「拡大協議会」開催を提案いたします。

【提案事項】

● 拡大協議会開催の提案：

- ・ 日時 : 3 月 30 日 (土) 10:00～12:00
- ・ 参加者 : つながり隊の皆様・協議会

拡大協議会の主な目的と付随する提案事項

第一目的：つながり隊の方々の目覚しい働きに協議会として丁寧にお礼を申し上げたい。

第二目的：今後も組織を継続したいというご意向が強いことを受け、次年度は、市民つながり隊のメンバーの皆様に「新しい公共」という理念のもとに、新しい組織の中核になって頂ける方をお願いすると言う事を提案いたします。

＊これまでの協議会の皆様には、“世話役”になって頂き、新組織の活動の見守りとアドバイスをお願いしたいと要請・提案します。

第三目的：新組織の形については、NPOや協同組合方式等を考えてきましたが、4月以降に新組織の中核となって運営して下さる方々のお考えに任せることを提案いたします。

上記の件をご了承いただけたらと存じます。報告と提案をさせて頂きました。

○質疑応答

■ 質問：新組織の理念等を引き継ぐというが、行政の方も入るのでしょうか？
行政とは、今後どのような関係になるのでしょうか？

□ 回答：行政は4月以降の活動には参加されないと受け止めている。だが、いずれ、新組織の活動如何によっては、行政の方々も連携するようなスタイルをとる活動が望ましいと考える。

■ 質問：新たに中核を担う方々というのは？ 誰を中心にとお考えですか？

□ 回答：つながり隊のメンバーの中からを考えており、今後新たに募集や口コミで入ってくると思います。また、その活動を現協議会メンバーが世話役となり、アドバイス頂けると思っている。

■ 質問：一般の市民の方の参加は呼びかけないのですか？

□ 回答：まだ第5部会では議論していません。門戸は広く開きたいが、先ずはこれまで活動をして下さっているつながり隊の皆様へのお礼と今後について話し合いたい。

(WG) 新しい公共は、次の担い手が公共領域を担っていかうというところで、マルチステークホルダー等とともにやろう！ということだと思いますが、新しい組織と行政とは、その活動範囲をみると、関連する部分が多いです。

但し、まちづくり団体だからということで、場所等を優先的に貸出はしていませんので、次の新組織について、会議等において場所等を貸出すというのは今のところ100%難しいです。

また、事業推進の中で、市と共催等の場合は、貸出可能状況もあるかそうでないかと言う事も現在は明言できません。

委員：私は皆さんと異なり特殊な第三者的な立場として申し上げますと、この協議会は「新公共」の理念で創設されており、他の地域諸団体とは性格が異なっていますので、新しい公共の概念から、市長のお力添えで、この庁舎内の一部を引き続き貸出をして頂きたいとお願いをする。新公共を軸とした組織の成果を挙げることで、行政がこの組織と係わる必要性が必ず出てきます（またそういう活動をしなければならぬと考えます）。そのことも踏まえて、お願いをしたいと考えます。

会長：第24回会議で皆様に次年度以降は、どうされるかについて伺い、それを受けて第五部会で議論をさせて頂きました。新公共という理念で、企業・市民・行政とともに新事業推進ができるか。第五部会では、つながり隊の方々にお願いをするのが一番よいと考えました。さて、この第5部会からの提案等を受け入れて宜しいでしょうか？

開催方向であるが、詳細については議論尽きず時間の問題から次議題に移る

【報告及び協議事項】

2. 協議会の事業の総括について（東京都への報告）

- ・各部会での部会活動報告書における評価について
（協議会全体・部会の両面から）
- ・今後のスケジュールについて（協議会・各部会・事務局の対応事項）

会長：次に活動評価についてです。活動評価及び全体評価はいかがか？

委員：大学として入っている立場の評価として、複数の先生と「市民活動のまちづくり」等に関しての講義ができるか、を検討していたが、市民中心の事業活動なので遠慮をした経緯がある。

東久留米の湧水は素晴らしいものであり、これは日本地下水学会等を活用しながらPRする事も必要と考える。

これまでの経緯を踏まえ、次の組織は素人集団が運営することとなるが、この組織そのものがプロ集団になるための勉強会を開催したいと考えている。

会長：とても良いお話を菊池先生から伺いましたが、ここで、本日の会議では1年3ヶ月事業推進を行ってきて、新しい公共の理念を次年度も継続し、つながり隊の方々に中核を担って頂く事が望ましく、その報告とお願いを今月30日に開催するという方向性が見えてきたことを踏まえ、馬場市長にここからご同席を願い、お話しを頂きたいと思います。馬場市長、宜しくお願いを致します。

市長：これまでここにおられる8団体の方々が推進してきて下さいましたが、次年度以降はそこから生まれた市民つながり隊の皆様が中核を担っていただくために30日に会議をもたれると言う事に集約されたと理解して宜しいですね。

会長：その通りです。

まずは協議会の皆様から市長にご質問等がありましたらご発言下さい。

委員：市長は兼ねてより市民参加型のまちづくり推進をする仕組みを作りたいと申されて来られましたが、今後もこの組織（協議会）にバックアップをして下さるお考えはおありでしょうか。例えば、事業推進にあたり、条例等の整備も出てくるのではないかと思います。そこは如何でしょうか。

市長：現在のご質問内容だけでのお答えはできませんが、「新しい公共」の反対側には「古い公共」が隠されていると思います。

行政が担ってきた部分を、例えば、防災関係、安心安全のまちづくり等も地域の方々とともに推進をしているところですが、自らの力で“一方の雄”として行動していこう！と言う新しい公共の担い手として、市民の方々が担っていただけたところがあれば、公共性のあるところは、行政として側面・後方支援等の連携は十分にあり得る事だと考えます。

助成金事業の中で行政も参加する項がありましたので、共に推進して参りましたが、聞くところによると、団塊の世代の方々は、どこでどのように何をすれば良くわからなかったというご意見もあつたようにお聞きしております。

今回はモデル事業として1年3ヶ月程取組んで頂きましたが、この間、

市としても財政面、7階の使用等で支援をさせて頂きましたが、今後はそれに替わのご提供はできません。市の保護下にある組織ではなく、もっと自立をした組織であって欲しいと希望し、市としましては、新組織の事業推進内容により協力と支援ができるものであれば、行いますが、あくまでも主体は市民の皆様と言う考えの中で、行政が主体で推進するのではなく、市とよきパートナーになることは可能であると考えます。

委員：市民が主体と言うお話に大賛成です。その中で、市が支援できるところはするというお話ですが、今回、市民つながり隊の方々は目覚ましい努力と協力で活動をして下さったのですが、次年度以降は、資金と拠点がなくなります。おこがましいのですが、「拠点」の部分において、他の市民団体とは異なり「公共性」のある組織である事を考慮していただき、庁舎内にご用意ができるか、この点をご努力いただけないかをお聞きいたします。

市長：先程来申し上げておりますとおり、現状では難しい問題です。漏れ聞こえておられると思いますが、現状は「波高し」と言う状況であり、ある団体のみに優遇しているのは如何なものか。市が参加する団体として庁舎を貸出いたしました但今後においては難しいと考えます。

議会答弁では、「新しい芽」が出ているので、今後はどうするか検討中、としています。

市民が主体の時代であり、行政の使命の中でどのように支援ができるか、予算としても裏づけがなく、皆様が中心となって推進して頂き、その中で係われる部分は係わり、係われないところは係われないということです。

委員：状況として市長のお話を受けとめますが、自主・自立といいましても、新事業を起こす環境にはありません。

例えば、市側から新組織の事業等に対して提案等はできませんか？これから生まれる新組織に対して委託事業等はないでしょうか？

市長：市と市民の新公共という考えからの中間支援的存在になることが望ましいと考えます。

また委託事業者となるためには様々な条件等があり、新組織の受け皿的能力も必要となってきます。

会長：私は、まちづくりサポートセンターに約 10 年間係わってきましたが、やはり同じ状況であり、市民だけの力ではやはり難しいと思います。腕の良い陶芸家がいても、燃料や材料がないと良い壺が焼けないことと同じです。また生業をもった人が中途半端にできるものでもありません。つながり隊の方々に成長して頂く内容がお話しできれば良いのではないかと考えます。今月 3 月 30 日土曜日午前 10：00～12：00 までの間、つながり隊の方々へ、このモデル事業の報告と新組織の人材募集を行いたいと考えています。

会長：市長、本日はご同席をありがとうございました。
それでは、先程の総括の続きを行います。WGからお願いいたします。

WG：東京都への報告は 4 月 5 日に行いますので、それまでに各部会の報告をお願いいたします。協議会評価・事業報告は 3 月 15 日に会計を締め、団体ごとの報告書を取りまとめます。

庁舎内 7 階事務局は 30 日までに片付けます。

30 日に拡大協議会を開催されるとの事ですが、費用等が発生する場合、事前にとりまとめを行います。

会長：既に時間が超過し、30 日に開催する拡大協議会の内容、また各部会からの報告もできませんでした。この件も含めて近々会議を開催する必要があると思います。宜しいでしょうか。

(異論なし)

○次回協議会内容

- ・ 3 月 30 日開催予定の拡大協議会について
- ・ 各部会からの報告
- ・ 事務連絡等

●次回協議会開催

平成 25 年 3 月 19 日火曜日 19：00～

記録：渡邊

署名： _____

『東久留米つながり・活力まちづくり事業』第26回協議会 次第

平成25年3月19日(火)

19時00分～21時00分(予定)

於：市役所701会議室

【報告及び協議事項】

1 協議会のモデル事業の総括・25年度の協議会について

- ・東京都への報告(4月5日締切)の準備状況について
- ・現協議会の活動の整理について(成果・課題など)
- ・次年度の組織の方向性について(予定されている活動があれば情報共有)

2 3/30 拡大協議会の実施について

- ・会場：成美会館3階 大会議室 日時：3月30日(土) 10:00～
- ・提案内容の確認(協議会委員の役割や引き継ぎの内容など、ハードの部分 & 事業で得た経験や喜び、「新しい公共」の魅力など、ソフトの部分)
- ・つながり隊や関係団体への告知について
- ・当日の役割分担
- ・協議会の継承可否の判断について(資料の引継ぎなど)

3 事務局スペース閉鎖にともなう事務処理

- ・資料、資産の保管、移譲等
- ・リースなどの処理
(場所[事務局]・情報[HP・個人情報]、協議会外部の団体との関係など)
- ・25年4月1日以降の連絡網

4 その他

- ・第25回協議会会議録の承認について
- ・事業完了に際しての意見、感想等

第27回東久留米つながり・活力まちづくり協議会、拡大協議会会議録

1 日時：平成25年3月30日（土）

（1）協議会 午前9時30分から9時45分

（2）拡大協議会 午前10時00分から12時00分

2 場所：成美教育文化会館3F大研修室

3 出席者（敬称略・順不同）：桑原、斎藤、石川、笹山、田中、菊池、橋爪、中島、道辻、小林、森山、WG（廣瀬、井上、太田、瀬口、吉川）、事務局（西田、石川）
（拡大協議会）つながり隊14名

（1）第27回協議会

①協議会の解散について

平成25年3月31日付で協議会を解散する件について協議会規約第16条による決議。
（全員賛成）

②協議会の地位の継承について

協議会規約第17条による地位の継承について、地位の継承者は東久留米市とする件を確認。

③協議会解散後のつながり隊について（会長）

今日の拡大協議会でも説明するが、協議会解散後のつながり隊の受け皿として、まちづくりサポートセンターで、「つながり隊サロン」を運営していくことを提案する。協議会構成団体とつながり隊の今後の協業の場としても期待できる。（委員了承）

④協議会の事業報告、決算報告等の取り扱いについて

事業報告、決算報告については、本日の拡大協議会の結果等も掲載するため、今日段階ではまとめをお示しできない。一方都報告は4月5日までのため、協議会を開催するいとまがない状況である。取りまとめ及び結果報告については、会長一任願いたい（委員了承）。

（2）拡大協議会

1. つながり隊への謝意及び今後への期待（桑原会長）

2. 事業報告（同会長）

第一部会（地域ブランド商品開発事業）

「TOKYOひがしくる麺」を開発、発売開始

第二部会（市民への地域活動意識調査事業）

団塊世代中心への市民アンケートの実施・分析

第三部会（情報システムづくり事業）

「市民サイト」構築、4月1日オープン

第四部会（参加の仕組み・組織づくり事業）

コミュニティカフェ・かるたDEくるめ等の実施を通じてのつながり隊の組織づくり

第五部会（持続的な協議会のかたち検討事業）

NPO・協同組合などの提案

3. 各事業部長よりの補足説明およびつながり隊への今後の期待
4. 組織検討経過報告（菊池第五部会長）
5. 次年度への提案（桑原会長）

協議会の一つ「まちさぽ」（まちづくりサポートセンター）が、「ツナサロ」（つながり隊サロン）を立ち上げ、まちづくりへの語り合いの場として継続する

第一回「ツナサロ」：4月13日10：00～@東部地域センター

6. つながり隊の皆さんの意見・感想など

- 多くの仲間が知り合えたことがよかった
- 皆さんとのつながりができたことが財産
- イベントを企画・実施しての達成感が最高
- 協議会全体の動きがわかりづらかった
- 最初はもっと多くのつながり隊がいたはずだが・・・
- 今後引き続き参加したい、情熱はある
- 自分の居場所としても参加したい
- 今後の各イベントを見極め参加したい
- 活動のための費用はどうなるのか・・・行政からの補助は期待できるのか・・・

7. TOKYO ひがしくる麺の今後について（渡邊プラスワン・ルネ国際研究所代表）

開発・販売活動に加わった市内関係業者等とともに新年度より本格的に普及に向けて活動する。関心のある人たち多くの参加に期待する、この活動を通じて協議会の目的である「楽しく・活気ある東久留米のまちづくり」に貢献したい

以上

部会活動報告書

第1部会

1 部会、打合せ等の開催状況

名称	日時	時間	会場	参加者数	(うち つながり隊)	内容	備考
<部会>							
第1回部会	H24.6.18	19～21	市役所602	34	15	概要説明、チーム決め	
第2回部会	H24.7.20	19～21	市役所602	25	15	ブランド開発について	
第3回部会	H24.8.27	19～21	市役所602	27	10	各チーム報告、協議	
第4回部会	H24.9.27	19～21	市役所702	24	11	各チーム報告、協議	
第5回部会	H24.10.26	19～21	市役所702	26	10	各チーム報告、協議	
第6回部会	H24.11.27	19～21	まろにえ集学室	21	7	各チーム報告、協議	
第7回部会	H25.2.1	19～21	まろにえ料理室	28	12	各チーム報告、協議	
第8回部会	H25.3.18	19～21	市役所702	25	8	今後について他	
<チーム会議>							
食チーム(1)	H24.8.3	19～21	市役所601	7	2	スケジュール確認他	
食チーム(2)	H24.8.14	12～14	丸め	15	8	試食会1	
食チーム(3)	H24.9.4	19～21	丸め	13	6	試食会2	
食チーム(4)	H24.9.26	19～21	まろにえ創作室	7	2	販売計画他	
食チーム(5)	H24.10.30	19～21	市民プラザ	6	2	ネーミング他	
食チーム(6)	H24.11.26	19～21	男女平等センタ	7	2	スケジュール確認他	
食チーム(7)	H24.12.11	14～15	三河屋製麺	12	2	試食会3	
食チーム(8)	H24.12.11	19～21	市民プラザ	6	2	販売店確認他	
食チーム(9)	H25.1.25	19～21	まろにえホール	7	2	のぼり、ポスター確認他	
食チーム(10)	H25.2.1	18～21	まろにえ料理室	28	12	試食会4	
食チーム(11)	H25.2.14	18～20	市民プラザ	6	2	チラシ折込準備	
食チーム(12)	H25.2.16	終日	まろにえホール	5	1	前日準備	
商品チーム(1)	H25.1.9	13～15	市役所	3	1	マルシェまとめ	
商品チーム(2)	H25.2.17	9～17	まろにえホール	3	1	グルメフェスタ手伝い	
商品チーム(3)	H25.3.10	13～16	成美会館	3	1	かるた手伝い	
観光チーム(1)	H24.9.6	19～21	市民プラザ	9	8	巡りについて他	
観光チーム(2)	H24.9.20	19～21	市民プラザ	10	7	巡りについて他	
観光チーム(3)	H24.10.4	19～21	市民プラザ	8	7	巡りスタンプラリーの件	
観光チーム(4)	H24.10.18	19～21	市民プラザ	9	8	巡りスタンプラリーの件	
観光チーム(5)	H24.11.1	19～21	市民プラザ	7	6	巡りスタンプラリーの件	
観光チーム(6)	H24.11.15	19～21	市民プラザ	8	7	巡りスタンプラリーの件	
観光チーム(7)	H24.11.30	19～21	市民プラザ	5	4	巡りスタンプラリー準備	
観光チーム(8)	H25.3.7	19～21	市民プラザ	3	3	今後について	

2 部会での事業(別主催事業への参加も含む)

名称	日時	時間	会場	参加者数	(うち つながり隊)	内容	備考
くらしフェスタ	H24.12.1	10～16	市民プラザ			クイズラリー	
くらしフェスタ	H24.12.2	10～15	市民プラザ			クイズラリー、マルシェ	
七福神めぐり	H25.1.12	8～16	市民プラザ他			七福神めぐりスタッフ	
グルメフェスティバルinくるめ	H25.2.17	10～16	まろにえホール 他			TOKYOひがしくる麺 お披露目販売	

3 事業成果指標

		内容
人的な成果	目標には至らなかったが、それなりに多くの市民に参加をしていただいた	地域ブランド商品開発(「TOKYOひがしくる麺」の開発～販売)、巡り関係(クイズラリー他)、マルシェ等、ある程度多くの市民に参加または携わっていただくことが出来た。一方で目標としていた参加人数には程遠かった。
事業の成果	①地域ブランド商品開発 ②他の事業	①地域ブランド商品「TOKYOひがしくる麺」を短期間で開発・販売することができた。 ②ブランド商品以外に巡りクイズラリー、マルシェ等を開催することができた。
その他の成果	①地域ブランドの発展 ②他の事業の発展	①地域ブランド商品「TOKYOひがしくる麺」の継続、地域ブランドとしての定着 ②観光(巡り)関係、マルシェ等を継続していくことにより、今後の多くの市民参加が期待できる。

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

部会名

地域ブランド開発部会

評価項目

No.	項目	記入欄 内容が分かるように、200字以上～300字以内程度で簡潔にまとめて記載してください。必要に応じて、参考資料などを添付してください。	自己採点
1	成果目標	地域ブランド商品「TOKYOひがしくる麺」を短期間で開発・販売できたこと、ブランド商品以外に巡りクイズラリー、マルシェ等を開催できたことは成果といえる。一方でブランドアイディア数は十数件にとどまり、当初目標としていた100件を達成することは出来なかった	4
2	市民性	地域ブランド商品開発（「TOKYOひがしくる麺」の開発～販売）、巡り関係（クイズラリー他）、マルシェ等、ある程度多くの市民に参加または携わっていただくことが出来たが、目標としていた参加人数800人には程遠かった。	2
3	波及効果	商工業者・農業者（団体含む）および行政が中心になるのではなく、市民を中心に地域ブランドを開発するという難しさ、市民の意見を取り入れ、調整していく過程等、評価・反省も含め参考になるものといえる。	3
4	継続性	地域ブランド商品「TOKYOひがしくる麺」については、次年度以降の計画も出来ているが、発展していくためにより具体的な計画（組織・販売計画等）が必要である	3
5	マルチステークホルダー・プロセス	観光（巡り）関係、マルシェ等は、地域の財産ともいえる湧水、緑、地場産野菜等を活用して継続していくことにより、少しずつではあるが市民の参加が期待できる。	3

部会活動報告書

第2部会

1 部会、打合せ等の開催状況

名称	日時	時間	会場	参加者数	(うち つながり隊)	内容	備考
業務委託先打合せ	H24.5.29	15:00~17:00	庁舎内会議室	6	0	契約に関する打合せ	
第1回部会	H24.6.21	9:30~12:00	"	9	3	研修会開催に関して	
調査員研修会	H24.6.29	10:30~14:30	"	15	10	調査員に対する研修	2回実施
第2回部会	H24.8.15	16:00~18:00	"	8	2	調査中間打合せ	
第3回部会	H24.9.24	15:00~17:00	"	8	2	報告まとめ打合せ	
第4回部会	H24.11.1	14:00~16:00	"	8	2	報告まとめ最終打合せ	
報告書作成	H24.11.14	10:30~14:30	事務局	4	0	報告書としてセット	
"	H24.12.21	14:00~15:30	"	4	0	追加分作成	

2 部会での事業(別主催事業への参加も含む)

名称	日時	時間	会場	参加者数	(うち つながり隊)	内容	備考
市民プラザ夏まつ	H24.7.22	11:00~16:00	市民プラザ	20	10	アンケート調査票配布	

3 事業成果指標

		内容
人的な成果	・協議会構成団体の会員及びつながり隊の協力を得られて実施できたこと。	協議会構成団体所属の会員及びつながり隊の総勢29名が、アンケート調査員として調査協力者に対し、直接手渡しするという方式で実施したことで、3か月間という長期に亘り手間は掛かったがよりフレンドリーな調査が出来たし、調査員にも協議会そのものを認識してもらえる良い機会になったことと思う。
事業の成果	・協議会として知りたい情報を得られたこと。	協議会として活動を継続して行く上で、必要と思われる調査項目に対し、322件の回答を得られ報告書という形でまとめられたこと。尚、報告書は概要版を作成し、市民プラザをはじめとする各地域センターや東久留米駅など市内33か所に設置し、市民に公開した。
その他の成果		

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

部会名

市民への地域活動意識調査部会

評価項目

No.	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200字以上～300字以内</u> 程度で簡潔にまとめて記載してください。必要に応じて、参考資料などを添付してください。	自己採点
1	成果目標	団塊世代を中心にした市民に対し、調査員が調査票を直接手渡し、調査協力者が記入後郵送回収方式で実施。調査票1,000票配布し、有効回収322票。【当初目標 ⇒ 有効回収 300票】	3点
2	市民性	協議会の構成メンバー等が知り合いのグループなどに調査を依頼したことで回収内容に偏りが懸念されたが、①地域活動をしている⇒190票 ②地域活動をしていない⇒132票と現在地域活動をしていない人から多くの回答を得られたことは良かった。	3点
3	波及効果		
4	継続性		
5	マルチステークホルダー・プロセス	協議会構成メンバーに行政が加わっていることにより、市民からみて信頼性が得られたことで調査が進捗した点。	3点

部会活動報告書

第3部会

1 部会、打合せ等の開催状況

名称	日時	時間	会場	参加者数	(うち つながり隊)	内容	備考
別紙明細							

2 部会での事業(別主催事業への参加も含む)

名称	日時	時間	会場	参加者数	(うち つながり隊)	内容	備考
なし							

3 事業成果指標

		内容
人的な成果	関心あるつながり隊の発見	文字通りの「市民サイト化」には、運営委員会以外に広範な市民の参加、サポートが必要となる。すくなくともサイトへの認識の広がりを通じて、今後の方向性への理解と期待を得れたと考えている。実際の成果は新サイト立ち上げ後の運営努力が必要となる
事業の成果	新システムの構築	従来の、登録団体の情報発信機能に加えて、一般市民よりの発信機能を加えることで、より広範な市民の参加を得ることが期待できる「市民サイト」化が大きな特徴である
その他の成果		システム構築期間を通じて、現在の運営委員にも本格的市民サイトの方向性の意義及びそれに伴う活動の必要性が認識された

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

部会名

情報システム構築部会

評価項目

No.	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200字以上～300字以内</u> 程度で簡潔にまとめて記載してください。必要に応じて、参考資料などを添付してください。	自己採点
1	成果目標	構築までの関与者数1,000名(延べ)は達成した。	5点
2	市民性	つながり隊の関与者数という点での評価とすると、(当初目標はないものの)延べ380名は満足のレベルと考える。当サイトは運用開始以降にこそ、市民性が問われるものと理解している、つまり真の評価は今後にある。	3点
3	波及効果	くるくるというサイトの認識が構築段階での関与人数(特につながり隊)により相当に達成できたと考える。しかしこの効果も「市民性」同様、今後の努力が問われるものと理解する。	3点
4	継続性		
5	マルチステークホルダー・プロセス	相当なつながり隊の関与があったと評価できるが、事業(活動)の性格から数字の多寡みでは評価はしにくい。これも今後の努力により、より多面かつ多くの関与者を得て充実を図ることが大切と考える。	3点

(別添付) 第三部会打ち合わせ等の記録

	実施日	場所		対象者数	うちつながり隊人数	打ち合わせ内容
1	4月16日	生活文化課		6	1	新システムの概要/見積もり依頼内容の確認
2	4月23日	生活文化課		6	1	新システムの概要/見積もり依頼内容の確認(最終)
3	6月5日	すずらん事務所		6	2	新システムから現行データの移管/新システムの登録制度の詳細
4	6月18日	くるくる事務局		10	1	事務局への説明/新システム移行計画/現行登録団体への説明等
5	6月25日	すずらん事務所		2	1	今後の作業計画の確認/コンテンツ素案
6	6月27日	くるくる事務局		3	0	データ移管/登録団体への連絡
7	6月29日	すずらん事務所		2	1	コンテンツ素案
8	7月4日	協議体事務局		6	1	コンテンツ素案中役所情報(産業ほか市民に直接関係あるもの)
9	7月9日	くるくる事務局		2	0	コンテンツ素案(市民レポート/その他市民発情報は?)
10	7月11日	市庁舎501号室	くるくる第二回運営委員会(新システム説明	12	0	基本的事項
11	7月18日	協議体事務局		9	5	コンテンツ素案(主に市民情報)
12	7月24日	協議体事務局		9	5	コンテンツ素案(主に産業系情報)
13	7月25日	プラザホール		2		暫定HP(開局日ほか)/新システム今後の確認
14	8月6日	くるくる事務局		2	0	コンテンツ他
15	8月23日	204会議室		8	2	新システム基本設計の説明等
16	8月24日	くるくる事務局		2	0	今後のくるくるサイド作業体制の確認
17	9月9日	くるくる事務局		3	1	
18	9月13日	くるくる事務局		2	0	
19	9月	市庁舎201号室		3	0	「東久留米ってどんなまち」提出について
20	9月24日	くるくる事務局		2	0	
21	10月19日	くるくる事務局		3	0	
	1月19日	市庁舎701号室	つながり隊ほか	25	15	つながり隊ミーティングでシステム説明・今後の協力依頼
22	11月6日	市庁舎401号室		4	2	
23	11月18日	くるくる事務局		4	0	
24	11月29日	協議会7F		7	1	
37	12月4日	市民プラザ		3	2	新システム作業状況等説明
25	12月11日	市庁舎2F		9	2	最終基本SPEC/1月上旬完成(基本)確認
30	12月13日	テンプ・スタッフ		3	0	新システムと現くるとの関係(期間延長・ジャンプ機能)
31	12月16日	市民プラザ	くるくる運営委員関係者・登録団体・市民レ	110	20	懇親会で新システムの説明
26	1月8日	市庁舎2F		2	0	「東久留米ってどんなまち」提出について
27	2月8日	市庁舎2F		6	2	終盤作業確認・現くるとのスイッチ方法ほか
28	2月13日	くるくる事務局		4	1	KVVと25年度保守契約先(他者への検討)
29	2月22日	プラザホール		2	0	終盤作業確認・25年度保守契約他
32	3月4日	くるくる事務局		3	0	システムチェック他
33	3月6日	くるくる事務局		3	0	システムチェック他
34	9月11日	市庁舎会議室	くるくる運営委員会	12	0	新システム説明
35	10月21日	市庁舎会議室	くるくる運営委員会	12	0	新システム説明
36	11月5日	市庁舎会議室	くるくる運営委員会	12	0	新システム説明
38	1月16日	市庁舎会議室	くるくる運営委員会	12	0	新システム説明
39	3月26日	市庁舎会議室	くるくる運営委員会	12	0	新システム説明
40	9月	くるくる事務局	1名×15日	15	0	要求事項確認・作成/KVV確認やりとり
41	10月	くるくる事務局	2名×15日	30	0	要求事項確認・作成/KVV確認やりとり
42	11月	くるくる事務局	2名×15日	30	0	要求事項確認・作成/KVV確認やりとり
43	12月	くるくる事務局	3名×15日	45	0	要求事項確認・作成/KVV確認やりとり
44	1月～3月	くるくる事務局	3名×20日	60	0	要求事項確認・作成/KVV確認やりとり
45	9月～3月	協議会	14名×7回	98	14	新システム説明
46	10月～3月	つながり隊通信	100名×6回	600	300	新システム説明・案内・協力依頼
	合計			1,223	380	

部会活動報告書

第4部会

1 部会、打合せ等の開催状況

名称	日時	時間	会場	参加者数	(うち つながり隊)	内容
部会打ち合わせ	H24.4.3	18:00~20:00	庁舎内会議室	4	0	事業運営検討
部会打ち合わせ	H24.4.5	17:00~19:30	喫茶店	3	0	事業運営検討
部会打ち合わせ	H24.4.21	12:30~13:30	庁舎内会議室	5	0	事業計画・委託内容検討
部会打ち合わせ	H24.4.23	16:30~18:30	庁舎内会議室	6	0	事業計画、契約について
委託打ち合わせ	H24.5.8	13:00~16:00	KGK事務所	5	0	委託詳細、活動計画検討
部会打ち合わせ	H24.5.9	18:00~20:00	喫茶店	4	0	活動計画検討
部会打ち合わせ	H24.5.13	13:30~17:30	喫茶店	4	0	事業運営検討
わくわく講座準備	H24.5.18	14:00~16:00	事務局	2	0	案内状修正、通知確認
部会打ち合わせ	H24.5.21	14:00~16:00	事務局	9	0	講座内容KGK打ち合わせ
第1部会との打ち合わせ	H24.5.22	17:30~18:30	庁舎内会議室	8	0	講座の方針、調整
わくわく講座準備	H24.5.23	11:30~12:30	事務局	3	0	チラシ新規作成
部会打ち合わせ	H24.5.25	18:30~19:30	まろにえホール	4	0	講座運営、調整について KGK、亜細亜大と連絡
第1部会との打ち合わせ	H24.5.31	17:30~18:30	庁舎内会議室	7	0	講座の位置づけ チラシ修正について
部会打ち合わせ	H24.6.11	9:30~11:00 13:00~16:00	事務局	8	0	つながり隊募集チラシ作成第2回講座 KGKと検討
わくわく講座準備	H24.6.15	17:00~18:30	庁舎内会議室	2		第1部会長と話題提供について打ち合わせ
つながり隊関連	H24.6.18	19:00~21:00	庁舎内会議室			第1部会参加
部会打ち合わせ	H24.7.3	13:00~16:00	事務局			第3回講座 KGKと検討
部会打ち合わせ	H24.7.11	13:00~15:00	事務局			第4回講座 KGKと検討
部会作業	H24.7.18	13:00~16:00	事務局	4		夏祭り用講座解説展示作成
つながり隊関連	H24.7.21	19:00~21:00	庁舎内会議室			第1部会参加
部会打ち合わせ	H24.7.22	16:30~18:30	市庁舎			わくわく戦略会議について
つながり隊関連	H24.8.4	15:50~18:50	まろにえホール			第1部会観光チーム会議参加
部会打ち合わせ	H24.8.10	19:00~21:30	庁舎内会議室			わくわく戦略会議について KGKとの打ち合わせ
第4部会会議	H24.8.29	14:00~16:00	事務局	5	3	今後の「参加の仕組み・組織づくり」、つながり隊の組織整備、オリエンテーションに
ご勝手広場企画	H24.9.19	11:30~13:00	事務局	8	1	東久留米の食材による持ち寄りランチミーティング
市民活動寄り合い場 ミーティング	H24.9.19	14:00~16:00	事務局	6	2	今後の活動について
第1回コミュニティカ フェ・プロジェクト ミー	H24.10.2	15:00~17:00	事務局、市民ブ ラザ	7	4	活動計画の推進
部会打ち合わせ	H24.10.3	13:00~16:00	事務局	3	0	部会運営について
部会打ち合わせ	H24.10.12	13:30~16:00	事務局	6	0	KGKと。全体ネットワーク会議について
部会打ち合わせ	H24.10.31	13:00~14:00	事務局	7	0	第4部会運営について
第4部会会議	H24.10.31	14:00~16:00	事務局	10	3	今後のサロン運営、ブランドゲーム大会について
部会打ち合わせ	H24.10.31	13:00~16:00	事務局	7	0	KGKと。ブランドゲーム大会推進について
市民活動寄り合い場 ミーティング	H24.11.2	14:00~16:00	事務局	2	2	今後の活動について

第2回コミュニティカフェ・プロジェクト ミー	H24.11.6	13:30~17:00	事務局、市民プラザ	4	3	12月、1月のコミュカフェ実施、準備について
第3回コミュニティカフェ・プロジェクトMT&	H24.11.14	12:30~16:00	まちの縁側本町	4	2	先進事例「まちの縁側本町」見学、ヒアリング、うち合わせ
ご勝手広場企画	H24.11.14	13:30~15:30	事務局	4	3	「木の実で人形をつくろう」ワークショップ
第4部会会議	H24.11.15	13:00~16:00	事務局	7	3	地域ブランドゲーム大会打ち合わせ、各プロジェクト報告
コミュニティカフェ関連	H24.11.28	13:00~15:00	事務局、印刷室	3	1	12月2日配布チラシ印刷
部会打ち合わせ	H24.11.30	13:30~16:00	事務局	8	0	KGKと。ブランドゲーム大会実行委員会運営について
コミュニティカフェ・プロジェクト ミニ打ち合わせ	H24.12.2	16:30~18:00	喫茶店	5	1	くらしフェスタでの見習い、12月22日実施コミュカフェについて
地域ブランドゲーム大会実行委員会	H24.12.5	14:00~16:00	庁舎内会議室	14	3	地域ブランドゲーム大会概要・運営について
第4回コミュニティカフェ・プロジェクト ミー	H24.12.7	10:00~12:00	事務局	4	2	12月22日実施コミュカフェ詳細打ち合わせ
地域ブランドゲーム大会企画班 第1回会議	H24.12.13	13:30~4:20	事務局	9	3	地域ブランドゲーム大会内容検討、タイトル「かるたdeくるめ」に決定
コミュニティカフェ・プロジェクト準備	H24.12.18	10:00~1:00	事務局	4	2	12月22日実施コミュカフェ準備作業
かるたdeくるめ 第2回企画会議	H24.12.18	1:30~4:30	事務局	11	4	内容詳細検討(ネタカード、ルールづくり等の進め方)
つながり隊関連	H25.1.11	10:30~13:30	事務局	4	1	新規加入者による協議会への提案 協議
第5回コミュニティカフェ・プロジェクト ミー	H25.1.15	17:00~18:30	飲食店	5	2	1月27日実施のコミュカフェ詳細打ち合わせ
かるたdeくるめ 第3回企画会議	H25.1.15	19:00~21:30	まろにえホール	12	4	ネタカードづくり、分類
ツイッター講座	H25.1.15	14:00~16:00		3	0	ツイッターの基本
かるたdeくるめ 第4回企画会議	H25.2.5	13:30~16:30	事務局	9	2	内容・ルール検討
かるたdeくるめ 第5回企画会議	H25.2.12	13:30~15:50 16:00~18:30	事務局 まろにえホール	8	3	メディアリリース報告、内容詳細検討、試行検証
かるたdeくるめ 第6回企画会議	H25.2.19	14:00~17:00	事務局	7	4	内容詳細検討、備品準備
かるたdeくるめ 第7回企画会議	H25.2.26	13:30~17:00	事務局	7	2	内容詳細検討、備品準備
かるたdeくるめ準備	H25.3.4	10:00~16:30	事務局	5	3	内容詳細検討、備品準備
かるたdeくるめ準備	H25.3.6	10:00~17:00	事務局	5	3	内容詳細検討、備品準備
かるたdeくるめ準備	H25.3.7	10:00~12:30	事務局	5	3	内容詳細検討、備品準備
かるたdeくるめ準備	H25.3.8	10:00~17:00	事務局	5	3	内容詳細検討、備品・搬入準備
コミュニティカフェ 関連	H25.3.13	9:30~10:45	市民プラザ	2	1	コミュニティ・カフェ会計
部会打ち合わせ	H25.3.15	13:00~15:30	事務局	7	0	部会活動総括 KGKと。

2 部会での事業(別主催事業への参加も含む)

名称	日時	時間	会場	参加者数	(うち つながり隊)	内容
第1回わくわく講座	H24.6.3	12:00~17:00	成美会館大研修室	65	34	市民つながり隊旗揚げ式
第2回わくわく講座	H24.6.17	12:30~17:00	庁舎内会議室	25	15	地域ブランドについて話題提供「My地域ブランド エントリーシート」づくり、チームづくり
第3回わくわく講座	H24.7.8	12:30~17:00	庁舎内会議室	44	33	地域ブランド「企画提案シート」づくり、意見交換
第4回わくわく講座	H24.7.8	12:30~17:00	庁舎内会議室	24	13	企画提案シートの確定 市民プラザ祭り発表資料づくり
市民プラザ夏祭り	H24.7.22	9:30~16:30	市民プラザ	17	7	わくわく講座展示発表、ヒアリング
わくわく戦略会議	H24.8.24	18:30~20:30	庁舎内会議室	22	11	つながり隊の今後の活動・プロジェクトについて

つながり隊サロン	H24.7.4	13:00～16:00	事務局	3	0	実施
つながり隊サロン	H24.7.11	13:00～16:00	事務局	8	0	KGKとの打ち合わせ会兼ね
つながり隊サロン	H24.7.18	13:00～16:00	事務局	3	0	実施
つながり隊サロン	H24.7.25	13:00～16:00	事務局	2	0	実施
つながり隊サロン	H24.8.1	13:00～16:00	事務局	2	0	実施
つながり隊サロン	H24.8.22	13:00～16:00	事務局	5	2	実施
つながり隊サロン	H24.9.5	13:00～16:00	事務局	4	0	実施
つながり隊サロン	H24.9.12	13:00～16:30	事務局	9	4	オリエンテーション兼ね
つながり隊サロン	H24.9.19	13:00～16:00	事務局	7	2	市民活動寄り合い場MT兼ね
つながり隊サロン	H24.9.26	13:00～16:00	事務局	2	0	実施
つながり隊サロン	H24.10.10	13:00～16:00	事務局	7	2	コミュカフェについて話し合い
つながり隊サロン	H24.10.17	13:00～16:00	事務局	4	1	コミュカフェについて話し合い
つながり隊サロン	H24.10.24	13:00～16:00	事務局	6	2	実施
つながり隊サロン	H24.11.2	13:00～16:00	事務局	5	2	市民活動寄り合い場M兼ね
つながり隊サロン	H24.11.16	13:00～16:00	事務局	3	0	実施
つながり隊サロン	H24.12.7	13:00～16:00	事務局	5	2	実施
つながり隊サロン	H24.12.21	13:00～16:00	事務局	3	1	実施
つながり隊サロン	H25.1.18	13:00～16:00	事務局	5	2	実施
つながり隊サロン	H25.2.1	13:00～16:00	事務局	4	0	実施
つながり隊サロン	H25.2.15	13:00～16:00	事務局	2	1	実施
つながり隊サロン	H25.3.1	13:00～16:00	事務局	3	1	実施
つながり隊サロン	H25.3.15	13:00～16:00	事務局	2	1	部会打ち合わせ兼ね
市民つながり隊オリエンテーション①	H24.9.12	14:00～16:30	事務局	9	4	協議会、市民つながり隊としての活動について案内
市民つながり隊オリエンテーション②	H24.9.21	18:45～21:00	まろにえホール	5	0	第1部会における活動について
市民つながり隊オリエンテーション③	H24.9.29	13:45～16:45	スペース105	9	3	協議会、市民つながり隊としての活動について案内
第1回市民つながり隊ネットワーク会議	H24.10.19	18:30～20:30	庁舎内会議室	30	8	つながり隊同士のつながりづくり、活動の報告、意見交換
第1回市民つながり隊ネットワーク会議	H25.1.26	10:00～12:30	庁舎内会議室	24	6	つながり隊同士のつながりづくり、活動の報告、意見交換
消費生活展	H24.12.2	9:00～16:30	市民プラザ	4	2	コミュニティ・カフェ実験準備
コミュニティカフェ実験①	H24.12.22	9:00～13:00	市民プラザ	20	5	つながり隊メンバーによるクラフトコーナー、ヒンメリ展示
コミュニティカフェ実験②	H25.1.27	9:00～12:30	市民プラザ	14	3	祭りのタピストリー展示、製作者を講師として話題提供
かるたdeくるめ	H25.3.10	10:00～17:00	成美教育会館	73	7	東久留米の魅力・地域資源を題材にかるたをつくり、共有、かるたとり、協議会活動

3 事業成果指標

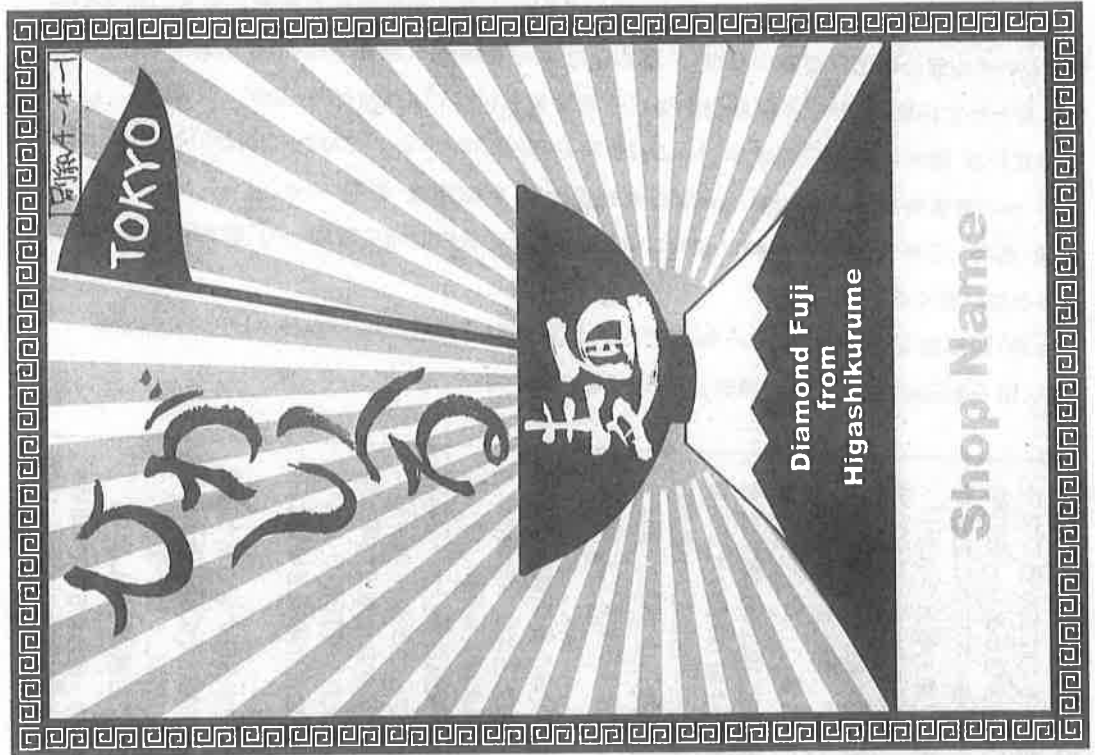
		内容
人的な成果	「市民つながり隊」の組織化	まちづくりについての課題意識が明確で、地域のモノや人(地域資源)がつながる仕組みづくり・場づくりに関心があり、活動に主体的に取り組める方を集結できた。また「つながり」というキーワードに魅かれて参加した方も多く、実動の過程で力を発揮し、学びや発見が多かった、と自らの成長に驚くに至っている。
事業の成果	①多様な活動チーム、プロジェクトの創造 ②地域資源をテーマとした「東久留米お宝かるた」	①「地域ブランドづくり」をテーマとした企画づくりを学ぶ意識啓発のワークショップ講座を通じて、ひとりひとりの思いやアイデアが引き出され、多様なチーム、プロジェクトが生まれた。様々な実験的活動に取り組み、出会いとつながりの場をさらに豊かに発展させることができた。 ②かるたをその場でつくって取るというワークショップによって、69枚のユニークで魅力的なかるたをつくることができ、地域を学ぶ貴重な機会ともなった。地域の再発見へと導く手段として、かるたづくりが有効であることも示され、今後の展開への期待も
その他の成果	若い世代の成長	当初は団塊の世代を中心とした活動が期待されたが、それだけでなく、協議会運営や活動の過程を通じて市民・行政とも次代を担っていく世代の学びと成長が著しく、ファシリテートやフォロー、協働といった市民主体のまちづくりに不可欠な手法も実動しながら実践できていた。

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

部会名 参加の仕組み・組織づくり部会

評価項目

No.	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200字以上～300字以内</u> 程度で簡潔にまとめて記載してください。必要に応じて、参考資料などを添付してください。	自己採点
1	成果目標	市民の参加については、目標値が過大だったこともあり量的には達成できなかったが、質的にはまちづくりについての課題意識が明確で、地域のモノや人(地域資源)がつながる仕組みづくりに関心があり、活動に主体的に取り組める市民を発掘できた。また、具体的な協働作業を通じてそれらの人々をつなげ、各人のポテンシャルを高めたりエンパワメントしながら、相互に高め合う関係性を創出した。	4
2	市民性	市民募集にあたっては、市民の思いやアイデアを引き出し、企画づくりを学ぶ意識啓発のワークショップ講座から始め、志のある市民の出会いやエンパワメント効果が得られるとともに、参加者からは「大変有意義だった」と好評だった。講座から生まれた様々なチーム、プロジェクトが継続的に活動して、市内の他事業に積極的に参加しながら一般市民への投げかけ、地域資源情報の収集等を行い、それらの成果を活用して、一般市民対象に地域リソース・人との出会いとつながりを創造するまちづくりイベントを成功させることができた。募集はチラシ、HP、ツイッター、展示PR、郵送、説明会、サロン等によって継続したが、既存の関係団体等へのアプローチが不十分だったため、認知度が低く量的な参加増加には至らなかった。コミュニティカフェ実験は、地域活性に関心のある若い子育て世代の参加の契機としても成果があり、またツイッター等のSNS活用の効果も明らかとなった。	4
3	波及効果	参加して最後まで継続的に活動した市民の多くが、まちづくりに対する課題意識が明確だったこともあり、本事業での経験や出会い・つながりを契機に、居場所・コミュニティカフェ事業の立ち上げや、マルシェ等市民活動・事業の受け皿・プラットフォームとしての組織の立ち上げに至っており、本事業はインキュベータとしての役割を果たせたとも言える。	3
4	継続性	個々のプロジェクト、活動は自立して継続していくが、それらをネットワークしていく基盤としての協議会本体の継続は、困難な状況にある。	2
5	マルチステークホルダー・プロセス	各担い手の成果目標や運営手法の相違を越えたトータルなマネジメントや対話が不足しながらの遂行だったが、終盤に至っては、参加した市民の目覚ましい成長と活躍によって、より一層の市民参加、外部のステークホルダーへの積極的な働きかけが必要という認識が得られた。	2



— 嘉永四年（一八五二年） —

— 穂の麦から始まる物語 —



TOKYO ひがしくる麺の誕生ストーリー

時代を経て復活した「幻の柳久保小麦」…そこに古からのロマンを感じませんか。収量が少ないからこそ希少性があり、その味を食すると懐かしさが広がります。この味を多くの方々にお伝えしたく、「新しい公共」の概念から生まれた「東久留米つながり」を編成し、地域のブランド商品を目指し、この柳久保小麦に新たな命を吹き込むことに挑戦しました。そして、これまでもにはない「中華麺」を作り上げました。

小麦でつながる市民の輪。この取り組みに、柳久保小麦の生産農家「東久留米柳久保小麦の会」と市内製麺企業（株式会社三河屋製麺）にご協力を頂き、研究と試食・分析に日々格闘し、小麦製粉時に出る「ふすま」を活用することで、柳久保小麦独特の「香ばしい風味」と「モチモチした食感」を見事に一体化させることに成功したのです。

東京都の地域資源に指定されている柳久保小麦が育っている東久留米には、環境省の平成の名水百選にも選定された湧水と、希少なホトケドジョウが生息する清流の落合川・黒目川、守り続けられている都市農業と農家の屋敷林、新東京百景の一つで孟宗竹が生い茂る静寂の竹林公園等々、都心から僅か24kmの地にロハスな空間が受け継がれています。自然豊かな土地と地域を愛する人々が育て上げた柳久保小麦から生まれた「TOKYO ひがしくる麺」。大江戸東京の味・多摩武蔵野小麦文化の味を堪能して下さい。

東京・東久留米の市民つながり隊が、日本全国の皆さまと来夏くつながり合える関係でありたいと、この麺にその願いを込めました。この中華麺が皆さまの心の味になれば嬉しいです。どうぞ、「TOKYO ひがしくる麺」を宜しくお願いいたします。

2013年2月 東久留米つながり・活力まちづくり協議会
http://www.higashikurume-tsunagari.com/

江戸時代の黒船来航を二年後に控えた嘉永四年（一八五二年）、現在の東京都東久留米市柳窪の奥住又右衛門が旅先から持ち帰った一穂の麦から、柳久保小麦が生まれたとされている。

その麦からつくるとんは風味がよくとても美味しいということで人気が出て、東京各地や近隣の農家でも栽培されていた。また、麦の背丈が一般的な小麦の一・五倍高いことから、麦藁は農家の「藁葺き屋根」にも利用された重要な品種でもあった。しかし、背が高い分倒れやすく、収量も少なかったために、戦時中の食料増産政策のもと、昭和十七年以降作られなくなり、「幻の小麦」となった。

そして、昭和六十二年、四代目にあたる奥住和夫氏が農水省農業生物資源研究所に保存されていたタネを譲り受けて栽培を復活し、現在では「東久留米柳久保小麦の会」の生産者の努力によって、年々作付面積が増え、収穫量は平成二十四年実績で約六トンとなっている。

市内では、柳久保小麦の風味を生かしたうどん・まんじゅう・かりんとう・パンなどが販売されており、また事業者によるふすま小麦粒の表皮部分で、食物繊維・鉄分・カルシウム・マグネシウム・亜鉛・銅などの栄養成分が豊富に含まれる（を使用）した独自商品の開発など、特産化を目指した様々な取り組みがなされている。

多摩武蔵野地域は昔からの小麦文化が守られ、風習・習慣になくはないものである。「柳久保小麦のあるまち・東久留米」は市民の誇りでもある。

消費生活展「くらしフェスタくるめ」× 東久留米つながり・活力まちづくり協議会

プチマルシェ

de くるめ

チャリティマーケット

ごあいさつ

本日は「プチマルシェ de くるめ」において下さりありがとうございました。

東久留米市民つながり隊・地域ブランド開発部会では市内にある自然、文物などの開発、紹介を進めております。市民の交流を第一と考え、従来の形式に捉われない「マルシェ」として適時適所に開設いたします。皆様の様々なアイデアを集めて盛りあげていきたいと思っておりますので、多くの方々のご参加をお待ちいたします。

このたび参加各店、自由学園ご関係者様から大変お世話いただき心から感謝申し上げます。また、多くの方々にお骨おりました。合わせてお礼申し上げます。

東久留米つながり・活力まちづくり協議会
地域ブランド開発部会

「プチマルシェ de くるめ」は、東久留米ブランドの小さな実験場です。

生産者、消費者がおしゃれで自由に交流できる場、地域のさまざまなものたちの中から、地域を感じられる商品や文化を生み出すアイデアのもとが生まれませんか――。

東久留米つながり・活力まちづくり協議会の地域ブランド開発部会では、「くらしフェスタくるめ」で、地域の商店、学校、個人の営み「東久留米版マルシェ」のモデル実験を行います。

消費生活展「くらしフェスタくるめ」(2日目)
12/2(日) 10:00~15:00

【会場】東久留米市役所 1 階 屋外ひろば

※雨天の場合は、屋内ひろばで開催します。



… パン、スイーツ
 … コーヒー、飲み物
 … お花
 … 雑貨、その他
 … ゲスト

東久留米市内・外のお店や作家さん
にご協力いただきました。
今回はクリスマスにちなんだものを
たくさんあつめました！



パン・ピュール

食事パンもおやつパンも種類豊富。
朝9時から営業しています。

● 中央町 2-6-54 (月、第1,3火休)



べえぐるや

自宅の一部を改装して、週3日だけ
営業している小さなベーカリー。

● 浅間町 1-7-9 (火、木、土、日休)



うつわ&カフェ かくしち

てづくりのスコーンやケーキと
すてきなうつわの一軒家カフェ。

● 中央町 2-1-34 (月、第1,3火休)



菓子工房 pure

こだわりの国産・オーガニック製品
をつかった体にやさしいスイーツ。

● 前沢 2-10-15 (月休)



プチ・フル

柳久保小麦と天然酵母にこだわった
からだにやさしい無添加パン。

● 中央町 4-2-18 (火、木、日休)



自由学園 (パン工房・最高学部)

パン工房のパンと学生による東久留米
産の小麦とぶどうのパンとクッキー。

● 学園町 1-8-33 (しなのめ寮・月休)



珈琲焙煎工房 ロアン

自家焙煎の香り豊かなコーヒーと
木のぬくもりにやされます。

● 本町 2-2-19 (水、第2火休)



珈琲職人 アルカト

踏切横の三角形の店。こだわりの自家焙
煎コーヒーをオリジナルの織部焼の器で。

● 本町 1-6-24 (月、火休)



晴屋

東久留米市で無農薬野菜、有機、
無添加食品を扱っています。

● 東本町 13-5 (無休 / 正月GW 盆休)



aju (アジュ)

ブーケ、アレンジメントなど、お客様の
ご要望にあわせておつくりいたします。

● 新川町 1-7-10 (不定休)



ヒンメリの会

フィンランドの“幸せを呼ぶ”麦わらの
装飾品ヒンメリを柳久保小麦で制作。

● 連絡先: プチ・フル 042-474-0139



南沢シュタイナー子ども園

生活の中で体験を通して学び、自主的
に実行できる自由なひとに育てます。

● 南沢 3-16-63



PURE HOUSE たけうち

有機野菜や安心な食材をお届け。
東久留米北口シリーズ、特産品販売店。

● 東本町 5-28 (無休)



浜中四郎 (ネイチャークラフト作家)

様々な木の実など自然の材料をつかい
動物を作ります。講師としても活躍中。

● 連絡先: 080-3083-7939

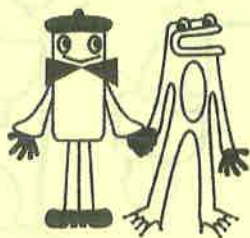


くにたち富士見台人間環境キーステーション

商店街、国立市、一橋大学、国立市民が
連携してまちづくりを行う団体です。

● 国立市富士見台 1-7-1

今回の収益は「東久留米市社会福祉協議会」に寄付いたします。ご協力ありがとうございました。



東久留米つながり・

活力まちづくり協議会事務局

マルシェを企画した「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」とは？

当協議会は、東久留米をいっそう住みやすく魅力あるまちにするために、市民がつながり、行動することを目的として、平成24年1月に設立しました。

平成24年度事業については、「東京都新しい公共支援事業 新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の助成を受けて実施しています。

【住所】 東久留米市本町 3-3-1 東久留米市役所 7 階

【時間】 月曜日～金曜日 (土日祝休) 午前9時～午後4時

【電話】 080-4836-4411 【メール】 shinkokyo@yahoo.co.jp

【HP】 <http://www.higashikurume-tsunagari.com/> 【twitter】 @hk_tunagari

クイズラリー もんだい

1 新東京百景に選ばれた竹林公園にはたくさんさんの孟宗竹が生えています。その数はおおよそ何本ぐらいでしょう。
A：1000本 B：3500本
C：2000本

2 この松は落雷によって枯れてしまいました。その子孫が現存しています。この松のよび名は？
A：おお松 B：笠懸の松
C：みの掛け松

3 落合川に住んでいる模様のあるドジョウの名前はホトケドジョウと言いますが、地元では別名で何と呼ばれているでしょう？
A：おじドジョウ
B：おとドジョウ
C：おはばドジョウ

4 多聞寺の山門のすばらしい彫刻は、木を江戸に運んで彫刻してもらいました。江戸までどうやって運んだのでしょうか？
A：象が鼻で運んだ B：落合川に木を流して運んだ C：馬が引いて運んだ

5 南沢水辺公園の時計は何の力で動いていますか？
A：水力 B：風力 C：太陽電池

6 氷川神社では4年に1度「南沢〇〇舞」があります。「〇〇舞」とは何でしょう？
A：獅子舞 B：巫女舞 C：太鼓舞

7 落合川の南沢湧水はおおよそ1日に1万トンもの水量があります。1万トンの水は小学校の25mプール約何杯分になるでしょう？
A：約20杯
B：約30杯 C：約140杯

8 東京都の南沢浄水所には何本の井戸がほられていますか？
A：2本
B：7本 C：4本

9 南沢通り、多門寺隣の食料品店脇に、まだまだ現役、懐かしい丸型郵便ポストに出会えます。いつごろ作られたでしょう。
A：大正 B：明治 C：昭和

10 東久留米の西口から市役所の前をまっすぐ続くまろにえ富士見通りにないものは何でしょう？
A：コンビニ
B：信号
C：電柱

東久留米つながり・活力まちづくり協議会の第1部会では「食チーム」が柳久保小麦を使った新しい食品を開発しています。それは何でしょう。
A：東久留米の地ビール（柳久保小麦入り） B：東久留米の新しい麺（柳久保小麦入り）
C：東久留米の名物饅頭（柳久保小麦入り）

ハイズラール ごたえ

その数はおよそ何本くらいでしょう。

C：約2000本

★この竹の種類は孟宗竹といわれるものです。種名は冬に母の為に寒中筍を掘り採った三国時代の人物、孟宗に因んで付けられたそうです。

松の名前は「笠懸の松」

★平安時代の六歌仙・在原業平が東下がりの際に藤原家の矩花鳥と落ち合ったという伝説もあるそうです。

★そばにあるお堂は大きな観音堂だったそうです。あたりは広く馬を飾って走らせたということです。

ドジョウの名前は？

C：おははドジョウ

★口ひげは4対（8本）お腹が赤いのが特徴で、水温の低い落合川や湧水が出るところに生息し、絶滅危惧種に指定されています。

江戸までどうやって運んだのでしょうか？

B：落合川に木を流して運びました。

★落合川はスボーツセンター近くで立野川と合流します。そして東久留米の北側を流れる黒目川とも合流します。東久留米を流れる「黒目川」は以前「くるめ川」と呼ばれていました。

南沢水辺公園の時計は何の力で動いていますか？ C：太陽電池

★このあたりはかつて氷川神社の鎮守の森でした。1度は住宅が建ち川の直線化も計画されたところです。自然景観を取り戻そうと市民ボランティアの方達ががんばっています。

「〇〇舞」とは何でしょう？ A：獅子舞

★獅子舞は4年に一度秋季例祭に合わせ奉納されています。氏子（南沢氷川神社）と檀家（多聞寺）という関わりで両社に奉納するめずらしいものです。江戸時代から伝わる伝統芸能です。

★次回は来年平成25年10月中旬の予定。

25mプールの約何杯分になるのでしょうか？

B：約30杯（幅12m×長さ25m×深さ1.2mとすると）

★東久留米の名水は平成20年には環境省による「平成の名水百選」に東京都で唯一選ばれました。広大な武蔵野台地の中でも湧水量の豊富な地域として知られています。

★市民ボランティアの方達が環境保全のために活動しています。

南沢浄水所には何本の井戸がほられていますか？ C：4本

★300m地下から4本の井戸を使って水をくみ上げています。その水を東村山浄水場の水と合わせて配水しています。自然環境が破壊されると井戸の汲上量も減少する可能性があります。自然を守り、節水に心がけましょう。

まろにえ富士見通りにないものは何でしょう？

C：電柱

★駅からまろにえ富士見通りをとおり、小金井街道まで順次電線を地下に埋める計画です。その地市内で電線の無い箇所は新所沢街道の南町あたり、滝山東の信号から滝山方面に向かった道路の北側の一部（前沢3丁目）等

柳久保小麦を使った新しい食品を開発しています。それは何でしょう。

B：東久留米の新しい麺（柳久保小麦入り）

★麺の名前は部会の方、つながり隊のみなさんから応募頂き付けられます。2月17日「たまろくとこ当地グルメフェスティバル」をお楽しみに！

丸型郵便ポストに出会えます。いつごろ作られたでしょう？ C：昭和

★昭和37年に設置されました。もう一つは同じ南沢通り、酒屋さんの前にあります。探してみてください。

カインラリーin落合川・南沢湧水

スタート

竹林公園～

多聞寺
黒松峠～

いじいの水辺～

多聞寺
山門～

南沢水辺
公園～

氷川神社

南沢緑地保全地域
南と南沢湧水群

南沢湧水所

南沢通り

まろにえ
富士見通り～

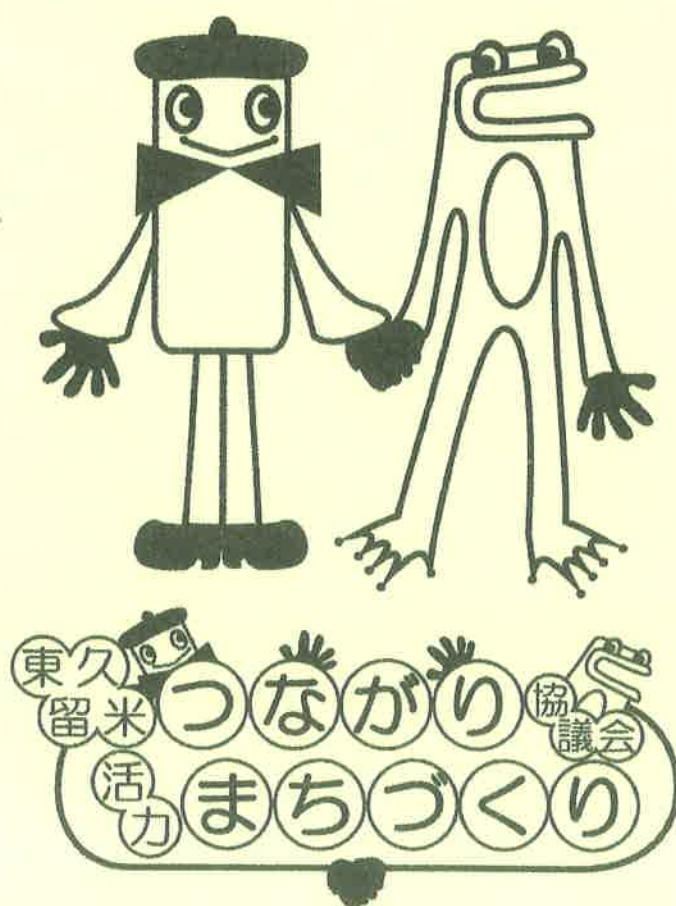
お腹がすきました
このまちカトルス～

上カサリ

カトル

東久留米つながり・活力
まちづくり協議会で柳久保
小麦を使った新しい食品
を開発しています。
2月17日(日)
・場所まろにえホール
「たまろくとご当地カトル
フェスティバル in くろめ」
で試食できます。
をうご期待！！！！

市民の手による市民意向調査 地域活動アンケート報告書・概要版



東久留米つながり・活力まちづくり協議会

調査期間：2012年7月～9月

市民の手による市民意向調査 地域活動アンケート報告書・概要版

調査実施の概要

1. 調査目的

この調査は、「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」の4つの部会のうち「市民への地域活動意識調査部会」が行う「団塊世代を中心にした地域活動意識調査」として実施した。

団塊世代を中心とする市民が、日常生活や生活設計の中で、地域活動への参画についてどのような意識を持っているのかを把握し、また、「市民つながり隊」への参加意思のある市民を把握することを目的とした。

2. 調査設計

- | | |
|-------|---|
| ■調査地域 | 東久留米市内全域 |
| ■調査対象 | 市内在住、市内で活動する団体に属する団塊世代前後を中心とした市民 |
| ■調査方法 | 「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」の構成員等が知り合いのグループや近所の人たち、または“市民プラザ夏祭り”の来場者へ直接配布、調査協力者が自記入後、郵送回収。 |
| ■調査時期 | 2012年7月～9月 |
| ■回収票数 | 322票 |

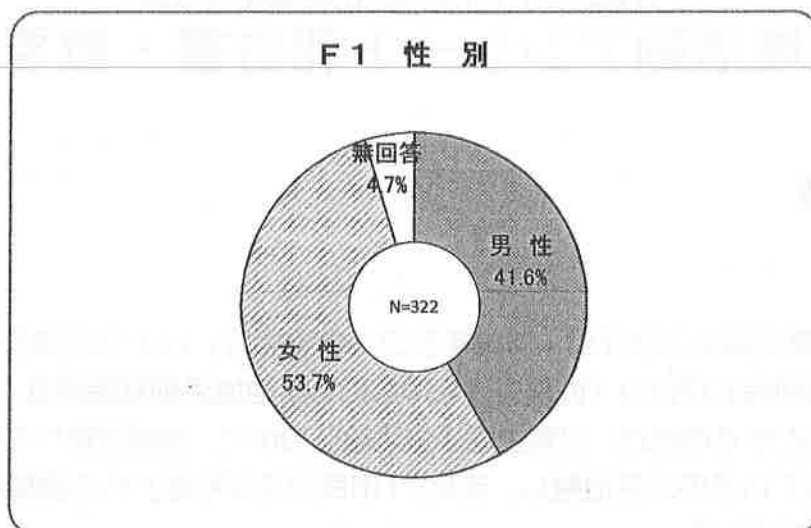
3. 調査項目

- (1) 地域における活動について
- (2) 「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」について
- (3) 東久留米のブランド商品について（自由回答）
- (4) 東久留米の地域課題について（自由回答）
- (5) 調査対象者の属性

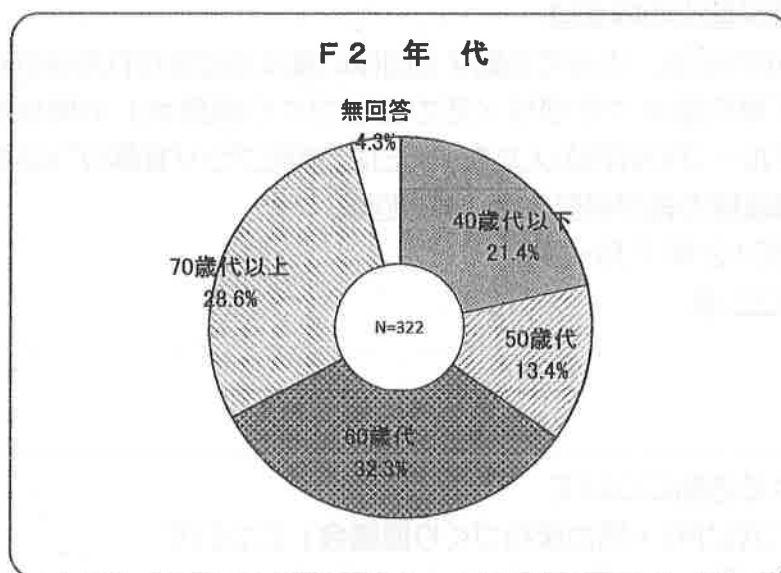
※・図表中の「N」は回答者総数を示し、回答率(%)は「N」を100%としたものである。
・回答率(%)は、少数第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合がある。

1 本調査対象者の属性

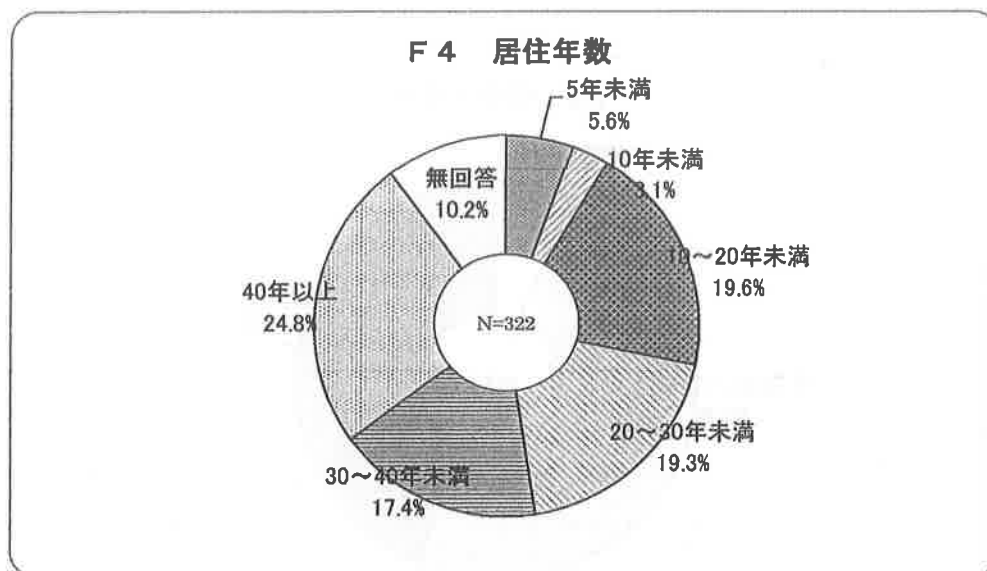
(1) 性 別



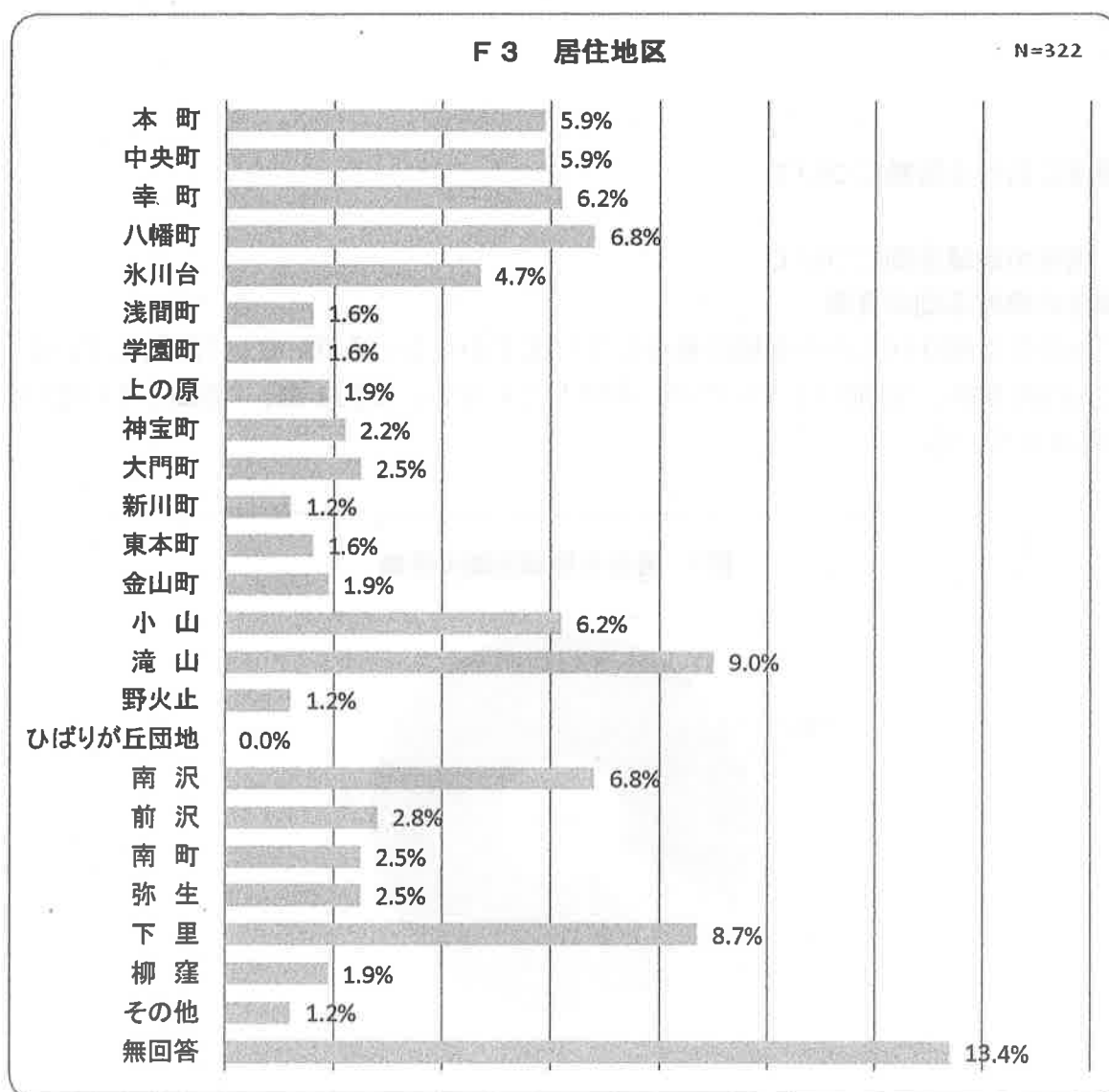
(2) 年 代



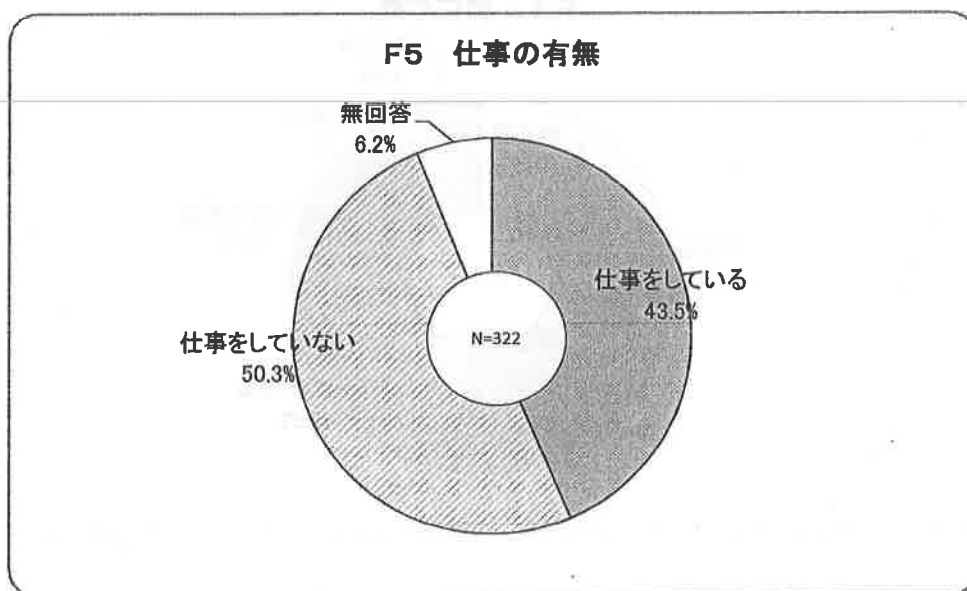
(4) 居住年数



(3) 居住地区



(5) 仕事の有無

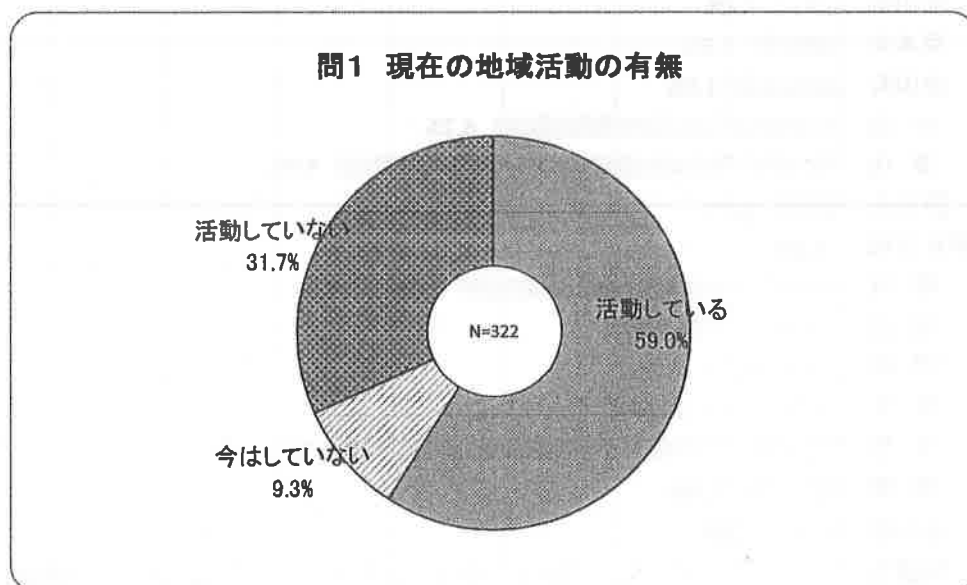


1. 地域における活動について

(1) 現在の地域活動について

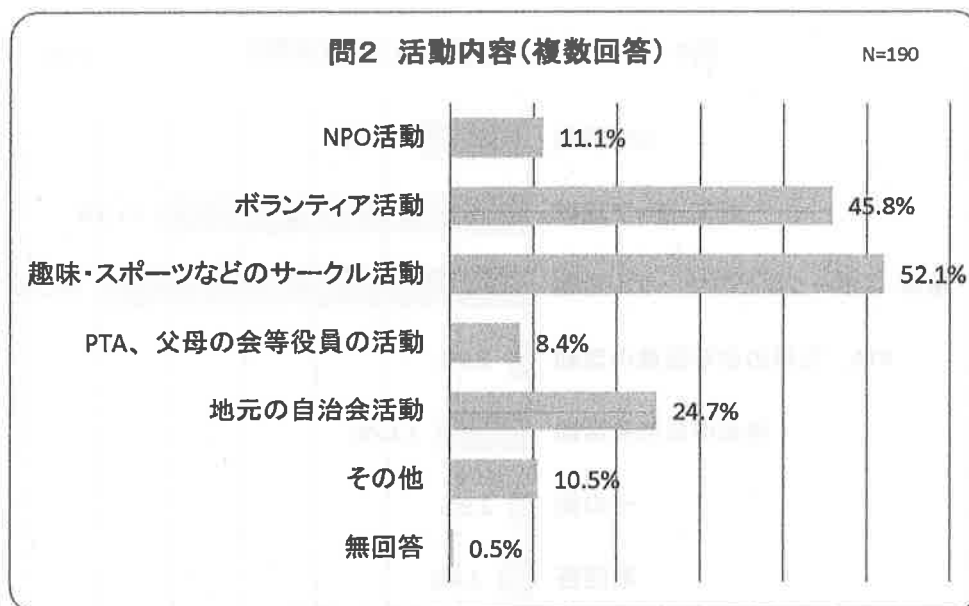
①現在の地域活動の有無

「あなたは現在何らかの地域活動をしていますか」という問いに、「活動している」と答えた人は約6割、「以前はしていたが、今はしていない」は約1割、「活動していない」は約3割となっている。



②活動内容

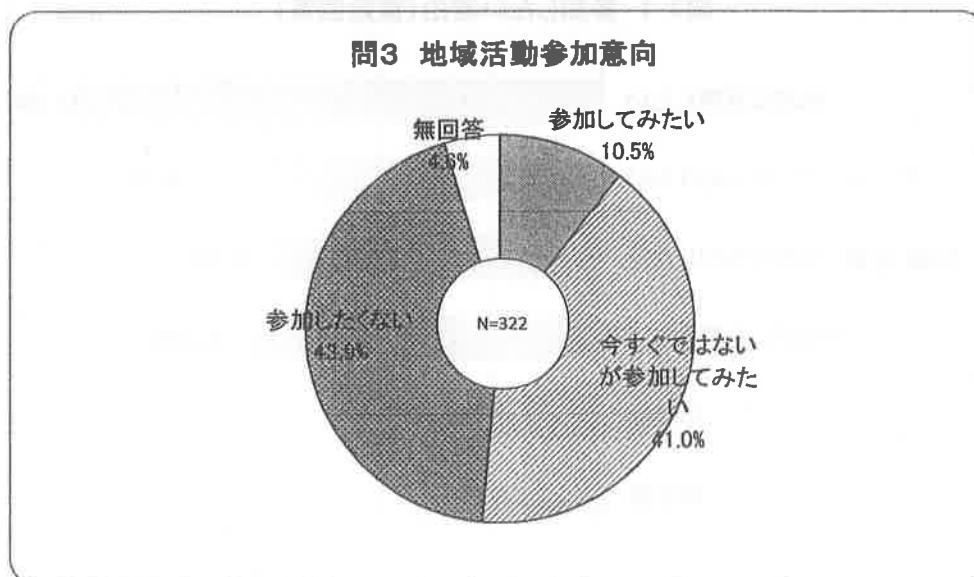
問1で「活動している」と回答した人（190人）にたずねた活動内容は、「趣味・スポーツなどのサークル活動」が最も高く5割強、「ボランティア活動」が46%で続いている。次に「地域の自治会活動」が約4分の1となっている。



(2) 今後の地域活動について

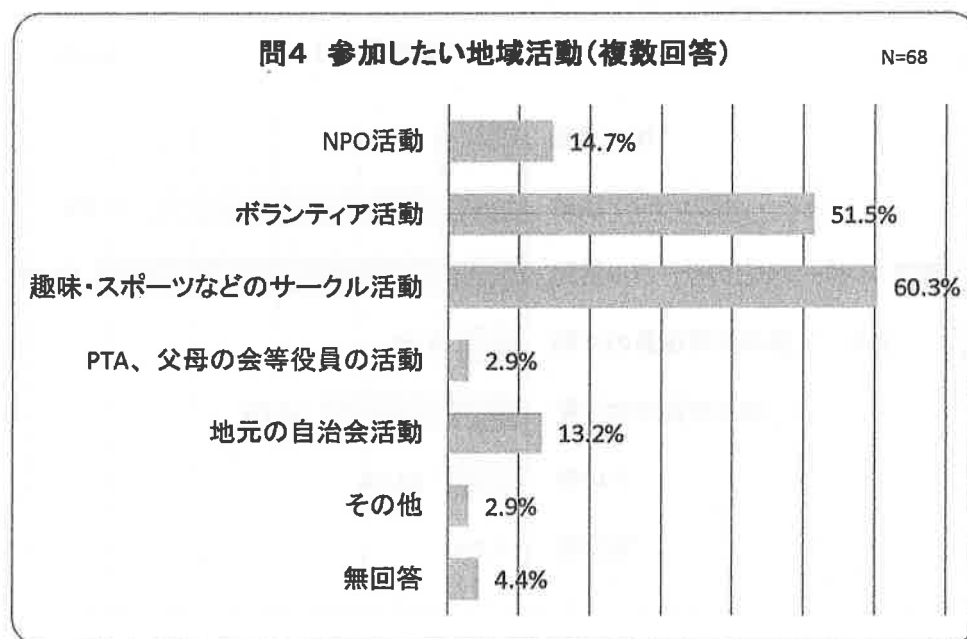
①地域活動参加意向

問1で「以前はしていたが、今は行っていない」「活動していない」と回答した人（132人）にたずねた今後の地域活動参加意向は、「参加してみたい」が約1割、「今すぐではないが参加してみたい」が約4割を占め、参加意向のある人は約半数を占めている。「参加したくない」は4割強となっている。



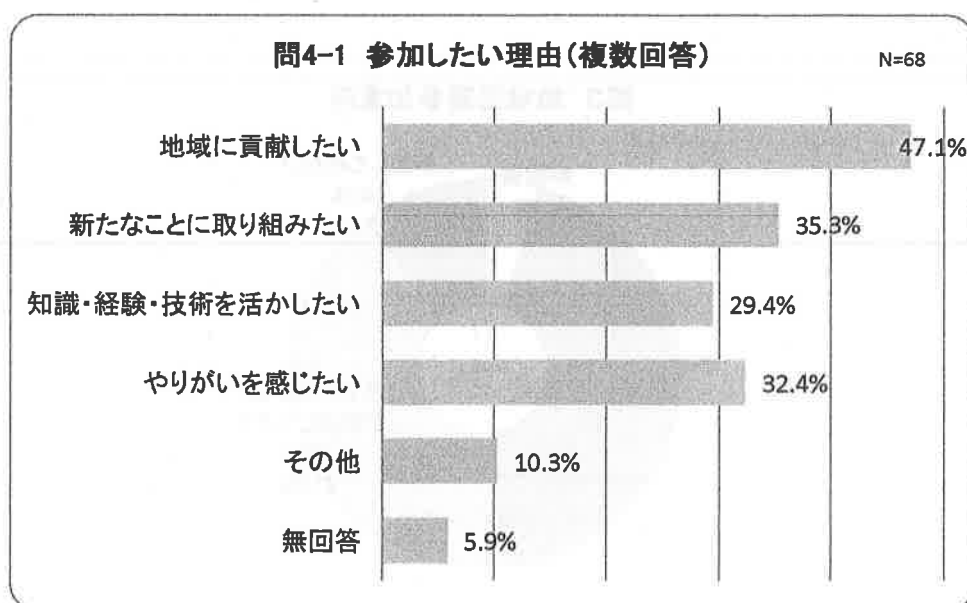
②参加したい地域活動（問4）

問3で「参加してみたい」と「今すぐではないが参加してみたい」と答えた人（68人）にたずねた、今後、参加したい地域活動は、「趣味・スポーツなどのサークル活動」が最も高く約6割、次いで「ボランティア活動」が5割を超えている。



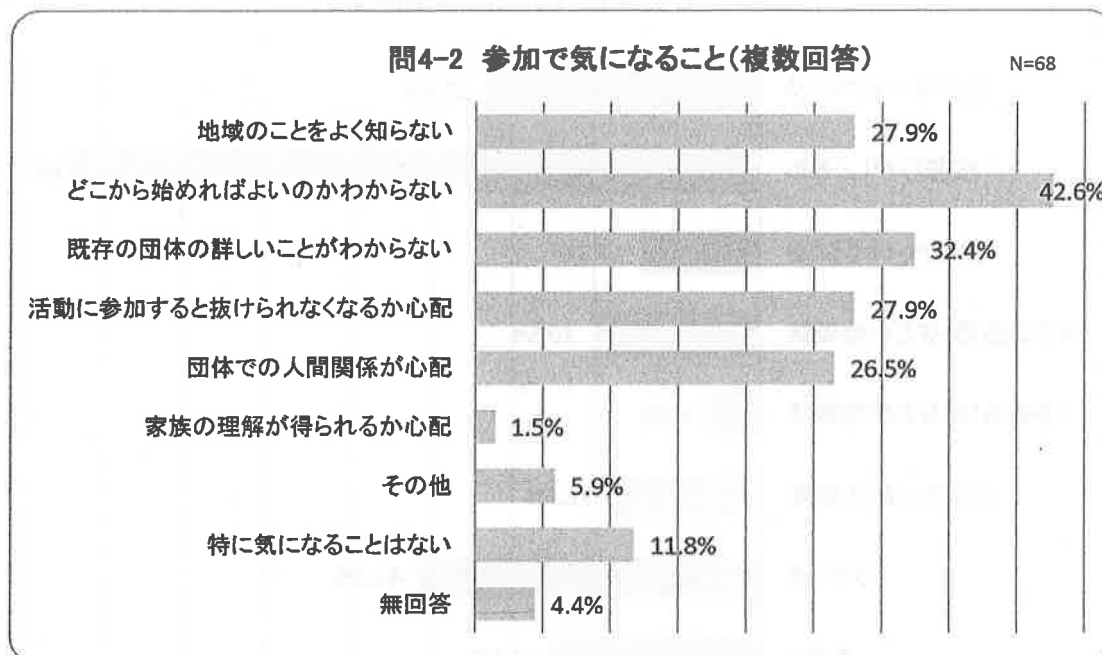
③地域活動に参加したい理由（問4-1）

地域活動に参加したい理由は、「地域に貢献したい」が最も高く半数近くを占めている。次いで「新たなことに取り組みたい」「やりがいを感じたい」「知識・経験・技術を活かしたい」でそれぞれ3割前後となっている。



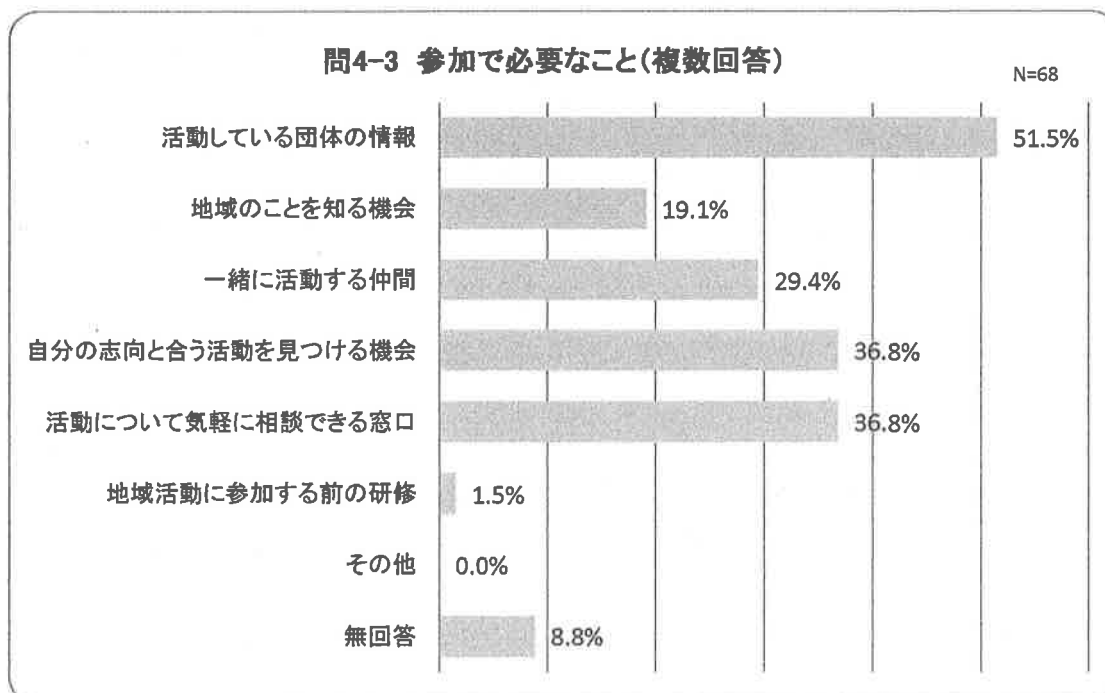
④地域活動参加で気になること(問4-2)

地域活動参加で気になることは、「どこから始めればよいのかわからない」が最も高く4割強を占めている。以下、「既存の団体の詳しいことがわからない」が3分の1、「地域のことをよく知らない」「活動に参加すると抜けられなくなるが心配」「団体での人間関係が心配」でそれぞれ4分の1強となっている。



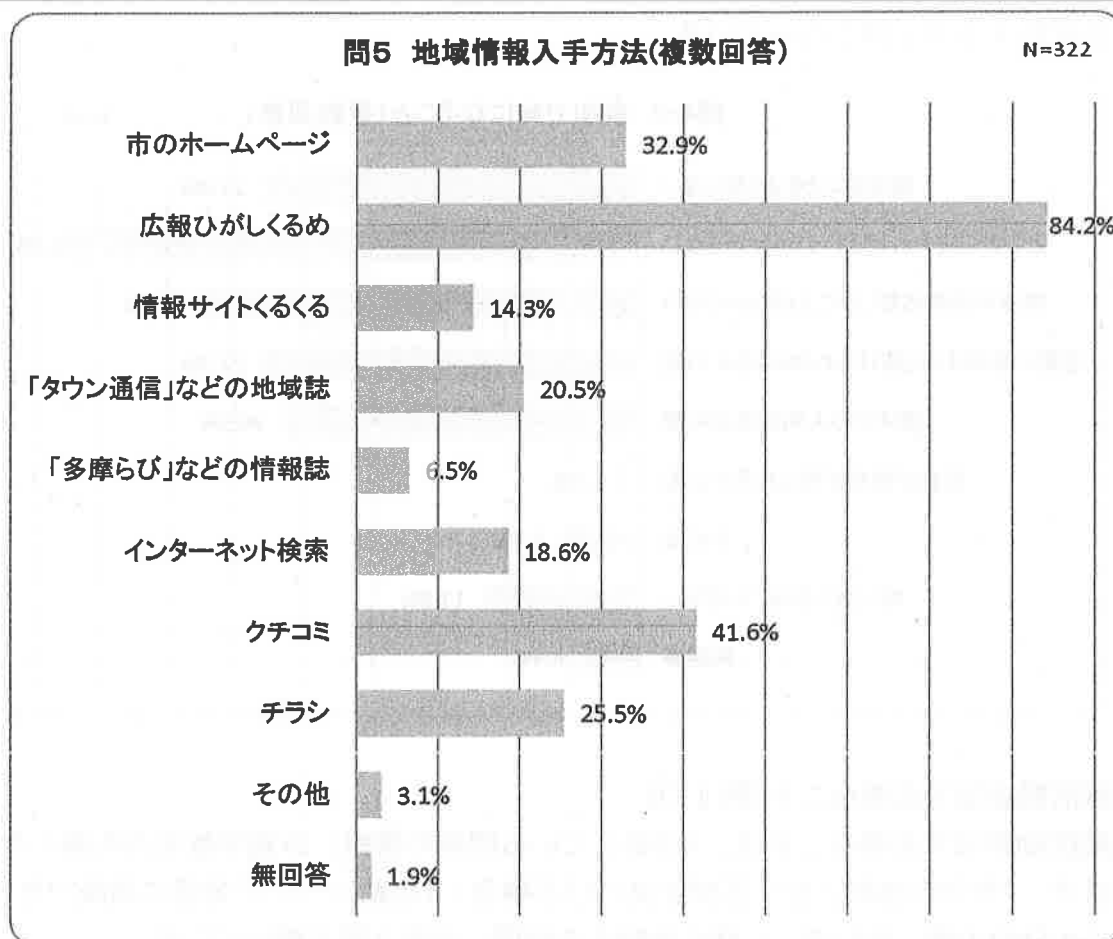
⑤地域活動参加で必要なこと(問4-3)

地域活動参加で必要なことは、「活動している団体の情報」が過半数を占め高くなっている。以下、「自分の志向と合う活動を見つける機会」「活動について気軽に相談できる窓口」が共に3分の1強、次いで「一緒に活動する仲間」が約3割で続いている。



(3) 地域情報入手方法

調査対象者全員に尋ねた東久留米の地域情報の入手方法は、「広報ひがしくるめ」が8割強を占め特に高くなっている。以下、「クチコミ」が約4割、「市のホームページ」が3分の1、「チラシ」が4分の1で続いている。

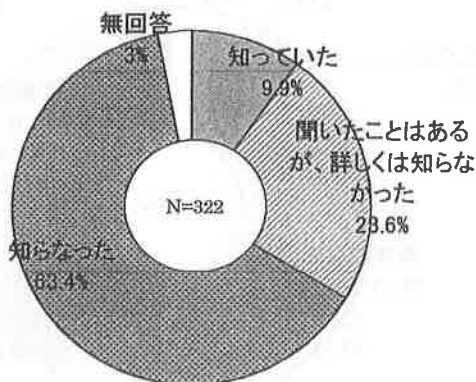


2. 東久留米つながり・活力まちづくり協議会について

(1) 「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」の認知状況

「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」の認知状況は、「知っていた」が約1割、「聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった」は2割強、「知らなかった」が3分の2近くを占めている。

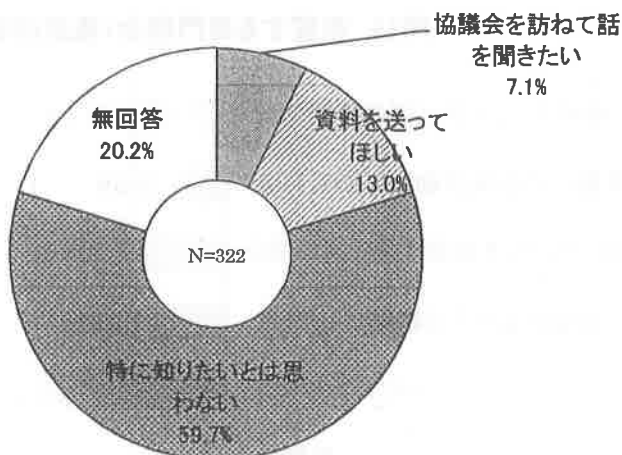
問12 「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」
認知状況



(2) 「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」の情報希望状況

「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」の情報希望状況は、「協議会を訪ねて話を聞きたい」「資料を送ってほしい」は共に1割前後、「特に知りたいと思わない」は約6割となっている。(無回答の中に「自分で調べてみる」というコメントが複数みられた。)

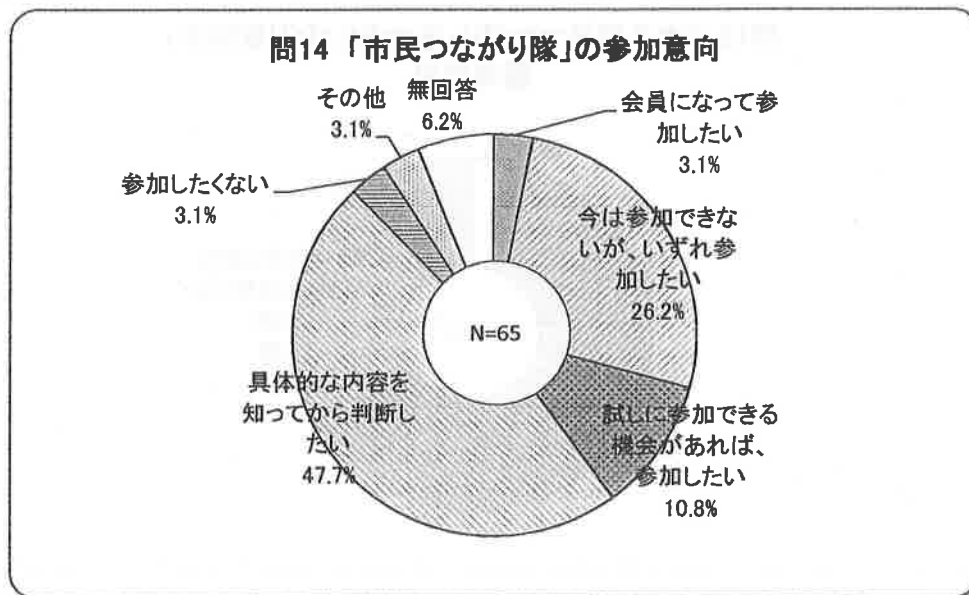
問13 「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」の
情報希望状況



(3)「市民つながり隊」の参加について

①「市民つながり隊」の参加意向

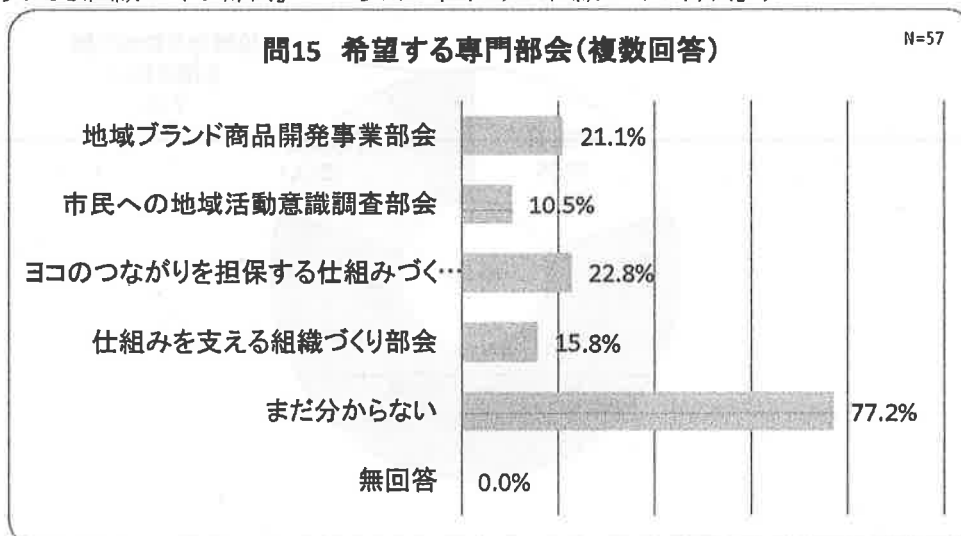
問 13 で「協議会を訪ねて話を聞きたい」「資料を送ってほしい」と回答した人 (65 s) にたずねた、「市民つながり隊」の参加意向は、「具体的な内容を知ってから判断したい」が最も高く半数近くを占めている。次いで「今は参加できないが、いずれ参加したい」が4分の1強となっている。



②希望する専門部会

問 14 で「会員になって参加したい」「今は参加できないが、いずれ参加したい」「試しに参加できる機会があれば、参加したい」「具体的な内容を知ってから判断したい」と回答した人 (57 s) にたずねた、希望する専門部会は、「ヨコのつながりを担保する仕組みづくり部会」(22.8%)と「地域ブランド商品開発事業部会」(21.1%)が共に2割を超え高くなっているが、「まだ分からない」が77.2%と8割近くを占めている。

※現在、3部会の名称は次のようになっている。「地域ブランド商品開発事業部会」→「地域ブランド開発部会」、「ヨコのつながりを担保する仕組みづくり部会」→「情報システムづくり部会」、「仕組みを支える組織づくり部会」→「参加の仕組み・組織づくり部会」)



3. 自由回答について

(1) 東久留米のブランド商品について

①知っている東久留米の特産品やブランド品

柳久保小麦製品（うどん、かりんとう、まんじゅう、パン、クッキー、）梅うふふ（ワイン）、清酒ひがしくるめ、野菜があがっている。

※「柳久保」を地名の「柳窪」を間違えて記述しているものも多数見られた。

②お薦めの特産品やブランド品

うどん、かりんとう、まんじゅう、梅うふふ（ワイン）等があがっている。

(2) 東久留米の地域資源について

①東久留米の地域資源

湧水、落合川と黒目川（散歩コース）、自然環境、柳久保小麦、緑、農産物等が主にあがっている。

②ブランド商品として開発すると良いもの

湧水を利用した飲料水・加工品、湧水を利用した観光スポット、野菜や果物等の農産物などが主にあがっている。

(3) 東久留米の地域課題について

①地域課題や解決したいこと

「自治会の組織率の低下」「近所との関わりが薄い」といったコミュニティの問題、「高齢者が多くなった」「一人暮らしの高齢者が増えた」「若い世帯が少ない」といった高齢化問題、「子どもを遊ばせる場所が少ない」「保育園、学童保育が足りない」といった子育て環境の問題、「道路が狭い」「コミュニティバスがほしい」といった交通インフラ問題も多くあがっている。さらに、緑や水の管理、保護の問題、行政への多岐に渡る注文も多くあがっている。その他に、ゴミ、騒音、ペット等に関する市民のマナーについてもあがっている。

②東久留米が魅力的になるため必要なこと

「近所や地域とのつながりが持てるような催し」「お年寄りから子供まで世代間の交流が図れるようなイベント」といったコミュニティの活性化が必要といった声が、そして落合川や黒目川等の自然保護が必要という声が特に多くあがっている。

また、東久留米のことを全国に発信するようなPR・情報発信、住民一人ひとりの思いやりの気持ちを持つこと、さまざまな施設の整備、行政への要望が多くあがっている。

東久留米のふれあい情報サイト くるくるチャンネル

登録団体情報

イベント

活動紹介

くるくる写真館

くるくる便利帳

ひがしくるめ名産・観光BOX

登録団体・市民レポーター向け
マニュアル

登録団体ログイン

ユーザーID パスワード ☐ ログイン状態を保存する

ログイン

協賛企業のご案内



イベント

- 写真展開催中【東久留米写真同好会】
- 東久留米写真同好会写真展 開催中【東久留米写真同好会】
- さんぽ＆自然観察 ～南沢の春を楽しむ～【さんぽ＆自然観察の会】
- FCフロンテ東久留米戦 実況中継!! (4月7日)【NPO法人FMひがしくるめ】
- カフェセミ写真展【写真東久留米】
- 親子deリミック&えいご絵本読み聞かせ4月イベントのお知らせ【親子deリミック&えいご絵本読み聞かせ】
- カフェセミ写真展【落合川清掃ボランティアグループ】
- 【ミュージックトラベル】レコード/CD「ライブ音源特集」【ミュージックトラベル】
- バスで行く被災地支援 ～地域と地域の交流～【地域情報お知らせ隊～くるくる「かんたん登録」団体の情報発信ページ～】
- 第6回CCコンサート 映画音楽特集【東久留米市西部地域センター】

一覧へ

活動紹介

- まちサボ通信 第27号発行【東久留米まちづくりサポートセンター】(2013.04.04)
- ★平成25年度登山計画★【深山会】(2013.04.03)
- 第10回ウィングスカップフットサル大会【ウィングスカップフットサル実行委員会】(2013.04.01)
- 美友会 料理教室3月例会～25【美友会(料理)】(2013.04.01)
- 団体活動紹介ページのご案内【東久留米のふれあい情報サイト くるくるチャンネル】(2013.03.27)

一覧へ

くるくるプレス

- “かるたdeくるめ” 子供たちが東久留米をかるたにしました (2013.03.29)
- 都会の夜景 (2013.03.29)
- 西武園遊園地 イルミネーション (2013.01.22)

一覧へ

当サイトからのお知らせ

- ◎ 入力サポートへいらしてください ●◎ (2013.04.04)
- ★ ログイン前・ログイン後の画面の見分け方 ★ (2013.04.03)
- 【重要】パスワードの入力にお困りの方へ (2013.04.03)
- 東久留米のふれあい情報サイト「くるくるチャンネル」Open! (2013.03.27)
- 旧「くるくる」をブックマーク(お気に入り)に登録されている方へ (2013.03.27)

一覧へ



かるた de くるめ

ひがしくるめを「かるた」にしよう!!

日 時：平成25年3月10日（日）
午後1時30分～（受付1時から）
場 所：成美教育会館 3F大研修室
申込み：裏面をごらんください!

東久留米で

あなたが

思い出の

お気に入りの

おすすめの

自慢したい

場所
もの
こと

かるたに
しよう!!



かるたができれば、かるた大会!
賞品はどのチームに?

主 催：東久留米つながり・活力まちづくり協議会
HP <http://www.higashikurume-tsunagari.com/>
メール shinkokyo@yahoo.co.jp
問い合わせ：協議会事務局 Tel 080-4836-4411
月曜日～金曜日（土・日・祝＝休み）午前10時～午後4時

もう食べた？
 つるつる
 モチモチ
 TOKYO
 ひがしくる麺



みんなの
 こえで
 みずと
 みどりの
 まちおこし



ネット
 ねとで
 みよう
 たのしいじょうほう
 (情報)
 くるくる
 ちんぷん



まぢぐり
 おもいあつめた
 つながりたい



市民つながり隊 募集チラシ

2012年 6月
2012年 7月
2012年 8月
2012年 9月
2012年10月
2012年11月
2012年12月
2013年 1月
2013年 2月

主催：東久留米つながり・活力まちづくり協議会

新しい公共の場づくりのためのモデル事業

第1回

市民セミナー開催のお知らせ

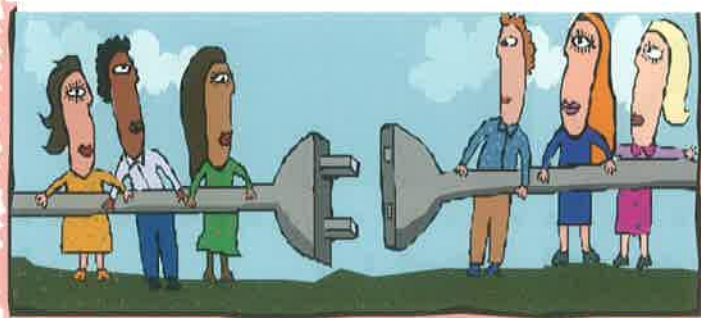
東久留米市民つながり隊 大募集中！！

東久留米つながり・活力まちづくり 市民セミナー開催！

「こんなのがほしかった！」市民一体型の協議会がスタートします！

東久留米の課題を、市民の目線で、市民みんなで解決していく「場」、それがこの協議会です。行政・NPO・企業等の枠組みを超え、みんなが市民の一員として集まり、「活力のあるまちづくりを！」を合言葉につながり支え合う。緑溢れる活力ある東久留米を考える第一歩としてセミナー第1弾を開催いたします。

是非！多くの皆様のご参加をお待ちいたしております！

みんなでつながろう！！**セミナー「新しい公共のもとで」****講師：亜細亜大学経済学部****教授 菊池 威**

プロフィール：

専門：財政学、租税論、都市財政論他

東久留米市第4次長期総合計画基本構想審議会会長、武蔵野市社会教育審議会議長、三鷹市民大学講師 等

近著「田園都市を解く～レッチワース行財政に学ぶ～」技報堂

～開催日：平成24年3月24日(土)～**お問合せと申込み先：080－4836－4411(事前申込)****開催時間：午後2時～午後4時****場所：東久留米市役所7階 701会議室****参加：無料・定員100名(当日の受付もできます)****ー「東久留米市民つながり隊」大募集ー**

市民みんなが支えあい、つながり合う

「東久留米市民つながり隊」を結成！

詳細は当日会場で！！

事務局：東久留米つながり・活力まちづくり協議会 会長 桑原 芳夫

東久留米つながり・活力まちづくり協議会

■ 事業の主旨と目的：

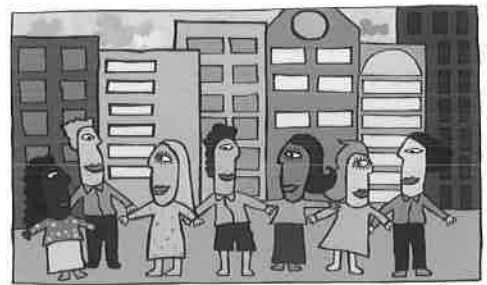
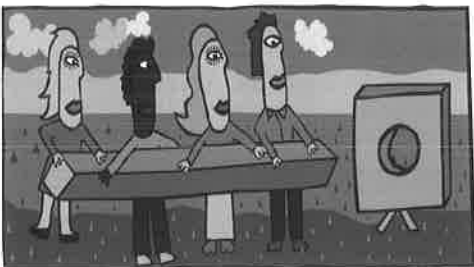
市内には、さまざまな市民活動体があります。まちづくりを進めていくためには、もっと多くの活動体同士がヨコにつながり、情報の共有化、皆が参加できる場を広げていく必要があります。「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」は、気軽に市民だれでもが集まれる「場」を創り、地域の課題を解決する「東久留米市民つながり隊」を結成したいと立ち上がりました。そのスタートとして、東京都の「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の助成を受け、市民みんなで事業を進める中で、今まで知らなかった市民同士が「つながり」「支えあい」、持続的で発展性のある自立した組織ができたなら、もっと楽しい東久留米になるのではないかな。このモデル事業が終了しても、継続して地域課題に取り組むネットワークや仕組みができ、そしてつながりの輪が広がり、地域の推進力になることを目的にしています。

■ 具体的モデル事業のための内容

- ①地域資源商品開発事業
- ②地域活動促進のための意識調査
- ③ヨコのつながいを担保する仕組みづくり
- ④仕組みを支える組織づくり

■ 協議会体制

東久留米まちづくりサポートセンター（まちさぽ）・東久留米の団塊世代ネットワーク（団塊くるねっと）・東久留米市コミュニティサイト運営委員会（ふれあいサイトくるくる）・学校法人亜細亜大学（地域研究会）・（株）富士通総研・（株）プラスワン・ルネ国際研究所・東久留米市地域産業推進協議会・東久留米市



「東久留米市民つながり隊」結成！！

結成主旨

まちのこと、地域のこと、色々な事を思っても話ができる場が少ないという声があります。新協議会はその声を聞き話し合う「場」を創ります。一緒に考えていくのはこのまちに住む私たち市民。それが「東久留米市民つながり隊」です。市民みんなが、つながり・支えあうことによって、できなかったことができるようになる！ 新協議会は4つの具体的モデル事業を共に推進してくれるパートナー（＝つながり隊）を募集しています。セミナー当日には、詳しいお話もさせていただきます。どうぞ、新たな東久留米らしいまちづくりを一緒に推進しましょう！ ご家族やご友人にもお声を掛けて頂き、それぞれの立場でそれぞれの発想で、アイデアや意見を出し合えたら、もっと楽しいまちができるのではないのでしょうか！？

市民みんながつながり、活力あるまちをつくりましょう！

登録は東久留米つながり・活力まちづくり協議会まで

東京都新しい公共の場づくりのためのモデル事業
主催：東久留米つながり・活力まちづくり協議会

ご参加ください！

市民つながり隊 旗揚げ式開催!!

6月3日(日) 午後1時30分～4時30分

東久留米つながり・活力まちづくり協議会では、わがまちをより良くしたい、もっと知りたい、地域ブランドからまちおこしを進めたい、といった、多くの市民の思いをつなげ、東久留米のつながり・活力あるまちづくりを担う「市民つながり隊」を募集しています。

このたび、つながり隊の旗揚げ式として、まちづくりの専門家を交えての第1回わくわく講座を行います。皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

■旗揚げ式では、こんなことをします！

市民は仲間

お互いを知ろう！

まちを知ろう！

まちを楽しもう！

みんな

**このまちで
つながろう！**

第1回わくわく講座 市民つながり隊「旗揚げ式」開催

- ・ 6月3日(日) 午後1時30分～4時30分
- ・ 成美教育文化会館(東久留米市東本町8-14) 3階 大研修室
- ・ 事前申込をお願いします。5月31日(木)午後4時までに

事前にお申込み
ください！

☎080-4836-4411(協議会事務局) へご連絡下さい。

東久留米つながり・活力まちづくり協議会 ってなあに？！

東久留米の魅力を、市民目線で話し合い、引き出し、プロデュース！
「日々楽しい！」が生まれるまち・東久留米を合言葉にみんなが集う場です。

「わくわく講座」は全4回コースです。2回目以降の予定は以下のとおりです。

2回目:6月17日(日)午後

グループ作り、地域資源探し

3回目:7月 8日(日)午後

地域ブランドの企画作り(骨子案)

4回目:7月14日(土)午後

地域ブランドの企画作り、成果発表会準備

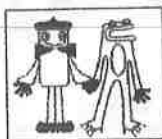
□成果発表会:7月22日(日)市民プラザまつりで地域
ブランド企画の発表・展示

協議会の各部会のご案内

(協議会には4つの部会があります)



わたしが
協議会長の
桑原 芳夫です！



インタビュー

- ①部会ではこんなことをしていま～す
- ②つながり隊にひとこと！
- ③今後のスケジュール

地域ブランド商品開発事業部会



部会長の 斎藤 正人 です
趣味は…ゴルフ、まち散策

- ①市民のみなさんからのアイデアを地域ブランドに具体化していくのはもちろん、既存ブランド商品の拡大をめざしていきたいと思っています！
- ②大好きな東久留米と一緒に「地域ブランド」盛り上げましょう！
あなたのそのアイデアが東久留米の顔になるかもしれません！！
- ③毎月一回程度の専門部会を開催予定
2013年2月のイベントでのお披露目をめざしています！！

市民への地域活動意識調査部会



部会長の 石川 敬です
趣味は…健康麻雀・カラオケ
「明るく・楽しく・気持ちよく」が
モットーです…。

- ①市民の皆さんの地域活動に関する意識調査をします。
- ②多くの方に地域デビューをしていただく
為に意識調査と一緒にやっていただける方
大歓迎！！
- ③6/29(金)調査のための研修会をやります。
・10:30～11:30 / 13:30～14:30
(内容はどちらも同じです)
・場所 東久留米市役所 601会議室
ぜひご参加を…！



つながり隊に参加して
あなたも地域で活躍の場を見つけてみませんか？

ヨコのつながりを担保する 仕組みづくり部会



部会長の 佐山 幸治 です
趣味は…歩くこと
地球一周4,000kmの旅途中です

- ①協議会の議論を踏まえてより充実した「市民サイト」構築をめざします。
- ②東久留米のことならなんでもわかる！
市民サイトづくりに力とアイデアをください。
- ③協議会HPや「東久留米のふれあい情報サイト
「くるくる」を通じて発信をしていきます。

仕組みを支える組織づくり部会



部会長の 田中 直子 です
趣味は…読書！
と言いたいところですが目下
ボランティア活動でんこ盛り状態！

- ①市民の思いをつなぐ「市民つながり隊」の
コーディネーターです♪
また参加の仕組みづくりや協議会の組織づくり
もやっています。
- ②お困りごとをなんとかしたい！
東久留米ならではの資源や宝を活かした
こうした思いを持ち寄り、共に活動して
住み続けたいわがまちにしていきたいと思います！
- ③ただ今「市民つながり隊わくわく講座」
(第3回)7月8日(日)(第4回)7月14日(土)
いずれも午後1時30分から市役所701会議室にて
開催です。楽しいわくわくのひと時をご一緒に！

みんなでつくる東久留米
どの部会も楽しそうだね～
ご応募おまちしていま～す



Twitterもあるんだよ
(@hk_tunagari) on Twitterを
フォローしてみよう

ケロケロ～

東久留米つながり・活力まちづくり協議会

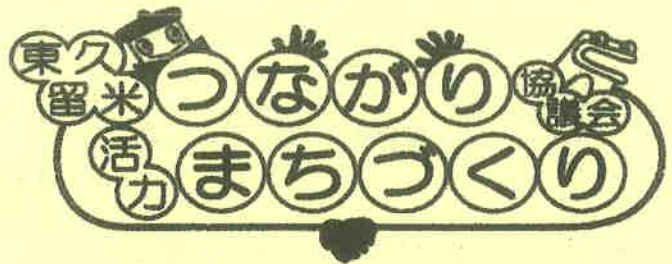
市民つながり隊 募集!!

わがまちについてもっと知りたい!

地域資源を生かして市内の産業を支えたい!

このまちで暮らし続けたい!

そして…市民みんなでつながりたい!



さまざまな思いをひとつにまとめる「場」を提供し、市民のみなさんと一緒に活力のあるまちづくりをしたい! そんな思いが集まり「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」はスタートしました(詳しくは裏面をご覧ください)。

協議会は「活力あるまちづくり」を一緒に考え、共に活動するボランティア「市民つながり隊」を募集しております! つながり隊に参加して、あなたも地域での活躍の場を見つけてみませんか?

〇〇〇お問い合わせ先〇〇〇

東久留米つながり・活力まちづくり協議会事務局

【住 所】 東久留米市本町 3-3-1 市役所 7 階

【開設時間】 月曜日～金曜日
午前 9 時～午後 4 時

【電 話】 080-4836-4411

【メールアドレス】

パソコン用 shinkokyo@yahoo.co.jp
携帯用 hk_tsunagari@softbank.ne.jp

※事務局不在で電話がつながらない場合もございます。

ご了承ください(ˉ ˆ ˆ)

〇〇〇申し込み方法〇〇〇

メール・電話、もしくは下記の入会申し込み
用紙にご記入の上お申し込みください

メール・電話でのお申し込み方法は・・・

①参加したい専門部会名(裏面をごらんください)

②お名前 ③ご住所 ④電話番号

⑤メールアドレス をご記入のうえ

【shinkokyo@yahoo.co.jp】に送信してください

===== き り と り 線 =====

つながり隊入会用紙 (各部会の詳しい活動内容は裏面をご覧ください)

- ①参加したい専門部会の□に○をつけてください (いくつでも)
- | | |
|--|---|
| ☐ 地域ブランド開発部会 | ☐ 市民への地域活動意識調査部会 |
| ☐ 情報システム部会 | ☐ 参加の仕組み・組織づくり部会 |
| ☐ つながり隊に参加するが部会は考え中 | |

②お名前 _____

③ご住所 _____

④電話番号 _____

⑤メールアドレス _____

入会にあたりひとこと!

7月



会長の梶原 芳夫です！
部会の名称が変わります。
【 】内が新しい名称です！

インタビュー

- ・部会の様子
- ・今後のスケジュール

【地域ブランド開発部会】

(旧) 地域ブランド商品開発事業部会



【 部会長の 斎藤 正人 です。 】

第1回事業部会には多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。

いよいよ「新たな地域ブランド」の具現化に向けて動きだします！

第2回事業部会

日時：7月20日（金）19：00～

場所：市役所 602

市民への地域活動意識調査部会



【 部会長の 石川 敬 です。 】

6/29（金）に調査に関する説明会&研修会を行いました。

調査物品は7/10（火）に完成しますので、いよいよ調査をスタートします。

※調査期間 7/中旬～9/中旬を予定しています。

ご協力をよろしくお願い致します。

つながり隊に参加してあなたも地域で活躍の場を見つけてみませんか？

【情報システム部会】

(旧) ヨコのつながりを担保する
仕組みづくり部会

【 部会長の 笹山 孝治 です。 】

現在、担当者で新システムの素案作りをしています。

新しいサイトで市民に有益で喜んでいただける発信情報等についてご意見をいただけるような「場」を7月中につくりたいと考えています。

いずれご案内します。

【参加の仕組み・組織づくり部会】

(旧) 仕組みを支える組織づくり部会



【 部会長の 田中 直子 です。 】

第2回の「市民つながり隊 わくわく講座」では、地域資源を活かしてやりたいことを出し合い、似たもの同士でグループを結成。人や東久留米ならではのモノがつながる仕組みや場づくりの提案、マイナスの資源をプラスに変える提案など、大盛況！

第3回：7月8日（日）

第4回：7月14日（土）いずれも午後1時半から。市役所 701 会議室

ぜひご参加下さい！

みんなでつくる東久留米

ご応募おまちしてま～す！！

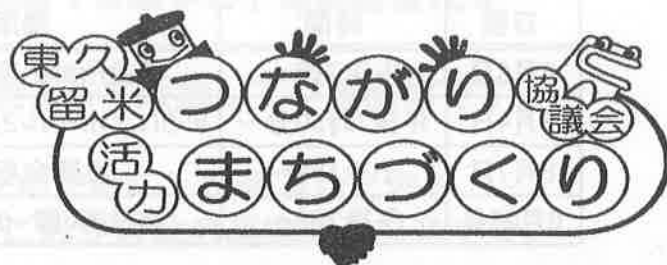


Twitter もあるんだよ

(Ohk_tunagari) on Twitter をフォローしてね♪

東久留米つながり・活力まちづくり協議会

市民つながり隊 募集!!



わがまちについてもっと知りたい!

地域資源を生かして市内の産業を支えたい!

このまちで暮らし続けたい!

そして…市民みんなでつながりたい!

さまざまな思いをひとつにまとめる「場」を提供し、市民のみなさんと一緒に活力のあるまちづくりをしたい! そんな思いが集まり「東久留米つながり・活力まちづくり協議会」はスタートしました(詳しくは裏面をご覧ください)。

協議会は「活力あるまちづくり」を一緒に考え、共に活動するボランティア『市民つながり隊』を募集しております! つながり隊に参加して、あなたも地域での活躍の場を見つけてみませんか?

〇〇〇お問い合わせ先〇〇〇

東久留米つながり・活力まちづくり協議会事務局

【住 所】 東久留米市本町 3-3-1 市役所 7 階

【開設時間】 月曜日～金曜日
午前 9 時～午後 4 時

【電 話】 080-4836-4411

【メールアドレス】

パソコン用 shinkokyo@yahoo.co.jp

携帯用 hk_tsunagari@softbank.ne.jp

※事務局不在で電話がつながらない場合もございます。

ご了承ください(ˉ ˆ ˆ)n

〇〇〇申し込み方法〇〇〇

メール・電話、もしくは下記の入会申し込み
用紙にご記入の上お申し込みください

メール・電話でのお申し込み方法は・・・

①参加したい専門部会名(裏面をごらんください)

②お名前 ③ご住所 ④電話番号

⑤メールアドレス をご記入のうえ

【shinkokyo@yahoo.co.jp】に送信してください

===== き り と り 線 =====

つながり隊入会用紙 (各部会の詳しい活動内容は裏面をご覧ください)

- ①参加したい専門部会の□に○をつけてください (いくつでも)
- | | |
|--|---|
| ☐ 地域ブランド開発部会 | ☐ 市民への地域活動意識調査部会 |
| ☐ 情報システム部会 | ☐ 参加の仕組み・組織づくり部会 |
| ☐ つながり隊に参加するが部会は考え中 | |

②お名前

③ご住所

④電話番号

⑤メールアドレス

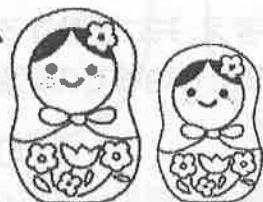
入会にあたりひとこと!

地域ブランド開発部会 8月スケジュール



日程	時間	場所	内容
8月3日	午後7時～	市役所6階 601会議室	食品グループ会議
8月4日	午後3時50分～	まろにえホール2階第4講習室	観光グループ会議
8月7日	午後1時～	協議会事務局	商品開発グループ会議
8月27日	午後7時～	市役所6階 602会議室	専門部会

地域のブランド商品開発・生産・販売・その支援を行う部会なのよ



どんな事をやるの？

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>



今までに...

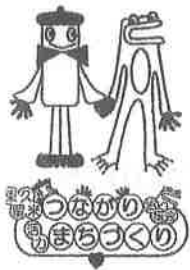
柳久保うどんの販促イベント・東久留米産野菜販売会のPR・柳久保小麦の麦刈り などなど企画して活動してきました。

地域ブランド開発部会では、「東久留米発！全国区の地域ブランドをつくろう！」をテーマに活動しています。

東久留米の市民のみなさんはもちろん、全国どこへ行っても「あの〇〇の東久留米だよなっ」と知ってもらえる、まちの自慢になる「〇〇」を創りたいと思っています。

みなさんも一緒に活動しませんか？お待ちしております



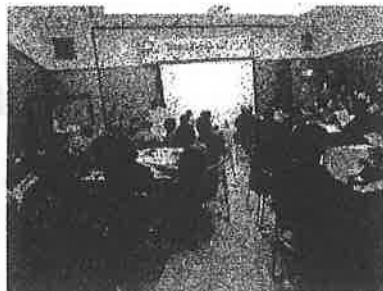


市民への地域活動意識調査部会

この部会は、団塊世代の東久留米ネットワーク
「団塊くるねっと」が主管となっています！

大きなお世話かもしれませんが・・・「団塊くるねっと」は団塊世代を
はじめとした市民のみなさんの
地域デビューの応援を目的として活動している団体です。

「明るく、楽しく、気持ち良く」みんなのために 出来ることから
そして、何よりも継続する・・・これが活動の基本スタンスです。



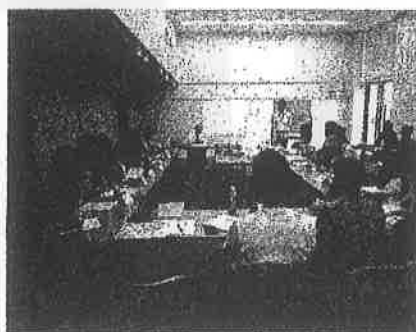
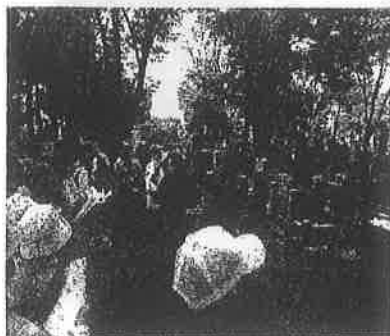
只今、市民の手による意識調査「地域活動アンケート」
実施中！

団塊世代を中心とする市民のみなさんが、日常生活や生活設計の中で、
地域活動への参画について、どのような意識を持っていられるか、

ぜひ市民のみなさんの忌憚のないご意見をお聞かせ下さい！

そして、この調査を通じて「市民つながり隊」の趣旨にご賛同いただけ
ましたら一緒に活動しませんか・・・。

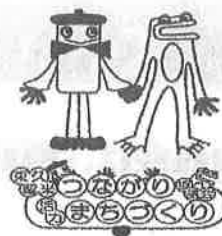
みなさんのご協力とご参加を、お待ちしております！



情報システムづくり部会

☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

2012.07.25



何をめざす？

地域情報をトータルする地域情報システムの構築
東久留米のことならなんでもわかる！

「東久留米のポータルサイト」が夢！ 一緒にやいましょう！

こんな感じ？

1) コミュニティ情報(イベント・活動
紹介・市民レポート)

くるくる登録情報の移行

2) 協議体情報

より充実

3) 地域情報

可能な限りの発信

4) 特産品などの情報

5) ネット ショッピング

6) スマホ対応

7) 動画

東久留米放送局も視野！

8) その他

今年度は、基礎づくり、地味にコツコツ

夢をかみえ
ていきたい！

つながり隊への期待は“大”です

アイデア

3)4)

市民が希望する情報は？「何だろう？」・「何ができる？」

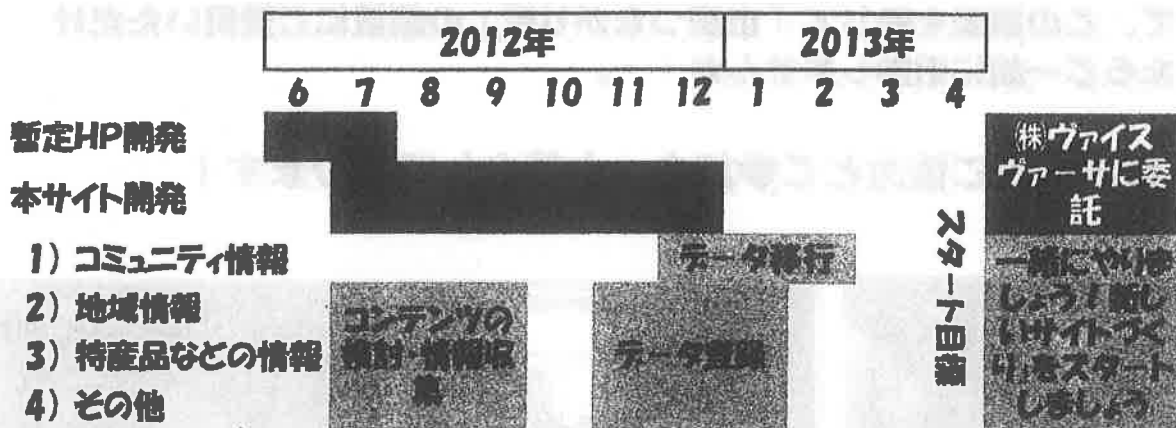
情報収集・提供
作業

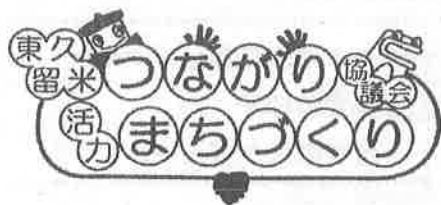
3)4)

1)3)4)

サイトへの移行・登録

ざっとのスケジュールです





参加の仕組み・組織づくり部会

★役割

- 市民参加の仕組みづくり
 - ＜市民つながり隊＞のコーディネート
 - 協議会や＜市民つながり隊＞の組織づくり
- 「東久留米に関わりあるみんなが、手を携え共感・協働する場」をつくっていくこと、そして＜市民つながり隊＞のみなさまの主体的な活動をサポートする役割も担っています。

★具体的活動

『市民つながり隊 わくわく講座』（全4回）実施
（横計画技術研究所協力のもと企画）

テーマ：＜地域ブランド企画＞
＜地域ブランド＞に対するそれぞれの思いやアイデアを引き出し、参加者の皆さんと熟議していくなかで、企画づくりのノウハウを実践的に学んでいくワークショップ



回を重ねるごとに参加者の方の熱意と意気込みがひしひしと伝わってくるものでした。



お互いに気付き、思いを分かち合う場



皆で意見や知恵を出し合い、共感したり、理解したり、



それぞれのアイデアをまとめよう

「市民プラザ夏祭り」でアイデアのまとめを展示・発表。さらに多くの市民の方々との出会い、語らいの場が生まれました。

人々や地域の資源・特産品がつながる
＜場や仕組み＞をつくりたい！

たくさんグループができました

東久留米わくわく巡り

ビックイベント企画

ご勝手広場

地場産野菜の流通の仕組みづくり

コミュニティ拠点づくり

今後はこれらの企画の展開や新規の企画作成をサポートし、さらなる市民参加の仕組みづくりにむけて、活動していきます。

みなさまのお知恵とお力を活かす場として、ぜひご参加ください！

『つながり隊サロン』実施中！

お気軽にいらしてください

毎週水曜日 午後1時～4時 市役所7階 協議会事務局にて



協議会の各部会のご案内(協議会には4つの部会があります)



会長の桑原 芳夫です！
暑中お見舞い申し上げます。
熱中症にご注意ください。

インタビュー

- ・部会の様子
- ・今後のスケジュール

地域ブランド開発部会



【部会長の
高藤 正人 です】

前回の部会では、「食」・「商品」・「観光」の3チームに分かれ、具体的な地域ブランドの提案に向けて動き出しました。8月中には「地域ブランド」を具体的に絞ります。

初参加の方も大歓迎ですので、是非ご参加ください！

第3回地域ブランド開発部会

日時：8月27日(月)午後7時～

場所：市役所 602 会議室

市民への地域活動意識調査部会



【部会長の
石川 敬 です】

7月11日(水)から市民の手による市民意識調査「地域活動アンケート」をスタートしました。調査員となつていただく皆様、調査回答を依頼された皆様、お手数をお掛けしますが、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

つながり隊に参加してあなたも地域で活躍の場を見つけてみませんか？

情報システム部会



【部会長の
笹山 孝治 です】

これまで色々な方から、新しいシステムで発信する「情報」アイデアを聞いてきました。アイデアは頂ければ、なお歓迎ではあります。今後は、これらをもとに、具体的な「発信情報」をまとめていきたいと考えています。

時間的ほか諸々な事情により、本年度は極めて基本的なシステム構築に限られますが、次年度以降は、「東久留米市のポータルサイト」完成に向けての努力が必要と考えています。

関心がある方は現段階からのご参加に期待いたします！！

参加の仕組み・組織づくり部会



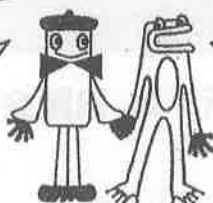
【部会長の
田中 直子 です】

4回に渡って行った「市民つながり隊 わくわく講座」の成果、＜地域ブランド企画提案＞を市民プラザ夏祭りで展示・発表して、さらに市民の方々との出会い、語らいの場が生まれました。

次回は「わくわく戦略会議」を
8月24日(金)午後6時30分～
市役所 701 会議室

にて行います。

そういえばホームページも
できたんだって！アクセスしてみようよ！
higashikurume-tsunagari.com だよ



Twitter もあるんだよ！
(@hk_tunagari) フォローしてみてね
まってるよ～～♪



東久留米つながり・活力まちづくり協議会

市民つながい隊 募集!

わがまちについてもっと知りたい! 地域資源を生かして市内の産業を支えたい!
このまちで暮らし続けたい! そして・・・市民みんなでつながりたい!

★協議会、活動中!

東久留米つながり・活力まちづくり協議会は、東久留米を、いっそう住みやすく魅力あるまちにするために、市民同士がつながり、話し合い、行動することを目的として、市民活動団体・大学・企業・行政が連携して（構成団体は下記をご覧ください）、平成24年1月に設立しました。協議会では、地域のさまざまな課題解決に向けて、誇りと愛着の持てるまちづくり、支え合いと活力のあるまちづくり活動に取り組んでいます。

★「市民つながり隊」で一緒に活動しませんか?

協議会の趣旨に賛同する市民が自発的・主体的に参加する仕組みとして「市民つながり隊」があります。つながり隊は協議会活動の担い手として、具体的な活動に参画できます。

協議会の今年度のテーマは「地域資源を生かした地域ブランド開発を通じて、地域課題を解決する仕組み（モデル）をつくること」で、4つの部会を立てて活動を行っています（詳しくは裏面をご覧ください）。

つながり隊では、具体的な活動を通じて、さまざまな人との出会いがあり、ひとりひとりの思い・「～したい」がつながっていきます。6月の旗揚げ式以来、それぞれのグループ・チームで次々とアイデアが出され、盛り上がっています。

皆さんも市民つながり隊に参加して、やりたいこと・やれることを活かし、まちづくりに一歩踏み出してみませんか?

「市民つながり隊オリエンテーション(説明会)」を行います!

- ① 9月12日(水) 午後2時～3時30分 東久留米市役所7階 協議会事務局
- ② 9月21日(金) 午後7時～8時30分 まろにえホール(生涯学習センター)2階 集会学習室5
- ③ 9月29日(土) 午後2時～3時30分 スペース105(市役所向かいマンション1階)

※ご都合のよろしい日程をお選び頂き、各開催日の2日前までに事務局にご連絡のほど、お願い致します。

〇〇〇お申し込み方法〇〇〇 お電話もしくは協議会ホームページからお申し込みいただけます。

■協議会HPからのお申し込み

<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>市民つながり隊/市民つながり隊説明会申込フォーム/

※24時間お申込可能です。

※各日程のご応募の締め切りは開催日の2日前までです。

■電話でのお申し込み

【電話】 080-4836-4411

【受付時間】 平日:月曜日～金曜日
午前9時～午後4時(土日祝・休)

※事務局不在で電話が繋がらない場合がございます。ご了承ください。

東久留米つながり・活力まちづくり協議会事務局

[協議会HP <http://www.higashikurume-tsunagari.com/>]

☆協議会構成団体: 東久留米まちづくりサポートセンター(まちさぽ)/東久留米市コミュニティサイト運営委員会(東久留米のふれあい情報サイト くるくる)/東久留米の団塊世代ネットワーク(団塊くるねっと)/学校法人 亜細亜大学/榊富士通総研/榊プラスワン・ルネ国際研究所/東久留米市地域産業推進協議会/東久留米市

9月



協議会より…

今月のお知らせ



こんにちは！
会長の 桑原 芳夫 です
朝晩涼しくなってきましたね



【地域ブランド開発部会】



(部会長の 斎藤 正人 です)

第3回部会会議にて、1つ目のブランド「ラーメン(つけ麺)」が決定しました。これから来年2月のお披露目を目指し、部会全員で取り組んでまいります。また、「商品」および「観光」チーム提案のブランドについても具体的に動き出しました。初めての方も多く参加していただいておりますので、お気軽にご参加下さい。
第4回地域ブランド開発部会会議
日時:9月27日(木) 19時～
場所:市役所7階 702

【市民への地域活動意識調査部会】

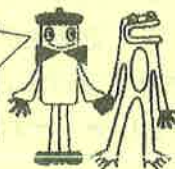


(部会長の 石川 敬 です)

7月半ばからスタートしました市民の手による市民意識調査「地域活動アンケート」も調査員として頑張っている方々や、調査回答を依頼された多くの方々のご協力のお陰で、順調に進捗しております。調査は、継続して実施しますがまだお手元に調査票がある方は**9/20まで**にご投函をお願いします！

協議会のホームページもあるよ～

<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>
アクセスしてくださ～い♪



それにね、Twitterもあるんだよ
(@hk_tunagari)をフォローしてね♪
なんだか面白いつぶやきがあるみたいだよ！

【情報システムづくり部会】



(部会長の 笹山 孝治 です)

皆さまとどのような情報が市民の皆さんに喜んでもらえるか、まとめてきました。9月からは開発作業に入ります。今後はその情報の入手と新システムに入力する“力”が必要となります。有益な東久留米の情報サイト構築にお力をお貸しください！

(協議会ロゴマーク)

【参加の仕組み・組織づくり部会】



(部会長の 田中 麗子 です)

8月24日(金)に「わくわく戦略会議」を行い7つの地域ブランド企画提案のうち<東久留米わくわく巡り><ご勝手広場><コミュニティ・カフェ><市民活動調査>のプロジェクトをグループごとに推進していくこととなりました。また、10月にはつながり隊が一同に会して、各プロジェクトの進捗報告、意見・情報交換を行う「市民つながり隊ネットワーク会議」を開きます。
毎週水曜日午後1時～4時には事務局にて(つながりサロン)も開催しています。部会活動やプロジェクトに関心がある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

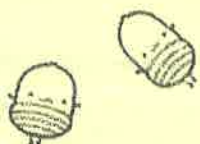
つながり隊に参加してあなたも地域で活動の場を見つけてみませんか？

お問い合わせ先

(住所) 東久留米市本町3-3-1 市役所7階

(電話) 080-4836-4411

(メールアドレス) shinkokyo@yahoo.co.jp



東久留米つながり活動まちづくり協議会



東久留米つながり・活力まちづくり協議会

市民つながり隊 募集!

わがまちについてもっと知りたい! 地域資源を生かして市内の産業を支えたい!
このまちで暮らし続けたい! そして・・・市民みんなでつながりたい!

★協議会、活動中!

東久留米つながり・活力まちづくり協議会は、東久留米を、いっそう住みやすく魅力あるまちにするために、市民同士がつながり、話し合い、行動することを目的として、市民活動団体・大学・企業・行政が連携して（構成団体は下記をご覧ください）、平成24年1月に設立しました。協議会では、地域のさまざまな課題解決に向けて、誇りと愛着の持てるまちづくり、支え合いと活力のあるまちづくり活動に取り組んでいます。

★「市民つながり隊」で一緒に活動しませんか?

協議会の趣旨に賛同する市民が自発的・主体的に参加する仕組みとして市民つながり隊があります。つながり隊は協議会活動の担い手として、具体的な活動に参画できます。

協議会の今年度のテーマは「地域資源を生かした地域ブランド開発を通じて、地域課題を解決する仕組み（モデル）をつくること」で、4つの部会を立てて活動を行っています（詳しくは裏面をご覧ください）。

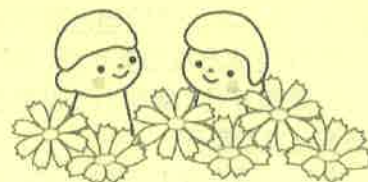
つながり隊では、具体的な活動を通じて、さまざまな人との出会いがあり、ひとりひとりの思い・「～したい」がつながっていきます。6月の旗揚げ式以来、それぞれのグループ・チームで次々とアイデアが出され、盛り上がっています。

皆さんも市民つながり隊に参加して、やりたいこと・やれることを活かし、まちづくりに一歩踏み出してみませんか?

市民つながり隊が取り組んでいる活動についての情報・意見交換・交流を深める
「市民つながり隊ネットワーク会議」を行います!

日時: 10月19日(金) 午後6時30分～
場所: 東久留米市役所 701会議室

※市民つながり隊に参加されていない方も大歓迎です!
ご興味のある方は、10/16(火)までに事務局までご連絡ください。



〇〇〇お申し込み方法〇〇〇 お電話もしくは協議会ホームページからお申し込みいただけます。

■協議会HPからのお申し込み

<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>市民つながり隊/市民つながり隊説明会申込フォーム/

※24時間お申込可能です。
※ご応募の締め切りは開催日の3日前までです。

■電話でのお申し込み

【電話】 080-4836-4411
【受付時間】 平日:月曜日～金曜日
午前9時～午後4時(土日祝・休)

※事務局不在で電話が繋がらない場合がございます。ご了承ください。

東久留米つながり・活力まちづくり協議会事務局

[協議会HP <http://www.higashikurume-tsunagari.com/>]

☆協議会構成団体: 東久留米まちづくりサポートセンター(まちさぽ)/東久留米市コミュニティサイト運営委員会(東久留米のふれあい情報サイト くるくる)/東久留米の団塊世代ネットワーク(団塊くるねっと)/学校法人 亜細亜大学/㈱富士通総研/㈱プラスワン・ルネ国際研究所/東久留米市地域産業推進協議会/東久留米市

10月

協議会より...

今月のお知らせ

こんにちは！
会長の 森原 芳夫 です
朝晩涼しくなってきましたね



【地域ブランド開発部会】

(部会長の 森原 正人 です)

地域ブランド第1弾「ラーメン(つけ麺)」に向けて「食」チームを中心に動き出しております。「商品」および「観光」チーム提案のブランドについても12月のイベントに向けて動き出しました。地域ブランドを進めていく中で、さまざまなアイデアをつながり隊の皆様から頂きたいと思っておりますので、お気軽にご参加下さい。また、各チームのミーティングは随時開催しておりますので詳しくは協議会HP「活動日程」にてご確認ください。

■第5回 地域ブランド開発部会
日時:10月26日(金)午後7時～
場所:東久留米市役所 702会議室



【市民への地域活動意識調査部会】

(部会長の 石川 敬 です)

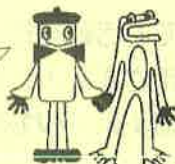
7月半ばから実施しました市民の手による市民意識調査「地域活動アンケート」も9月末日をもって終了しました。

お陰様で、酷暑のなか調査員として奮闘していただいた方々や、調査回答をお寄せいただいた多くの方々のご協力によりまして、初期の目標数を上回る回答をいただくことが出来ました。調査に係わっていただいた皆様に心から感謝申し上げます。

今後は、これを集計・分析し協議会の活動に反映出来るように役立ててまいります。

また、協議会のホームページへのアップや小冊子として集計結果の公開もさせていただきます。

協議会のホームページもあるよ～
<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>
アクセスしてくださ～～い♪



(協議会ロゴマーク)

それにね、Twitterもあるんだよ
(@hk_tunagari)をフォローしてね♪
なんだか面白いつぶやきがあるみたいだよ!



【情報システムづくり部会】

(部会長の 笹山 孝治 です)

来年春オープンに向けての新しいシステムの開発が、9月よりはじまりました。

当面は、ワーキング担当と開発事業者での打ち合わせが主体となりますが、11月あたりからシステムに掲載する「情報」の収集とインプット作業が必要となります。

皆さまのご協力をお願いいたします。

更に来年度以降は、新しいシステムの更なる掲載情報や機能拡充についての話し合いが必要となります。

「市民サイト」充実のための企画に是非参加いただきたいと思います。



【参加の仕組み・組織づくり部会】

(部会長の 田中 直子 です)

現在、つながり隊の方々の各プロジェクトで、打ち合わせや具体的企画が進められています。

<ご勝手広場>のランチ・ミーティングでは、東久留米の野菜を使った料理や名品を持ち寄って、美味しく楽しいまちづくり談義で盛り上がり、オリエンテーション(説明会)でも、東久留米のこころに着目、今後はこんなことにも取り組みたい!という話に花が咲いて、サロンの交流の場となりました。

■つながり隊ネットワーク会議
日時: 10月19日(金)午後6時30分～
場所: 東久留米市役所 701会議室

お誘いあわせの上、ご参加ください!

つながり隊に参加してあなたも地域で活動の場を見つけてみませんか?

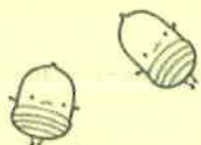
お問い合わせ先

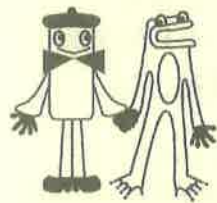
(住所) 東久留米市本町3-3-1 市役所7階

(電話) 080-4836-4411

(メールアドレス) shinkokyo@yahoo.co.jp

東久留米つながり・活力まちづくり協議会





市民つながり隊(通信)

発行：東久留米つながり・活力まちづくり協議会

2012

11

毎月3日ころ発行



いっしょにまちを考える 「市民つながり隊」 募集しています！

「市民つながり隊」とは、
地域の課題解決を主体的に取り組む市民の集まり。
市民が出会い、ひとりひとりの思いをつなぐ仕組みです。

東久留米に関わる人々がつながり、これからも住み続けられる、次世代に誇れる東久留米にしたい！
こうしたひとりひとりの思いをつなぎ、共通の思いを具体化するための「協働の場」を市民の皆様と共に創造していきます。
ぜひ市民つながり隊にご参加頂き、共に考え、知恵を出し合い、実動の歓びを分かち合いましょう！

? どこが 運営しているの？

東久留米つながり・活力まちづくり協議会が運営しています。東久留米を魅力あるまちにするため市民活動団体、大学、企業、行政が連携して、平成24年1月に設立しました。

? 市民つながり隊で なにができるの？

まずは現在行われている活動にご参加いただけます。(下記参照)そして自分でやってみたいことがあればぜひ提案してください。知恵を出し合っているんな方法を探りましょう！

? どうやったら 参加できるの？

参加資格は「東久留米が好き」なこと。一緒にまちをつくりたいと思った瞬間から参加していただけます！事務局に直接おいでいただくか、お電話かメールでご連絡下さいね。

ただいま、 こんな活動しています。

皆様のアイデアでどんどん育つ活動です。
ご興味を持たれましたらご参加ください！

- ①【食チーム】東久留米の地域ブランド麺の開発
- ②【商品チーム】地域産業や資源から地域ブランドが生まれるしかけ(消費生活展にてマルシェを企画)
- ③【観光チーム】地域資源に出会える巡りのモデルコースづくり(消費生活展にてクイズラリーを企画)
- ④【情報システムづくり】システムに掲載する「情報」の収集と入力作業
- ⑤コミュニティ・カフェ・プロジェクト
- ⑥市民活動寄り合い場 / ⑦ご勝手広場
- ⑧地域ブランドゲーム大会の企画

「つながり隊サロン」でつながろう！～毎月1・3金曜日は「しゃべり場」的オープン・サロン！～

事務局の談話スペースを利用して開催しています。つながりたい、まちづくりに関心がある、市民つながり隊や各支部の活動が気になったら…ぜひお気軽にお越し下さい。★その他、企画サロンも開催！（詳しくは協議会HPまたは事務局までお問い合わせください）

《今月のおしらせ》

東久留米つながり・活力まちづくり協議会からのおしらせなど
おとどけます！11月はビッグニュースがいっぱい★

速報！

地域ブランド開発部会が開発した、
柳久保小麦をつかった麺の名称が決定！

地域ブランド開発部会の本年度の取り組み「東久留米の特産品を活かした地域ブランド開発事業」によって生まれた、柳久保小麦を使用した麺の名称が、市民つながり隊の皆様にご応募いただいた候補の中から決定いたしました。名称は後日改めて発表いたしますのでお楽しみに！そして、一般販売に先駆け、事業者様と市民つながり隊向け先行試食会を11月下旬に行います！ぜひご参加ください！

12/1～2「くらしフェスタくるめ」 クイズラリーやマルシェなど出展。

平成24年12月1日(土)～2日(日)に東久留米市役所で開催される「くらしフェスタくるめ」に当協議会が出展します。東久留米クイズラリーや市内の店舗や作家を集めたプチマルシェなど企画しています。遊びにいらしてくださいね！



各部会からの活動報告

早いもので2012年もあと2ヶ月。各部会ともに今年度の目標に向け、ますます盛り上がっています。気になる活動があれば気軽にご参加ください。一緒にまちを盛り上げましょう！



第1部会 会長の
齋藤 正人です

地域ブランド開発部会（第1部会）

【食チーム】地域ブランド第1弾「ラーメン（つけ麺）」のネーミング、ストーリー作成に向けて動いております。

【商品チーム・観光チーム】12月1日（土）・2日（日）開催の「くらしフェスタくるめ」に出店します。お気軽に遊びに来てください、お待ちしております！

■第6回地域ブランド開発部会

日時：11月27日（火）19：00 / 場所：まろにえホール集会室2
各チームのミーティングにつきましてはカレンダーにてご確認ください。

市民への地域活動意識調査部会（第2部会）

この度実施しました「地域活動アンケート」は、多くの皆様のご協力によりまして、322票という調査回答をいただくことが出来ました。

ご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

現在、集計・分析中でございますが、まとめた結果をもとに、今後の協議会の活動に反映出来るようにさせていただきます。また、この結果は協議会のホームページへのアップ、協議会事務局での閲覧、ダイジェスト版にして市民プラザや地域センターへの設置など集計結果の公開もさせていただきます。



第2部会 会長の
石川 敬です

情報システムづくり部会（第3部会）

来年春オープンに向けての新しいシステムの開発が、9月より始まりました。当面は、ワーキング担当と開発事業社での打ち合わせが主体となりますが、11月あたりからシステムに掲載する「情報」の収集とインプット作業が必要となります。皆様のご協力をお願いいたします。

更に来年度以降は、新システムの更なる掲載情報や機能拡充についての話し合いが必要となります。「市民サイト」充実のための企画にぜひご参加いただきたいと思います。



第3部会 会長の
齋藤 正人です

参加の仕組み・組織づくり部会（第4部会）

10月19日（金）に「第1回市民つながり隊ネットワーク会議」を行いました。部会、チーム、プロジェクトそれぞれの取り組みについてのPR、意見交換などを行い、つながり・活力あるまちづくりへの思いを伝え合いました。「参加してみて、東久留米を子ども達にとっての温かいふるさとにしたいという思いがとて強くなった」など、心打つメッセージも。

次回ネットワーク会議は、平成25年1月26日（土）10：00～。

第1・3金曜日13時～の「つながり隊サロン」もお出でください！



第4部会 会長の
田中 直子です

東久留米つながり・活力まちづくり協議会の活動日程 & 市内のイベント

11/1（木）14:00～

地域活動意識調査アンケート集計報告会（地域活動意識調査部会）

■場所 協議会事務局

11/2（金）14:00～16:00

市民活動寄り合い場ミーティング

■場所 協議会事務局

11/10（土）・11（日）

東久留米市市民みんなのまつり

10日12時～16時 / 11日10時～16時
（※協議会としての参加はございません）

11/14（水）13:30～15:30

商品チーム x つながりサロン（ワークショップ）

「木の实をつかって人形をつくらう！」

講師：浜中四郎（ネイチャークラフト作家）

■場所 協議会事務局

★参加者募集中（定員5名）

11/15（木）13:00～

参加の仕組み・組織づくり部会

■場所 協議会事務局

11/15（木）19:00～

【観光チーム】ミーティング

■場所 まろにえホール集会室1

11/26（月）19:00～

【食チーム】ミーティング

■場所 男女平等推進センター会議室

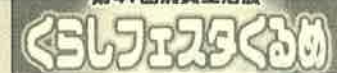
11/27（火）19:00～21:00

第6回地域ブランド開発部会

■場所 まろにえホール集会室2

12/1（土）・2（日）

第41回消費生活展



1日10時～16時 / 2日10時～15時

■会場 東久留米市役所（1階）

市民プラザ・市民ひろば

①東久留米クイズラリー（1～2日）

②くるめ de プチマルシェ～チャリティマーケット（2日のみ）

★お手伝いして下さる方大募集！

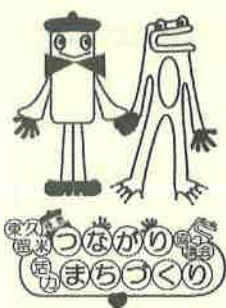
第1・3金曜日13:00～16:00

「つながり隊サロン」（※祝日休）

詳しくは協議会HP「活動日程」をご覧ください。随時更新中！

【協議会HP】<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>

【twitter】@hk_tunagari



東久留米つながり・活力まちづくり協議会とは？

東久留米をいっそう住みやすく魅力あるまちにするために、市民がつながり、行動することを目的として、平成24年1月に設立しました。平成24年度事業については、「東京都新しい公共支援事業 新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の助成を受けて実施しています。

【構成団体】東久留米まちづくりサポートセンター（まちさぽ）／東久留米市コミュニティサイト運営委員会（東久留米のふれあい情報サイトくるくる）／東久留米の団塊世代ネットワーク（団塊くるねっと）／学校法人 亜細亜大学／（株）富士通総研／（株）プラスワン・ルネ国際研究所／東久留米市地域産業推進協議会／東久留米市

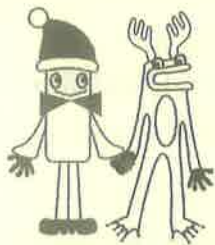
東久留米つながり・活力まちづくり協議会事務局

【住 所】東久留米市本町 3-3-1
東久留米市役所 7 階

【時 間】月曜日～金曜日（土日祝休）
午前9時～午後4時

【電 話】080-4836-4411

【メール】shinkokyo@yahoo.co.jp



市民つながり隊(通信)

発行：東久留米つながり・活力まちづくり協議会

2012

12

毎月3日ころ発行



いっしょにまちを考える 「市民つながり隊」 募集しています！

「市民つながり隊」とは、
地域の課題解決を主体的に取り組む市民の集まり。
市民が出会い、ひとりひとりの思いをつなぐ仕組みです。

東久留米に関わる人々がつながり、これからも住み続けられる、次世代に誇れる東久留米にしたい！
こうしたひとりひとりの思いをつなぎ、共通の思いを具体化するための「協働の場」を市民の皆様と共に創造していきます。
ぜひ市民つながり隊にご参加頂き、共に考え、知恵を出し合い、実働の歓びを分かち合いましょう！

? どこが 運営しているの？

東久留米つながり・活力まちづくり
協議会が運営しています。東久留米
を魅力あるまちにするため市民活動
団体、大学、企業、行政が連携して、
平成24年1月に設立しました。

? 市民つながり隊で なにができるの？

まずは現在行われている活動にご参
加いただけます。(下記参照)そして
自分でやってみたいことがあればぜ
ひ提案してください。知恵を出し合っ
ているんな方法を探りましょう！

? どうやったら 参加できるの？

参加資格は「東久留米が好き」なこと。
一緒にまちをつくりたいと思った瞬
間から参加していただけます！事務
局に直接おいでいただくか、お電話
かメールでご連絡下さいね。

ただいま、 こんな活動しています。

皆様のアイデアでどんどん育つ活動です。
ご興味を持たれましたらご参加ください！

- ①【食チーム】東久留米の地域ブランド麺の開発
- ②【商品チーム】地域産業や資源から地域ブランドが
生まれるしかけ(消費生活展にてマルシェを企画)
- ③【観光チーム】地域資源に出会える巡りのモデル
コースづくり(消費生活展にてクイズラリーを企画)
- ④【情報システムづくり】システムに掲載
する「情報」の収集と入力作業
- ⑤コミュニティ・カフェ・プロジェクト
- ⑥市民活動寄り合い場 / ⑦ご勝手広場
- ⑧地域ブランドゲーム大会の企画

「つながり隊サロン」でつながろう！～毎月1・3金曜日は「しゃべり場」的オープン・サロン！～

事務局の談話スペースを利用して開催しています。つながりたい、まちづくりに関心がある、市民つながり隊や各部会の活動が気にな
ったら…ぜひお気軽にお越し下さい。★その他、企画サロンも開催！（詳しくは協議会 HP または事務局までお問い合わせください）

《今月のおしらせ》

東久留米つながり・活力まちづくり協議会からのお知らせなど
おとどけます！12月はイベント目白押し★

速報！

来年3月に「地域ブランドゲーム大会(仮)」
開催！東久留米の魅力を再発見しよう！

協議会では「地域ブランド」の創造を通じて、東久留米の「地域資源」
を発見してきました。それらを基に一大ゲーム大会を催し、幅広い
世代に参加して頂くことによって「東久留米って素敵なところだった
んだ！」と再発見したり、さらなる出会いの場にしていきたい！と立
ち上げました。アイデア出しから楽しい会にしていきたいと思います！

■第1回実行委員会：12月5日(水)14時～市役所701会議室

12/22(日)「コミュニティカフェ」 ～出会いとつながりの場を目指して

平成24年12月22日(日)午前10時～
12時、市民プラザ(市役所1階)にてコ
ミュニティ・カフェ・プロジェクトによるイ
ベント「コミュニティカフェ」を開催します！
木の実を使ったクリスマスグッズやクラフト
コーナーも♪お気軽にお寄りください。



各部会からの活動報告

あっという間に12月。めっきり寒くなりましたが各部会ともアツく盛り上がっています！
今月も色んなイベントが開催されますのでお忙しい時期ですがぜひご参加ください。



第1部会 会長の
齋藤 正人です

地域ブランド開発部会（第1部会）

食チーム担当の地域ブランド第1弾「ラーメン（つけ麺）」のネーミングが決定。2月17日（日）「グルメフェスティバルinくるめ」にてお披露目します！商品・観光チームにつきましても、3月の事業に向けて活発に動いております。また平成25年1月12日（土）「開運、七福神めぐり」にも参加、初めての方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。お待ちしております。

■第7回地域ブランド開発部会

平成25年1月中旬に開催予定です。

各チームのミーティングにつきましてはカレンダーにてご確認ください。

市民への地域活動意識調査部会（第2部会）

7月から9月末までの長期間に亘る「地域活動アンケート」も多くの方々の多大なるご協力によりまして当初の目標を上回る回答票をお寄せいただくことが出来ました。そして、お蔭様で先月には、その集計・分析したものを「報告書」として冊子にまとめさせていただきました。今後は、これを協議会の活動に反映出来るように役立ててまいります。又、より多くの方々にご覧いただけるよう、「概要版」を市民プラザや各地域センターなど30ヶ所以上に設置させていただきましたので、是非ご覧になって下さい。



第2部会 会長の
石川 敏です

情報システムづくり部会（第3部会）

年末完成に向け作業中です。来年4月正式スタート以降のサイトでは、主に次の分野での活動が見込まれます。

- 1) 運営委員（サイトの企画・運営）
- 2) 市民レポーター（市内外のトピックスの取材・発信）
- 3) 編集委員（市民向け有益で楽しいトピックスの発信）

つながり隊の皆さまには、上記の活動を通じて、活動や趣味をより広げるチャンスとなるかもしれません。今後改めてご案内いたしますが、ご関心・ご希望にそった部分でのご参加を期待いたします。



第3部会 会長の
笹山 孝治です

参加の仕組み・組織づくり部会（第4部会）

今年度末の3月に、さらなる市民参加とつながりを目指して「地域ブランドゲーム大会（仮）」を行うため、準備を開始致しました。

協議会が市民のみならずと一緒に出発したり生み出した東久留米の地域資源を含め、「東久留米ってこんなに素敵なおとこなんだ！」と再発見する場にしていきたいと考えています。

この他、第2回市民つながり隊ネットワーク会議は、来年1月26日（土）10:00～。第1・3金曜日 13時～の「つながり隊サロン」もお出でください！



第4部会 会長の
田中 直子です

東久留米つながり・ 活力まちづくり協議会の 活動日程 & 市内のイベント

12/1（土）・2（日）



1日10時～16時 / 2日10時～15時

■会場 東久留米市役所（1階）
市民プラザ・市民ひろば

①落合川・南沢湧水クイズラリー
（1～2日）

②くるめ de プチマルシェ～チャリティ
マーケット（2日のみ）

12/2（日）16:30～17:30

コミュニティ・カフェ・プロジェクト
ミーティング

■場所 お問い合わせ下さい

12/5（水）14:00～16:00

市民活動寄り合い場ミーティング

■場所 協議会事務局

12/5（水）14:00～16:00

地域ブランドゲーム大会実行委員会

■場所 市役所 701 会議室

12/6（木）13:00～14:00

第4部会ミーティング

■場所 協議会事務局

12/7（金）10:00～11:00

コミュニティ・カフェ・プロジェクト
ミーティング

■場所 協議会事務局

12/11（火）19:00～21:00

食チームミーティング

■場所 未定 ※お問い合わせ下さい。

12/22（土）10:00～12:00

■会場 市民プラザ 屋内ひろば
（東久留米市役所1階）

コミュニティ・カフェ・プロジェクト presents

「コミュニティ・カフェ」

【問】協議会事務局：080-4836-4411

1/26（土）10:00～12:00

第2回市民つながり隊ネットワーク会議

■場所 未定 ※お問い合わせ下さい。

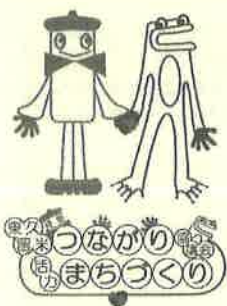
第1・3金曜日 13:00～16:00

「つながり隊サロン」（※祝日休）

詳しくは協議会 HP「活動日程」を
ご覧下さい。随時更新中！

【協議会 HP】 <http://www.higashikurume-tsunagari.com/>

【twitter】 @hk_tunagari



東久留米つながり・活力まちづくり協議会とは？

東久留米をいっそう住みやすく魅力あるまちにするために、市民がつながり、行動することを目的として、平成24年1月に設立しました。平成24年度事業については、「東京都新しい公共支援事業 新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の助成を受けて実施しています。

【構成団体】東久留米まちづくりサポートセンター（まちさぽ）／東久留米市コミュニティサイト運営委員会（東久留米のふれあい情報サイトくるくる）／東久留米の団塊世代ネットワーク（団塊くるねっと）／学校法人 亜細亜大学／（株）富士通総研／（株）プラスワン・ルネ国際研究所／東久留米市地域産業推進協議会／東久留米市

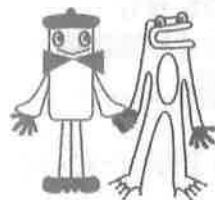
東久留米つながり・ 活力まちづくり協議会事務局

【住 所】東久留米市本町 3-3-1
； 東久留米市役所 7 階

【時 間】月曜日～金曜日（土日祝休）
午前9時～午後4時

【電 話】080-4836-4411

【メール】shinkokyo@yahoo.co.jp



市民つながり隊(通信)

発行：東久留米つながり・活力まちづくり協議会

毎月3日ごろ発行



いっしょにまちを考える 「市民つながり隊」 募集しています！

「市民つながり隊」とは、
地域の課題解決を主体的に取り組む市民の集まり。
市民が出会い、ひとりひとりの思いをつなぐ仕組みです。

東久留米に関わる人々がつながり、これからも住み続けられる、次世代に誇れる東久留米にしたい！
こうしたひとりひとりの思いをつなぎ、共通の思いを具体化するための「協働の場」を市民の皆様と共に創造していきます。
ぜひ市民つながり隊にご参加頂き、共に考え、知恵を出し合い、実動の喜びを分かち合いましょう！

? どこが運営しているの？

東久留米つながり・活力まちづくり協議会が運営しています。東久留米を魅力あるまちにするため市民活動団体、大学、企業、行政が連携して、平成24年1月に設立しました。

? 市民つながり隊でなにができるの？

まずは現在行われている活動にご参加いただけます。(下記参照)そして自分でやってみたいことがあればぜひ提案してください。知恵を出し合っているんな方法を探りましょう！

? どうやったら参加できるの？

参加資格は「東久留米が好き」なこと。一緒にまちをつくりたいと思った瞬間から参加していただけます！事務局に直接おいていただくか、お電話かメールでご連絡下さいね。

ただいま、 こんな活動しています。

皆様のアイデアでどんどん育つ活動です。
ご興味を持たれましたらご参加ください！

- ①【食チーム】東久留米の地域ブランド麺の開発
- ②【商品チーム】地域産業や資源から地域ブランドが生まれるしかけ(消費生活展にてマルシェを企画)
- ③【観光チーム】地域資源に出会える巡りのモデルコースづくり(消費生活展にてクイズラリーを企画)
- ④【情報システムづくり】システムに掲載する「情報」の収集と入力作業
- ⑤コミュニティ・カフェ・プロジェクト
- ⑥市民活動寄り合い場／⑦ご勝手広場
- ⑧地域ブランドゲーム大会の企画

「つながり隊サロン」でつながろう！～毎月1・3金曜日は「しゃべり場」的オープン・サロン！～

事務局の談話スペースを利用して開催しています。つながりたい、まちづくりに関心がある、市民つながり隊や各部会の活動が気になったら…ぜひお気軽にお越し下さい。★その他、企画サロンも開催！(詳しくは協議会HPまたは事務局までお問い合わせください)

《今月のおしらせ》

東久留米つながり・活力まちづくり協議会からのお知らせなど
おとどけます！1月はイベント目白押し★

決定！ 3/10(日)に地域ブランドゲーム大会 「かるたdeくるめ」成美会館にて開催！

3/10(日)13時半～成美会館にて「第1回地域ブランドゲーム大会 かるたdeくるめ」を開催します。東久留米の「地域資源」を楽しみながら学び、魅力を再発見したり、世代を越えてつながる場としてぜひご参加ください。準備会(1/15、2/5)への参加もお待ちしております！【問】当協議会事務局 080-4836-4411

■かるたネタづくり:1/15(火)19時～ まるにえホール第1集會室

1/27(日)「コミュニティカフェ」 ～出会いとつながりの場を目指して

昨年12月に行い大好評だったコミュニティカフェ。第2回開催が決定！平成25年1月27日(日)午前10時～12時、市民プラザ(市役所1階)にて。今回は祭りのてぬぐいコレクター湊順子さんにもお出で頂く予定。ぜひご参加ください！



各部会からの活動報告

1月 は東久留米の恒例の「七福神巡り」で改めて市内の魅力を再発見！そしてコミュニティカフェで情報を共有してくださいね。今年もどんどんつながりましょう！



第1部会 会長の
齋藤 正人です

地域ブランド開発部会（第1部会）

食チーム担当の地域ブランド第1弾「ラーメン（つけ麺）」が2013年2月17日（日）「グルメフェスティバルinくるめ」にてお披露目となります！観光チーム、商品チームにつきましては2013年1月12日（土）に行われる「開運、七福神めぐり」に協力するなどさまざまなイベントに参加し、活発に動いております。地域ブランドや市内めぐりにご興味のある方、お気軽にご参加下さい。

■第7回地域ブランド開発部会
日時：1月下旬開催予定 場所：市役所内予定

市民への地域活動意識調査部会（第2部会）

「地域活動アンケート報告書」の概要版を市民プラザや各地域センターなどに設置させていただきましたが、ご覧いただけましたでしょうか。今回のアンケートでは、322の回収票で現在地域活動をしていないと約4割の方が回答されましたが、その中の約半数の方が今後地域活動への参加意向があると回答されていました。是非、協議会主催のイベントなどを覗かれ、地域活動参加へのステップとしていただけましたら幸いです。又、アンケートに関するご意見等もお寄せ下さい。



第2部会 会長の
石川 敬です

情報システムづくり部会（第3部会）

開発作業中です。来年4月正式スタート以降のサイトでは、主に次の分野で活動される方をもとめています。

- ①運営委員（サイトの企画・運営）
 - ②市民レポーター（市内外のトピックスの取材・発信）
 - ③編集委員（市民に向け有益で楽しいトピックスの発信）
- つながり隊の皆さまには、上記の活動を通じて、活動や趣味をより広げるチャンスとなるかもしれません。ご参加をお待ちします。
笹山までご一報を！ 携帯：090-9131-1500



第3部会 会長の
笹山 幸治です

参加の仕組み・組織づくり部会（第4部会）

3月10日（日）に「第1回 地域ブランドゲーム大会 かるた de くるめ」実施決定！（午後1時30分～ 成美会館）これまでの協議会活動によって発見・創造してきた「東久留米の良いところ・魅力・ご当地モノ」等を市民の方々と楽しく分かち合う場にしていきます。

出会いとつながりを創る「コミュニティカフェ」第2回は、1月27日（日）午前10時～市役所1階 市民プラザ屋内ひろばにて。ぜひご参加ください。

- カルタのネタづくり会：1/15（火）19時～ まるにえホール第1集会室
- つながり隊ネットワーク会議：1/26（土）10時～ 701 会議室



第4部会 会長の
田中 直子です

東久留米つながり・活力まちづくり協議会の活動日程 & 市内イベント

1/12（土）【市内イベント】

新春の初ウオーク 2013 開運

東久留米七福神めぐり

主催：西武鉄道株式会社

【受付会場】 西口中央公園

【受付時間】 午前9時半～11時半

【参加費】 無料（参加記念品あり）

【問】「2013開運東久留米七福神めぐり」
実行委員会事務局（市産業振興課）
電話：042-470-7743

1/15（火）19:00～21:30

ゲーム大会「かるた de くるめ」
かるたのネタづくり会

■場所 まるにえホール第1集会室

1/25（金）19:00～21:00

食チームミーティング（第1部会）

■場所 まるにえホール第5集会室

1/26（土）10:00～12:00

第2回市民つながり隊ネットワーク会議

■場所 東久留米市役所 701 会議室

1/27（日）10:00～12:00

コミュニティ・カフェ・プロジェクト presents

「コミュニティ・カフェ」

■会場 市民プラザ 屋内ひろば
（東久留米市役所1階）

【問】協議会事務局：080-4836-4411

2/5（火）13:30～15:30

「かるた de くるめ」ルールづくり会

■場所 協議会事務局

2/17（日）【市内イベント】

たまろくとご当地グルメ
フェスティバル in くるめ

主催：たまろくとご当地グルメ
フェスティバル実行委員会

【会場】 まるにえホール

【時間】 午前10時～16時

【問】たまろくとご当地グルメフェスティバル
実行委員会（市産業振興課）
電話：042-470-7743

第1・3金曜日 13:00～16:00

「つながり隊サロン」（※祝日休）

詳しくは協議会 HP「活動日程」を
ご覧下さい。随時更新中！

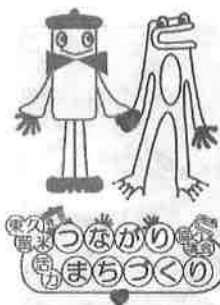
【協議会 HP】 <http://www.higashikurume-tsunagari.com/>

【twitter】 @hk_tunagari

東久留米つながり・活力まちづくり協議会とは？

東久留米をいっそう住みやすく魅力あるまちにするために、市民がつながり、行動することを目的として、平成24年1月に設立しました。平成24年度事業については、「東京都新しい公共支援事業 新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の助成を受けて実施しています。

【構成団体】 東久留米まちづくりサポートセンター（まちさぽ）／ 東久留米市コミュニティサイト運営委員会（東久留米のふれあい情報サイトくるくる）／ 東久留米の団塊世代ネットワーク（団塊くるねっと）／ 学校法人 亜細亜大学／（株）富士通総研／（株）プラスワン・ルネ国際研究所／ 東久留米市地域産業推進協議会／ 東久留米市



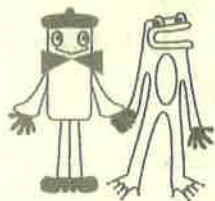
東久留米つながり・活力まちづくり協議会事務局

【住 所】 東久留米市本町 3-3-1
東久留米市役所 7 階

【時 間】 月曜日～金曜日（土日祝休）
午前10時～午後4時

【電 話】 080-4836-4411

【メール】 shinkokyo@yahoo.co.jp



市民つながり隊 (通信)

発行：東久留米つながり・活力まちづくり協議会

2013

2

毎月3日ころ発行

《2月のおしらせ》

東久留米つながり・活力まちづくり協議会からのおしらせです
2月、3月は活動の集大成となる大きなイベントが2つ！

東久留米の新地域ブランド。

その名は…

TOKYOひがしくる麺

当協議会が企画・開発、東久留米特産品種「柳久保小麦」を使用し、市内業者が製造する新地域ブランド商品「TOKYOひがしくる麺」が2/17(日)に開催される「たまろくとご当地グルメフェスティバル」でお披露目されます。

また、同日から市内飲食店で提供開始されます(2/12現在6店舗)。取扱店舗情報は協議会HPや市民つながり隊通信などで随時お伝え致します。

お問い合わせは東久留米つながり・活力まちづくり協議会まで。

新時代触感の

TOKYOひがしくる麺

2/17(日)お披露目

東久留米つながり・活力まちづくり協議会が開発した
幻の柳久保小麦を使用した中華麺『TOKYOひがしくる麺』が
「たまろくとご当地グルメフェスティバルINくるめ」に登場します！
★当日はあたたかいラーメンとして屋台販売★
今後、つけ麺・まぜ麺・焼きそば等々へ…進化系新名物です！



中華麺とうどんの中間? つるつる新食感!

募集! ひがしくるめを「かるた」にしよう! 「かるたdeくるめ」参加者大募集!

東久留米のお気に入りの場所・モノ、思い出の場所、
お奨めスポット…etc. 「これぞ東久留米!」と自慢したいこと、
東久留米のお宝を「かるた」にしましょう。

日時：平成25年3月10日(日) 午後1時30分～

場所：成美教育会館 3階 大研修室

東久留米をよく知らない、という方でも大丈夫。

隠しネタをご用意しています。

かるた取り大会が終わるころには、あなたも「東久留米ツウ」の仲間入り。

さあ、あなたはどんな「東久留米」に出会えるでしょうか?!



参加申込

お電話またはホームページからお申し込みいただけます
080-4836-4411(月～金曜日 10時～16時/土日祝休)
<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>



市民つながり隊とは?

地域の課題解決を主体的に取り組む市民の集まり。

市民が出会い、ひとりひとりの思いをつなぐ仕組みです。

東久留米に関わる人々がつながり、これからも住み続けられる、次世代に誇れる東久留米にしたい!

こうしたひとりひとりの思いをつなぎ、共通の思いを具体化するための「協働の場」を市民の皆様と共に創造していきます。

ぜひ市民つながり隊にご参加頂き、共に考え、知恵を出し合い、実働の遊びを分かち合いましょう!

ただいま、 こんな活動しています。

皆様のアイデアでどんどん育つ活動です。
ご興味を持たれましたらご参加ください!

- ①【食チーム】東久留米の地域ブランド麺の開発
- ②【商品チーム】地域産業や資源から地域ブランドが生まれるしかけ(消費生活展にてマルシェを企画)
- ③【観光チーム】地域資源に出会える巡りのモデルコースづくり(消費生活展にてクイズラリーを企画)

- ④【情報システムづくり】システムに掲載する「情報」の収集と入力作業
- ⑤コミュニティ・カフェ・プロジェクト
- ⑥市民活動寄り合い場 / ⑦ご勝手広場
- ⑧地域ブランドゲーム大会の企画

「つながり隊サロン」でつながろう! ~毎月1・3金曜日は“しゃべり場”的オープン・サロン!~

事務局の談話スペースを利用して開催しています。つながりたい、まちづくりに関心がある、市民つながり隊や各部会の活動が気になったら…ぜひお気軽にお越し下さい。★その他企画サロンも開催! (詳しくは協議会HPまたは事務局までお問い合わせください)

各部会からの活動報告

2/17 に当協議会が開発した「TOKYO ひがしくる麺」がたまろくとグルメフェスティバルでお披露目されます。ご来場の際にはご賞味ください。自信をもってオススメします！



第1部会 会長の
斎藤 正人です

地域ブランド開発部会（第1部会）

【食チーム】当チームが中心となり市民のみなさんと開発した「TOKYO ひがしくる麺」がいよいよ2/17デビューです！※詳しくは表面をご覧ください。(篠宮)

【観光チーム】観光チーム巡りは消費生活展に2大企画で初参加。落合川南沢のクイズに沢山の来場者が挑戦、くるめの魅力・再発見企画では巨大地図登場！湧き上がる声思いの付箋で埋まりました。これからもみんなで巡り出合いづくり(板垣)

【商品チーム】その価値を認め、対価をもって利益を享受するというものが商品です。知的物的にかかわることなく、身近に埋もれているものの中からその価値を見出し提案したいという動機が商品チームの基盤にあります。当面は試行錯誤しながらやがて地域の名物となり、利益も望めればもっと良い！(関根)

市民への地域活動意識調査部会（第2部会）

今回の調査で現在地域活動をされていないと回答された方は男性で36%、女性で28%でした。地域活動においては女性が活躍されています。これから地域に戻って来られる方も含め、今迄培って来られた経験をベースにこれから何かを始めようと思っておられましたら、是非、協議会主催のイベントなどを覗かれ、地域活動参加への取っ掛けかりとしてみませんか。先ずは、一歩踏み出してみて下さい。又、アンケートに関するご意見等もお寄せいただけましたら幸いです。

■「地域活動アンケート報告書」の概要版を市民プラザや各地域センター、協議会事務局などで配布しています。



第2部会 会長の
石川 敏です



第3部会 会長の
笹山 孝治です

情報システムづくり部会（第3部会）

すでにご案内の通り、

4月開始を目標に新しいサイト構築作業進行中です。

充実した市民サイトのためには、多くの市民の皆様にお役に立つような、記事・情報が大切と考えています。バラエティに富んだ情報のご提供には皆様方の協力が必要です。

開始前や開始後において、お願いすることがあると思います。

よろしくお願いいたします。

参加の仕組み・組織づくり部会（第4部会）

「地域ブランドづくり」をテーマに掲げ、市民のみなさまと共に、東久留米ならではのものを掘り起したり、新たに開発してきた今年度の協議会。コミュニティ・カフェの実験など、出会いとつながりの場も生み出してきました。3月10日の「かるた de くるめ」は、その総決算の場。新たな出会いとつながりを目指します。お子さんも一緒に、ぜひご参加ください！

■地域ブランドゲーム大会「かるた de くるめ」参加者募集中です！

■かるた de くるめミーティング 場所：協議会事務局

日程：2/12（火）14時、2/19（火）13時半、2/26（火）13時半



第4部会 会長の
田中 直子です

東久留米つながり・活力まちづくり協議会の活動日程 & 市内のイベント

2/5（火）13:30～15:30

「かるた de くるめ」ミーティング

■場所 協議会事務局

2/12（火）14:00～

「かるた de くるめ」ミーティング

■場所 協議会事務局

※15：50～まろにえホール第1集会室に移動します。

2/15（金）13:00～16:00

「つながり隊サロン」

■場所 協議会事務局

2/17（日）【市内イベント】

まろくと
たご当地 グルメ

フェスティバル de くるめ

主催：たまろくとご当地グルメフェスティバル実行委員会

【会場】まろにえホール

【時間】午前10時～16時

【問】たまろくとご当地グルメフェスティバル実行委員会（市産業振興課）
電話：042-470-7743

★市民が企画・開発した新地域ブランド「TOKYOひがしくる麺」がついにデビューします！グルメフェス他、同日より市内飲食店でも提供開始。取扱店舗情報は随時協議会 HP や市民つながり隊通信などでお伝えします。お楽しみに！

2/19（火）13:30～15:30

「かるた de くるめ」ミーティング

■場所 協議会事務局

2/26（火）13:30～15:30

「かるた de くるめ」ミーティング

■場所 協議会事務局

3/10（日）13:30～

第1回地域ブランドゲーム大会

「かるた de くるめ」

■場所 成美会館3階 大研修室

★参加者大募集中です！詳しくは表面「かるた de くるめ」記事をご参照下さい。

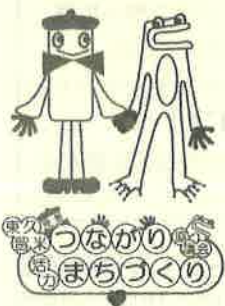
第1・3金曜日 13:00～16:00

「つながり隊サロン」（※祝日休）

詳しくは協議会 HP「活動日程」をご覧ください。随時更新中！

【協議会 HP】<http://www.higashikurume-tsunagari.com/>

【twitter】@hk_tunagari



東久留米つながり・活力まちづくり協議会とは？

東久留米をいっそう住みやすく魅力あるまちにするために、市民がつながり、行動することを目的として、平成24年1月に設立しました。平成24年度事業については、「東京都新しい公共支援事業 新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の助成を受けて実施しています。

【構成団体】東久留米まちづくりサポートセンター（まちさぽ）／東久留米市コミュニティサイト運営委員会（東久留米のふれあい情報サイトくるくる）／東久留米の団塊世代ネットワーク（団塊くるねっと）／学校法人 亜細亜大学／（株）富士通総研／（株）プラスワン・ルネ国際研究所／東久留米市地域産業推進協議会／東久留米市

東久留米つながり・活力まちづくり協議会事務局

【住 所】東久留米市本町 3-3-1
東久留米市役所 7 階

【時 間】月曜日～金曜日（土日祝休）
午前10時～午後4時

【電 話】080-4836-4411

【メール】shinkokyo@yahoo.co.jp



東久留米つながり・活力まちなづくり協議会
主催

市民つながり隊 拡大協議会

開催日:平成 24 年 3 月 30 日
開催場所:成美教育文化会館 3 階大研修室
開催時間:10:00～12:00

組織構成

会長	桑原芳夫	東久留米まちづくりサポートセンター
副会長	斎藤正人	東久留米市地域産業推進協議会
監事・幹事	笹山孝治	東久留米市コミュニティサイト運営委員会
会計	石川 敬	東久留米団塊世代ネットワーク
幹事	菊池 威	学校法人 亜細亜大学
幹事	大森興治	株式会社 富士通総研
幹事	渡邊恭子	株式会社 プラスワン・ルネ国際研究所
幹事	橋爪和彦	東久留米市 行政管理担当部長
幹事	中島 哲	東久留米市 市民部長



事業部

第一部会	地域ブランド商品開発事業
第二部会	市民への地域活動意識調査事業
第三部会	情報システムづくり事業
第四部会	参加の仕組み・組織づくり事業
第五部会	持続的な協議会のかたち検討事業

プログラム

開会

ご挨拶：東久留米つながり・活カまちづくり協議会

会長 桑原芳夫

第1部 報告会

1. 今年度事業報告 (PPT)

*つながり隊への謝意

2. 各事業部会長より挨拶

3. 助成金事業が終わって＝行政

4. 組織検討経過報告＝第五部会菊池先生

＝休憩5分＝

第2部 デイスカツシヨン

1. 次年度に向けての提案＝桑原会長

*つながり隊の今後

*まちさぼの受け皿

2. つながり隊からの質問

*デイスカツシヨン

*各部会長よりつながり隊へのメッセージ

*TOKYOひがしぐる廻について

3. 次年度についてのまとめ

ご挨拶：東久留米つながり・活カまちづくり協議会

副会長 斎藤正人

閉会

MEMO

主催
東久留米つながり・活カまちづくり協議会

ツナ がり隊 サロン キックオフ

H25.4.13(土)

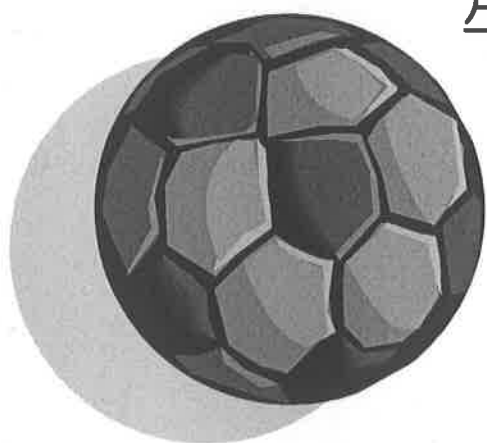
午前 10 時～12 時

東部地域センター

会議室 1.2

申し込み不要

(直接会場へどうぞ)



まちづくりサポートセンターでは、「つながり隊」やこれからまちづくりに興味があるみなさんが自由に集い、市民同士の横のつながりを生かした情報交換やまちづくり活動を共におこなうきっかけを提供する、ツナがり隊サロン（ツナサロ）開催いたします。つながり隊のみなさんやまちづくり興味のある方、ぜひご参加ください。お申し込みは不要です。直接会場にいらしてください。

●● ツナサロメールにご登録を ●●

メールアドレスをご登録ください。このサロンの開催情報などをお知らせするメールをお送りします。

ツナサロに関するお問合せ

- 東久留米まちづくりサポートセンター hk_machisapo@yahoo.co.jp
- 東久留米市市民部生活文化課市民協働係 042-470-7738